

iGPS7plus

取扱説明書



第.2.0.0 版

トム通信工業株式会社
株式会社システムオリジン



安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

出力端子を金属でショートさせない



禁止

発熱、発火などの原因となります。

電源コード・電源プラグを破損するよう
なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源ケーブルは添付品以外のものは使わない



禁止

火災、感電の原因となります。

異常が起きたらすぐに電源コードを外す



電源プラグ
を抜く

発熱している、煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

●異常が起きたら、すぐに電源スイッチを切って電源コードを外し、販売店にご連絡ください。

本機が破損したらすぐに電源コードを外す



電源プラグ
を抜く

本機を落としたり、キャビネットを破損したりしたまま使用すると、火災、感電の原因となります。

●本機が破損した場合は、すぐに電源スイッチを切って電源コードを外し、販売店にご相談ください。

安全上のご注意 必ずお守りください

警告

本機を分解、改造しない



分解禁止

火災、感電の原因となります。

電源コードはプラグ部分を持って抜く



電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない



禁止

感電の原因となります。

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災、感電の原因となることがあります。

振動の多い所や不安定な所に設置しない



禁止

バランスが崩れて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

湿気の多い所やほこりの多い所に取付けない



禁止

雨や水のかかる所や湿気の多い所へ取付けると、火災、感電の原因となります。

●水滴がついたら乾いた布でふき取ってください。

異物を入れない



禁止

金属類や燃えやすいものが入ると、火災、感電の原因となります。

●万一、異物が入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

濡らさない



禁止

本機の内部に水などが入ると、火災、感電の原因となります。

●万一、内部に水などが入ったときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



電源プラグの刃に金属などが触れると、火災、感電の原因となります。

電源プラグについたほこりは定期的にとる



火災、感電の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠️ 注意

直射日光や熱器具のそばに置かない



火災、感電の原因となります。

禁止

本機の上に重いものを置かない



バランスが崩れて倒れたり、落下したりして、けがの原因となります。
また、火災、感電の原因となることがあります。

禁止

壁の近くに置かない



火災、感電の原因となります。

禁止

●設置の際は壁から10cm以上離してください。

踏み台にしない



本機に乗らないでください。乗ると倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

移動させる場合は外部の接続線を外す



電源コードが傷つくと、火災、感電の原因となることがあります。

●移動させるときは、電源プラグ、アンテナ線、機器の接続を外したことを確認してください。

持ち運びは2人以上で行う



1人で持ち運びを行うと、落としたりして機器の故障およびけがの原因となります。

正しく使用
いただくために

- 本機のお手入れの際は電源プラグを抜いてください。
柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼり、ふいてください。
- 本機の表面はプラスチックが多く使われています。
本機を傷めないために、ベンジンやシンナーなどのご使用はお避けください。
化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。
また、お手入れの際は、安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本機をテレビ、ラジオ等の電波や磁波が発生しているところや、違法無線を受ける場所に置かないでください。また、そのようなものを近づけないでください。
本機が正しく動作しなくなることがあります。
- 無停電電源装置をできるだけ設置し、停電時の動作と電源からのサージ対策を行ってください。
- 対雷トランスをできるだけ設置し、避雷対策を行ってください。
- 長時間使用しないときは、電源コードを抜いてください。
- 長時間使用するときは、健康のため、1時間ごとに10分～15分の休憩をとり、目および手を休めてください。
- 5年に一度は定期メンテナンスを行ってください。火災、故障の原因となります。
販売店にご依頼ください。(梅雨期に行うのが効果的です。)
定期メンテナンス費用については販売店にご相談ください。
- 電源プラグとコンセントの定期点検を行ってください。
ちりやほこりがたまった状態で使用を続けると、火災、感電の原因となることがあります。
年に一回はプラグとコンセントの定期的な清掃と、接触不良等を点検してください。
- 本機の国外での使用は禁じられています。
外国では電源電圧が異なりますので、使用できません。

[iGPS7plus を利用するパソコンの設定について]

iGPS7plus は専用のパソコンで利用していただくものです。以下の点にご注意ください。

- iGPS7plus は単独で利用してください。他のアプリケーションソフトと併用しないでください。
- パソコンの電源オプションの設定でコンピュータをスリープさせない設定にしてください。具体的には、「コンピュータをスリープ状態にする」の時間設定は「なし」を選択してください。
- パソコンの「スクリーンセーバー」や「ディスプレイの電源を切る」も、「なし」を設定してください。

目次

1	基本的な機能	10
1.1	起動	10
1.1.1	自動起動	10
1.1.2	手動起動	10
1.2	終了	10
1.3	起動エラー	11
1.3.1	二重起動の確認	11
1.3.2	ネットワークでご利用中に障害が発生している場合	11
1.3.3	サーバ機へ接続できない場合	12
1.4	ネットワークで使用する場合	12
1.5	ライセンス登録	13
1.5.1	ライセンス登録手順	13
1.6	ユーザアカウント制御	15
1.7	iGPS7plus ソフトのアップデート	16
2	運用機能	17
2.1	運用画面の表示	18
2.1.1	メニュー	21
2.1.2	状態・グループ表示	21
2.1.3	地図表示	22
2.1.4	発呼・セレコール・メール送信	30
2.1.5	メール受信	39
2.1.6	通話メモ	39
2.1.7	伝言メモ	40
2.1.8	通話表示	41
2.1.9	局番号帳	42
2.1.10	端末詳細	44
2.1.11	外部機器連動	46
2.2	顧客検索	47
2.2.1	顧客検索手順	48
2.3	送受信履歴（データ）	50
2.4	発着信履歴（発呼）	54
2.5	端末一覧	55
2.6	端末詳細一覧	56
2.7	通話モニタ・割込み	58
2.7.1	モニタ操作手順	58
2.7.2	通話割り込み操作手順	58
2.8	走行履歴	59
2.9	検索	64
2.9.1	住所の検索手順	65
2.9.2	施設の検索手順	65
2.10	顧客登録	67
2.10.1	顧客の新規登録	68
2.10.2	顧客情報の変更・削除	76
2.10.3	入場判定	78
2.11	追跡	79
2.11.1	追跡開始	79
2.11.2	追跡終了	80
2.12	ルート検索	81
2.12.1	ルート検索操作手順	82
2.13	緊急	84

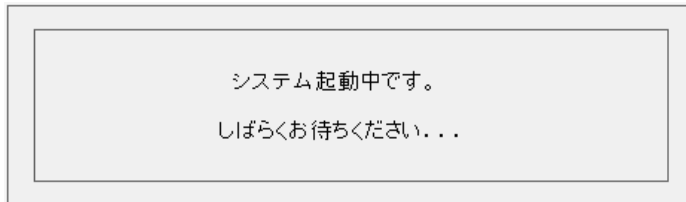
2.13.1	緊急一覧	84
2.13.2	緊急モニタサービス	85
2.14	状態解除	87
2.15	パトライト	87
3	保守機能	88
3.1	保守メニュー	88
3.2	システム保守情報	90
3.2.1	ログイン	90
3.2.2	システム保守情報の登録・終了	93
3.2.3	地図画面での座標登録	95
3.2.4	局番号帳	96
3.2.5	顧客	100
3.2.6	端末マーク	103
3.2.9	システム定数2	111
3.2.10	システム定数3	113
3.2.11	地図	116
3.2.12	パトライト	118
3.2	ヘルプ	119
3.3	バージョン確認	120
3.4	メンテナンス情報	121
3.4.1	ログイン	121
3.4.2	障害情報	121
4	端末履歴について	122
5	データエクスポート・インポート	124
5.1	エクスポート・インポートできるデータ	124
5.2	操作方法	125
6	1年以上前の走行履歴表示	133
6.1	データファイルのフォルダを確認する	133
6.2	データの別媒体への保存	133
6.3	過去の走行履歴を表示	134
6.3.1	ディスク空き容量の確認	134
6.3.2	データファイルのコピー	134
6.3.3	データファイルの貼り付け	135
6.3.4	iGPS7plusで履歴を表示	135
7	付録	136

1 基本的な機能

1.1 起動

1.1.1 自動起動

パソコンの電源を入れ、WindowsPC を立ち上げると自動的に下記のポップアップが表示され、iGPS7plus システムが起動します。



1.1.2 手動起動

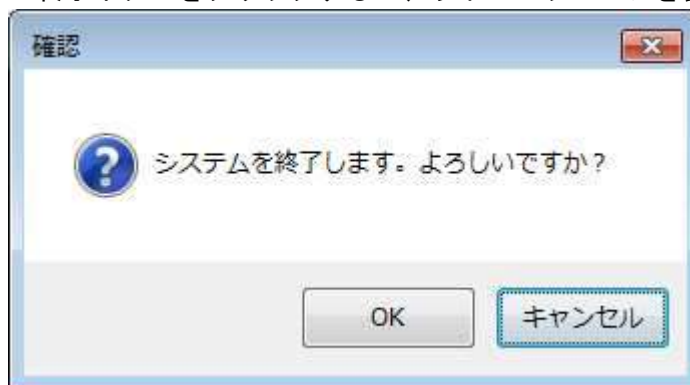
デスクトップ上の iGPS7plus アイコンをダブルクリックすると、上記ポップアップが表示され、iGPS7plus システムが起動します。iGPS7plus システムが停止している状態から起動するときは、この方法で起動して下さい。



1.2 終了

終了 ボタンにより、iGPS7plus システムが終了しデスクトップ画面に戻ります。

終了ボタンをクリックすると、以下のメッセージを表示します。

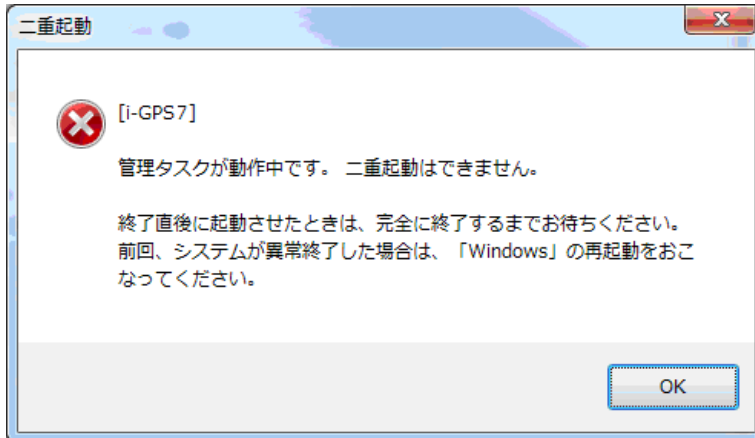


OK ボタンをクリックするとシステムを終了します。Windows はシャットダウンしません。キャンセルボタンをクリックすると運用画面に戻ります。

1.3 起動エラー

iGPS7plus システムを起動する際、警告画面が表示されることがあります。

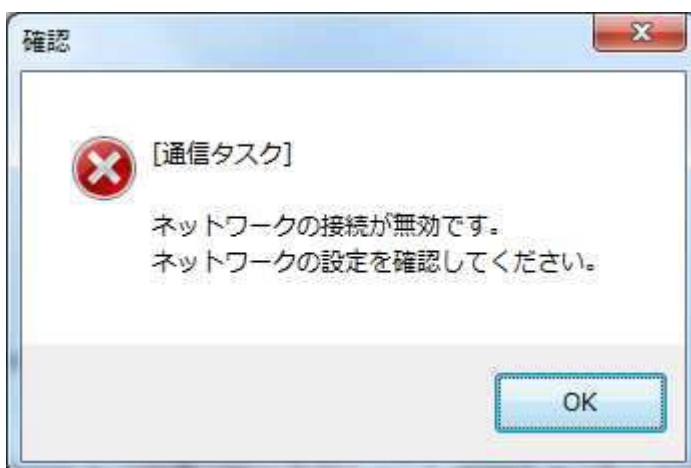
1.3.1 二重起動の確認



原因としては以下のことが考えられます。

- ① iGPS7plus システムを終了直後、アイコンから起動した場合
システム終了を待って再度アイコンから実行してください。
- ② iGPS7plus システムが異常終了した後、アイコンから起動した場合
Windows を再起動してください。
- ③ iGPS7plus システムの自動起動中にアイコンから起動した場合
[OK]をクリックしてそのまま動作できます。

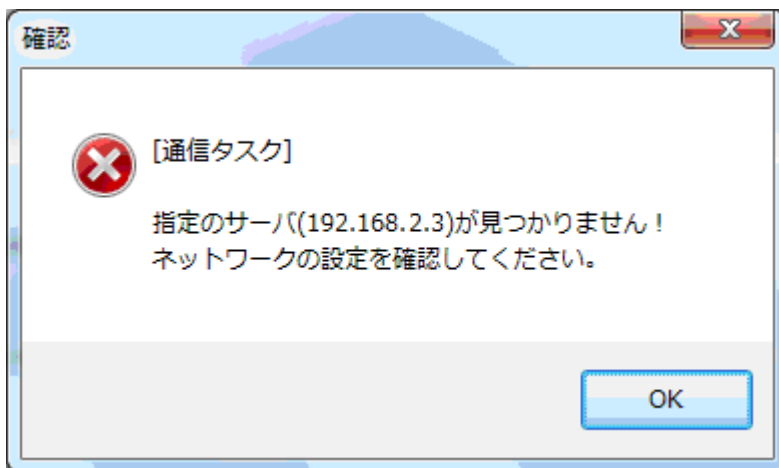
1.3.2 ネットワークでご利用中に障害が発生している場合



原因としては以下のことが考えられます。

- ① ネットワークケーブルが抜けている、ハブの故障。
接続を確認後、再度アイコンから実行してください。
- ※ サーバ機でこのメッセージが表示された場合、スタンドアロンとして起動します。

1.3.3 サーバ機へ接続できない場合



原因としては以下のことが考えられます。

- ① ネットワークユーティリティーの設定が正しくない。
インストールマニュアルを参照して適切な設定を行なってください。
- ② サーバ機とのネットワーク接続ができていない。
ルータ等の設定を見直してください。

1.4 ネットワークで使用する場合

iGPS7plus システムをネットワークで利用する場合、アプリケーションの起動に制限があります。

- ① 必ずサーバ機から起動してください。
クライアントの起動順に制限はありません。
 - ② サーバ機が稼動していないとすべてのシステムは動作しません。
 - ③ サーバ機の「終了」ボタンからシステムを終了させると、すべてのクライアントのシステムが終了します。
- ※ **サーバ機を終了させると、すべてのクライアントも自動終了して Windows 画面となりますのでご注意ください。**
- ※ **iGPS7plus システムを終了させた後、iGPS7plus システムを起動する場合は、サーバで iGPS7plus システムが起動したことを確認した後、クライアントを手動で起動してください。**

1.5 ライセンス登録

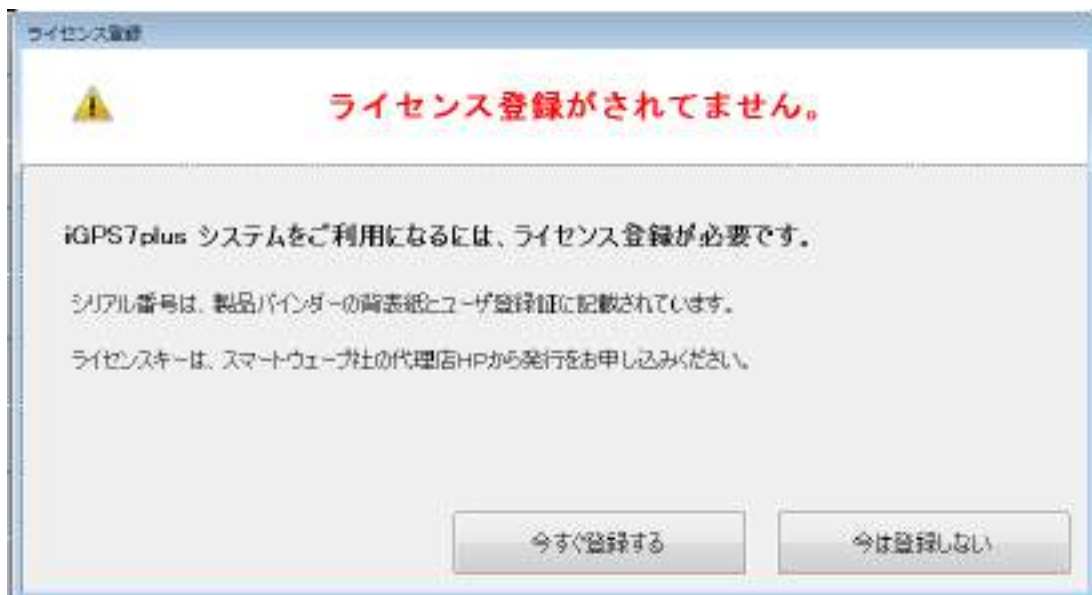
iGPS7plus システムをご利用になるには、ライセンス登録作業が必要です。

ライセンス登録には、「1 機体番号」、「2 シリアル番号」、「3 ライセンスキー」の入力が必要になりますので、あらかじめご用意ください。

- ① 機体番号は、ユーザ登録証に記載されています。
- ② シリアル番号は、ユーザ登録証に記載されています。
- ③ ライセンスキーは、スマートウェーブ社の代理店HPから発行をお申し込みください。

1.5.1 ライセンス登録手順

- ① ライセンス登録が完了していない状態で iGPS7plus システムを起動すると次の画面が表示されます。



- ② 「はい」を選択するとライセンス登録画面が表示されます。



③ 機体番号、シリアル番号、ライセンスキーを入力して登録ボタンをクリックします。

④ 入力に間違いがあると下記画面が表示されます。

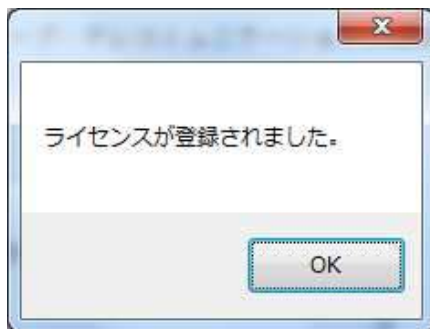


「OK」をクリックして再度「シリアル番号、ライセンスキー」を入力してください

⑤ 下記画面が表示されたらスマートウェーブ社までお問合せください。

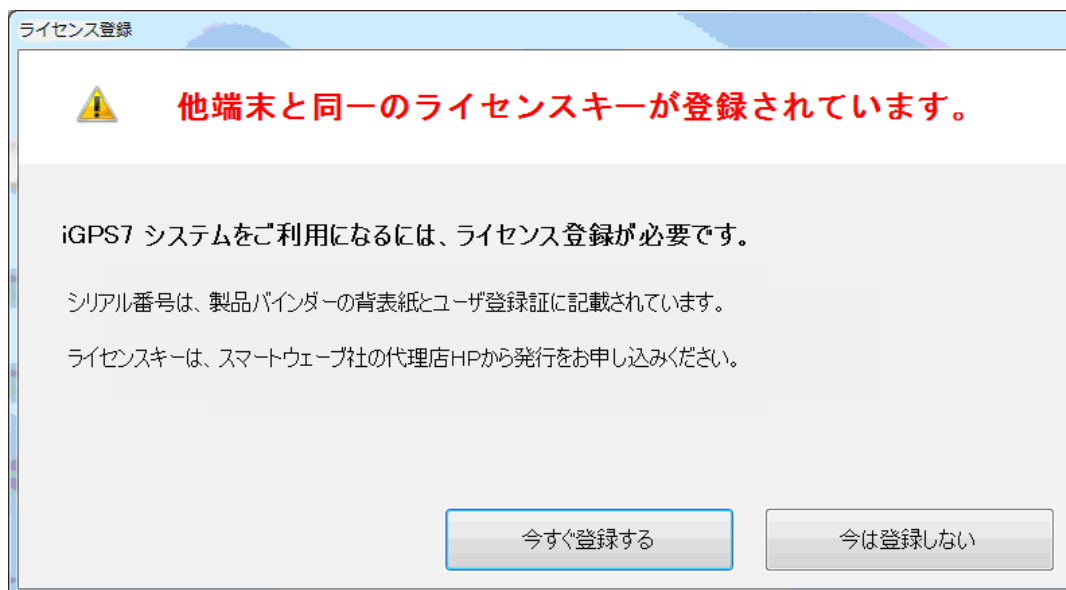


⑥ ライセンスの登録が完了すると下記画面が表示されます。「OK」をクリックしてください。



⑦ ライセンス登録を完了させないで運用を続けると10分毎にライセンス登録確認画面が表示されます。

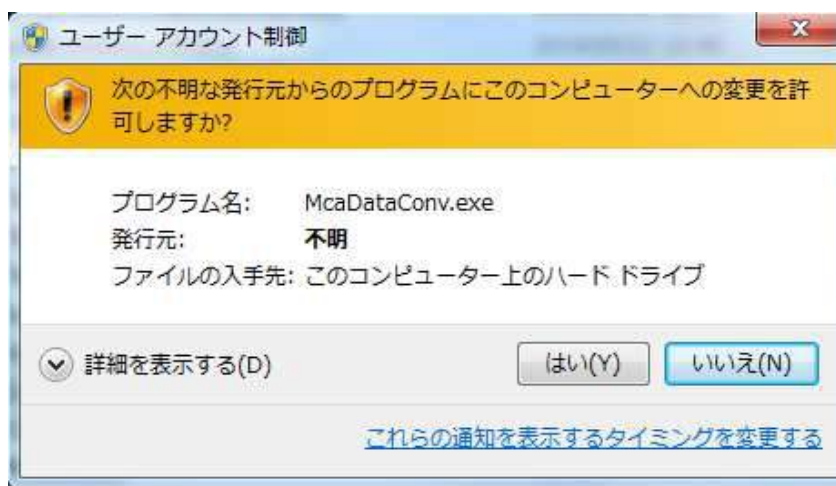
- ⑧ ネットワークでご利用の場合、同じライセンスを登録した端末があると次の画面が表示されます。



- ※ライセンスは端末毎に必要です。
- ※ライセンス登録を行ってください。

1.6 ユーザアカウント制御

iGPS7plus システムを起動する際、下記のような画面が表示されることがあります。



「はい」をクリックしてください。

1.7 iGPS7plus ソフトのアップデート

本システムでは最新のソフトにアップデートする機能があります。
最新版のシステムがバージョンアップCDまたはサーバからダウンロードされます。
バージョンのチェックはシステムの起動時に自動的に確認されます。
また、保守メニューから「バージョン確認」を実行することで確認できます。

- (1) バージョンアップCDがある場合はCDをセット後システムを起動します。
- (2) 新しいバージョンが見つかった場合、自動的にダウンロードが始まります。



※ダウンロード中でもシステムは動作します。

- (3) ダウンロードが完了後、最新版が動作するのはシステムの再起動後になります。



- (4) 再起動を行うとシステムの更新作業が実行され、完了後システムが起動します。



2 運用機能

運用時の自動機能

① 時計合せ機能

iGPS7plus システムでは基地無線機との接続時に正確な日付、時刻を取得し、コンピュータの日付、時刻を自動的に合わせます。

また、毎日0時10分に同様な動作が行なわれます。

② 端末情報収集機能

iGPS7plus システムでは指定した周期で全移動局の情報を取得し、画面を更新します。

200 台までは最短で 15 秒周期、200 台以上は 30 秒周期となります。

この動作は音声通話を妨げることはありません。



2.1 運用画面の表示

運用画面に共通の表示について説明します。下記の運用画面は○印に項目番号を示し、下記の表は対応する機能の詳細を示します。



No	項目	詳細
1	メニュー	メニューをプルダウン表示します
2	状態選択	<p>選択された状態の端末のみを地図上に表示します。 状態名 1～状態名 20、未設定をクリックすると表示、非表示を切り替えることが出来ます。 選択時は緑背景、非表示は黒背景で表示されます。</p>
	グループ選択	<p>グループ名 A～グループ名 Jをクリックすると表示、非表示を切り替えることが出来ます。 選択時は緑背景、非表示は黒背景で表示されます。 保守設定によ全体を非表示にできます。 ※2画面運用時は地図画面上に表示されます。</p>
3	入場表示欄	顧客登録で入場判定を設定すると、端末が入場した時表示されます。
4	状態解除送信	端末に状態解除送信を行います。
5	メイン表示部	<p>地図、端末一覧、状態一覧、送受信履歴、発着信履歴一覧、履歴が切替表示されます。 ※2画面運用時は地図のみ専用画面に表示されます。</p>
6	メッセージ エラーメッセージ	各種メッセージを表示します。
	通信状態表示欄	端末との通信状態のメッセージを表示します。

7	ファンクションボタン	<p>保守により設定された機能切替ボタンが表示されます。</p> <p>「地図表示」、「地図拡大」、「地図縮小」、「端末一覧」、「端末詳細一覧」 「発着信履歴」、「送受信履歴」、「状態一覧」、「緊急一覧」、「端末消去」 「顧客検索」、「通話モニタ・割込」、「ルート検索」、「検索」、「画面印刷」 「保守」、「終了」のいずれかが選択できます。</p> <p>ボタンのクリック、または[F 1]～[F 12]キーを押下することで、画面が遷移します。</p>
8	緊急	<p>端末からの緊急信号を受信すると、「個別番号」または「局名称」を表示します。</p> <p>また、保守設定により、音声ガイド又はブザー鳴動を行います。</p>
9	日時表示	<p>システム日時を表示します。</p> <p>日付、時間はルータを経由して1日一度正確な時刻が取得されます。</p>
10	<input type="checkbox"/> ボタン	画面を最小化します。
	<input checked="" type="checkbox"/> ボタン	iGPS7plus システムを終了します。
11	通話者地図縮尺	通話者地図表示を行う際の地図縮尺を指定します。
12	受信欄・受信一覧	<p>受信欄</p> <p>端末からの通話、端末へのセレコール結果、<u>端末の状態変化通知を受信した※1</u>とき、相手局の「個別番号」または「局名称」を5秒間拡大表示します。</p> <p>状態変化通知を受信したときは、<u>保守【端末マーク】で設定した状態色で表示※2</u>します。</p> <p>受信一覧</p> <p>上段：受信時刻、個別番号または局名称、下段：通話、セレコールの結果表示、データ受信時の種別を表示します。</p> <p>保守【システム定数】の通話 ID・状態一覧の表示順設定により「最新を上・下」が切替ります。</p> <p>スクロールバーにより表示位置を変更した場合、10秒間は表示位置を保持します。その後最新データを受信すると最新データが表示される位置へ移動します。</p> <p>受信 ID をクリックすると、保守でシングルクリック、ダブルクリック、右クリックに割り付けられた動作を行いません。</p> <p>A. 端末を中心に地図を表示します。</p> <p>B. 端末詳細情報を表示します。</p> <p>C. 発呼欄のモードが個別になり番号指定に車番が入ります。</p> <p>D. 指定行を削除します。</p> <p>※1：同一端末から同じ状態を続けて受信した場合は表示されません。</p> <p>※2：「3.2.6 端末マーク」を参照してください。</p> <p><input type="checkbox"/>ボタン：受信一覧の内容を消去します。</p>
13	状態変化一覧	<p>状態変化一覧</p> <p>状態変化を受信したとき、受信時刻、個別番号または局名称、状態名称を表示します。</p> <p>保守【システム定数】の状態変化一覧の表示順設定により「最新を上・下」が切替ります。</p> <p>表示された行をクリックすると、受信一覧と同様の動作を行います。</p> <p><input type="checkbox"/>ボタン：状態変化一覧の内容を消去します。</p>

14	通話要求一覧 消去ボタン	<p>通話要求一覧</p> <p>通話要求を受信したとき、受信時刻、個別番号を表示します。 表示順は最新が下になります。 表示された行をクリックすると、受信一覧と同様の動作を行います。 ※「指定行を削除する」が割り付けられていた場合、同一の番号はすべて通話要求一覧から削除されます。</p> <p>消去ボタン：通話要求一覧の内容を消去します。</p>
15	発呼部	発呼操作を行いません。
16	セレコール・ メール・ 伝言メモ	個別確認、セレコール、伝言メモ、メール送信を行います。
17	メールボタン	<p>端末からメール  を受信した際にボタンを表示します。</p> <p> メールボタンを押下すると【送受信履歴】画面を表示します。</p>
18	通話メモ部	通話内容の録音、再生、消去を行います。
19	伝言メモ部	無線機に保存された伝言メモを表示します。 再生、消去が出来ます。
20	回線状態表示	無線回線の状態「話中」、「通話」、「送信」を表示します。 通話時のモード、相手局番号または局名称、残時間を表示します。

2.1.1 メニュー

メニューボタンの押下によりプルダウンメニューが表示されます。



表示される機能は以下の通りです。

「地図表示」、「地図拡大」、「地図縮小」、「端末一覧」、「端末詳細一覧」、「発着履歴」、「送受信履歴」
「状態一覧」、「緊急一覧」、「端末消去」、「顧客検索」、「通話モニタ・割込」、「ルート検索」、「検索」
「画面印刷」、「保守」、「ヘルプ」、「終了」

プルダウンメニューをクリックするとそれぞれの機能が動作し、プルダウンメニューが閉じます。

プルダウンメニューが表示した状態で再度メニューをクリックするとプルダウンメニューが閉じます。

2.1.2 状態・グループ表示



状態選択

状態名 1～状態名 20、未設定をクリックすると地図アイコンの表示、非表示を切り替えることができます。

状態をすべて選択をクリックするとすべての状態が選択状態になります。

表示選択時は緑背景、非表示は黒背景で表示されます。

保守設定により状態表示全体を非表示にできます。

グループ選択

グループ名 A～グループ名 J をクリックすると地図アイコン・端末一覧・端末詳細の表示、非表示を切り替えることができます。

グループをすべて選択をクリックするとすべての状態が選択状態になります。

表示選択時は緑背景、非表示は黒背景で表示されます。

保守設定により状態表示全体を非表示にできます。

グループの所属は局番号帳で設定します。

2.1.3 地図表示

地図表示は、選択された地域の地図を表示します。また、詳細・広域を表示します。
地図表示画面の種類は、メイン画面、2分割画面及び4分割表示画面の3種類があります。
地図表示の表示座標は、保守画面の【地図】で行います。

測地系について

iGPS7plus システムは内部的に日本測地系で動作しています。
そのため緯度、経度を表すとき、ミリ秒で表示される場合は日本測地系、度分秒で表示される場合は世界測地系が使用されます。



2.1.3.1 拡大・縮小

地図の縮尺サイズはプルダウンメニューの地図拡大、地図縮小、ファンクションに割り付けたキー操作、ボタンクリック、スライドバー操作またはマウスホイール操作により行ないます。

縮尺サイズ

地図表示の縮尺は以下のサイズとなります。

1/2500, 1/5000, 1/10000, 1/20000, 1/40000, 1/80000, 1/160000, 1/320000, 1/640000, 1/2500000, 1/5000000

※マウスホイール操作による縮尺サイズは上記よりも詳細になります。

2.1.3.2 マウス操作

マウス操作は、指定ポイントでのマウス動作と詳細は次の表に示します。また、マウスのスクロールボタンの上下で、指定した地点を中心とし地図の縮尺を変更します。

指定ポイント	マウス動作	詳細
地図上のある地点	左クリック 1回	指定された地点を中心とする地図を再表示します。
	左クリック 2回	指定された地点を中心とし地図を広域表示します。
	右クリック 1回	指定された地点を中心とし地図を詳細表示します。
	右クリック 2回	指定された地点を中心とし地図を詳細表示し、中心の緯度経度を世界測地系で障害メッセージ表示欄に表示します。分割画面の場合は、画面左上のみ座標を表示します。
	左ドラッグ	地図をスクロールします。
	ホイール操作	地図の拡大、縮小をします。 ※分割表示している場合、操作の対象となる地図はマウスカーソルの重なった地図となります。
端末アイコン	右クリック 1回	ショートカットメニューを表示します。
縮尺スライダー	ホイール動作	スライダーの指定位置がコントロールパネルで指定した値分増減します。 デフォルトでは3メモリ分です。 変更する場合は「コントロールパネル」→「マウス」→「ホイール」→「垂直スクロール」の値を変更します。

発呼モードが「隣接」の場合、マウス操作により距離指定を行います。

※隣接が選択されていない場合はこの操作は無効となります。

指定ポイント	マウス動作	詳細
地図上のある地点	右ドラッグ	地図上の地点でマウス右ボタンを押下します。 ボタンを押下したままマウスを移動し、マウスボタンを解除します。 マウスを押下した地点を中心として地図が再表示されます。 マウスボタンが解除された地点までの距離が発呼欄の距離に入力されます。 このとき 100m 単位に四捨五入されます。 50m に満たない場合は「1」となります。 25,500m を超えた場合は「255」となります。 また、地図上に指定距離の円を描きます。

ショートカットメニューについて

通常の地図画面で端末アイコンを右クリックしたときは、以下のショートカットメニューを表示します。



No	ショートカットメニュー	詳細
1	端末一覧	クリックした座標を中心に保守設定で指定した範囲内の端末、受信時刻を表示します。 表示は最前面に表示された端末を先頭に、それ以降は受信時刻順に表示されます。
2	履歴画面へ	【履歴】画面を表示し、個別番号入力欄に選択した端末の個別番号を表示します。
3	個別確認	選択した端末の個別収集を行います。
4	ルート検索	端末の位置を開始点としてルート検索画面が開きます。
5	発呼欄へ	発呼欄の端末番号へコピーし、発呼モードを個別にします。

端末一覧のリストにマウスカーソルを重ねると同様にショートカットメニューを表示します。



※マウスカーソルが重なってもメニューが開かない場合はマウスを上下に移動するまたは左クリックすることでショートカットメニューが表示されます。

2.1.3.3 端末アイコン

- (1) 端末アイコンの吹き出しには、局名称・端末番号・乗務員名・受信時刻・状態名称・状態時刻・速度・運行時間・運行距離が表示できます。

アイコン選択



アイコン表示



※それぞれアイコン選択をクリックすることにより「表示する・しない」の切り替えができます。
※アイコン選択にどの項目を使用するかは「システム定数2」を参照してください。

- (2) 端末アイコンの表示色は、保守【端末マーク】で設定した状態色、外部状態色、電源 OFF 色、走行色の中から優先度合いにより選択されます。



- (3) 方向は、走行端末のみ端末の向きで8方向を表示します。
- (4) 端末アイコンが重なっている場合は、端末アイコンを左クリックすることで重なっている次の端末が表示されます。

2.1.3.4 2分割表示

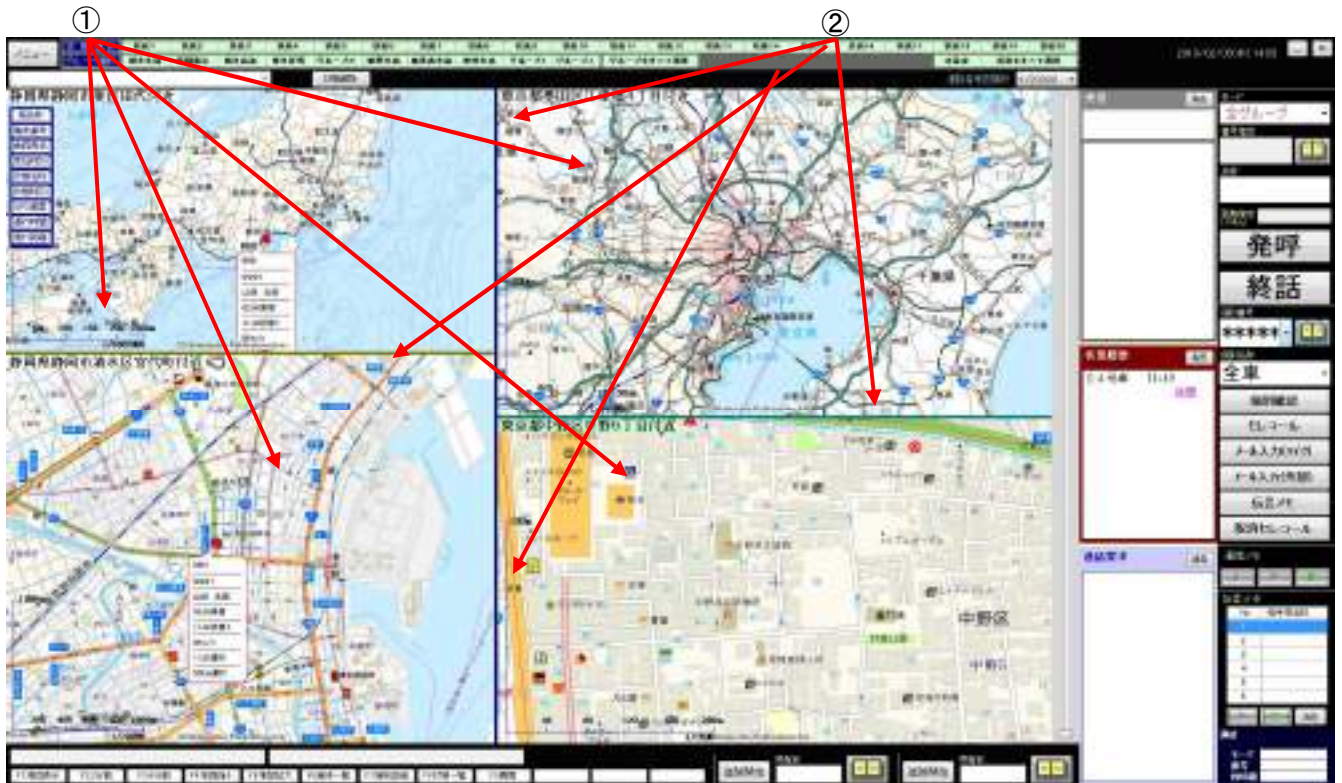
2分割画面は、地図を左右に表示します。



③		④
No	項目	詳細
1	地図	保守【地図】で登録した基準座標を中心に2分割画面で表示します。 座標が選択されていない場合、東京駅を表示します。
2	境界線	境界線を移動して地図表示領域の変更が出来ます。

2.1.3.5 4分割画面表示

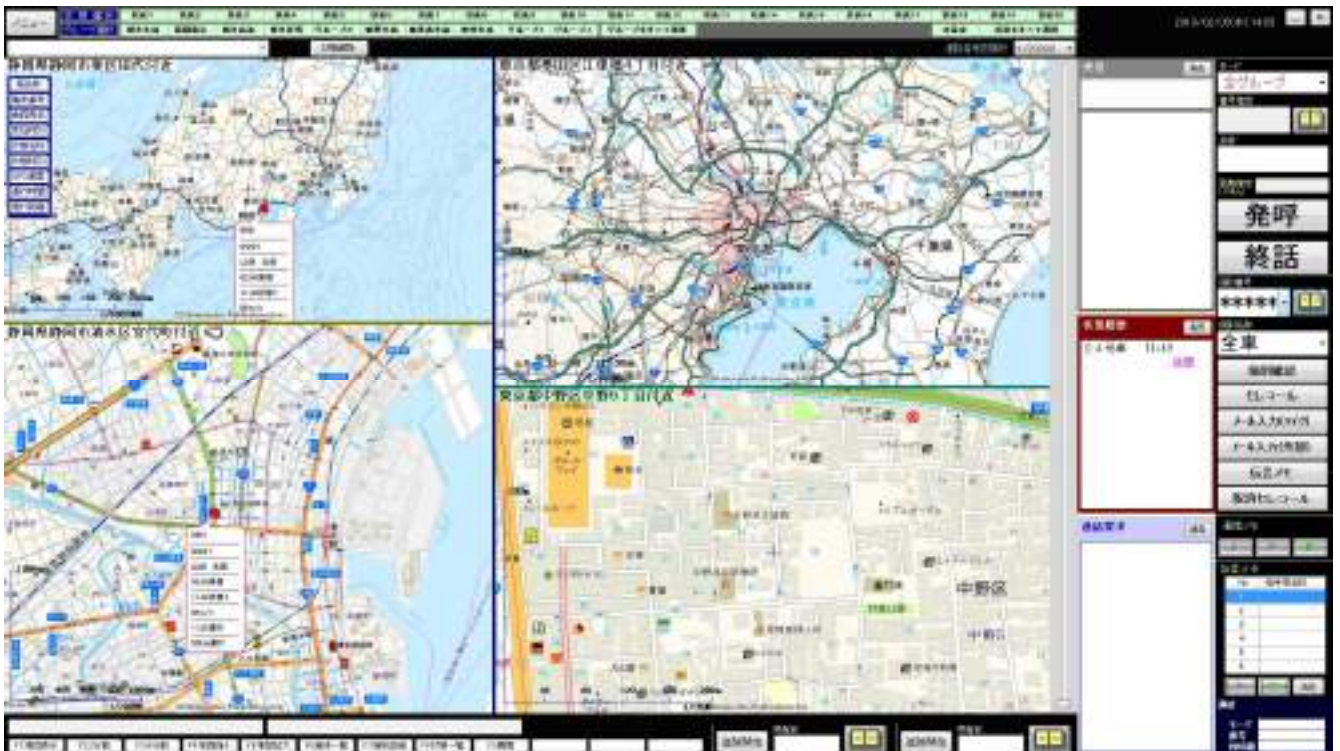
4分割画面表示は、選択された地域の地図を左上、右上、左下、右下に表示します。





No	項目	詳細
1	地図	保守【地図】で登録した基準座標を中心に4分割画面で表示します。 座標が選択されていない場合、東京駅を表示します。
2	境界線	境界線を移動して地図表示領域の変更が出来ます。

2.1.3.6 地図表示サイズ変更

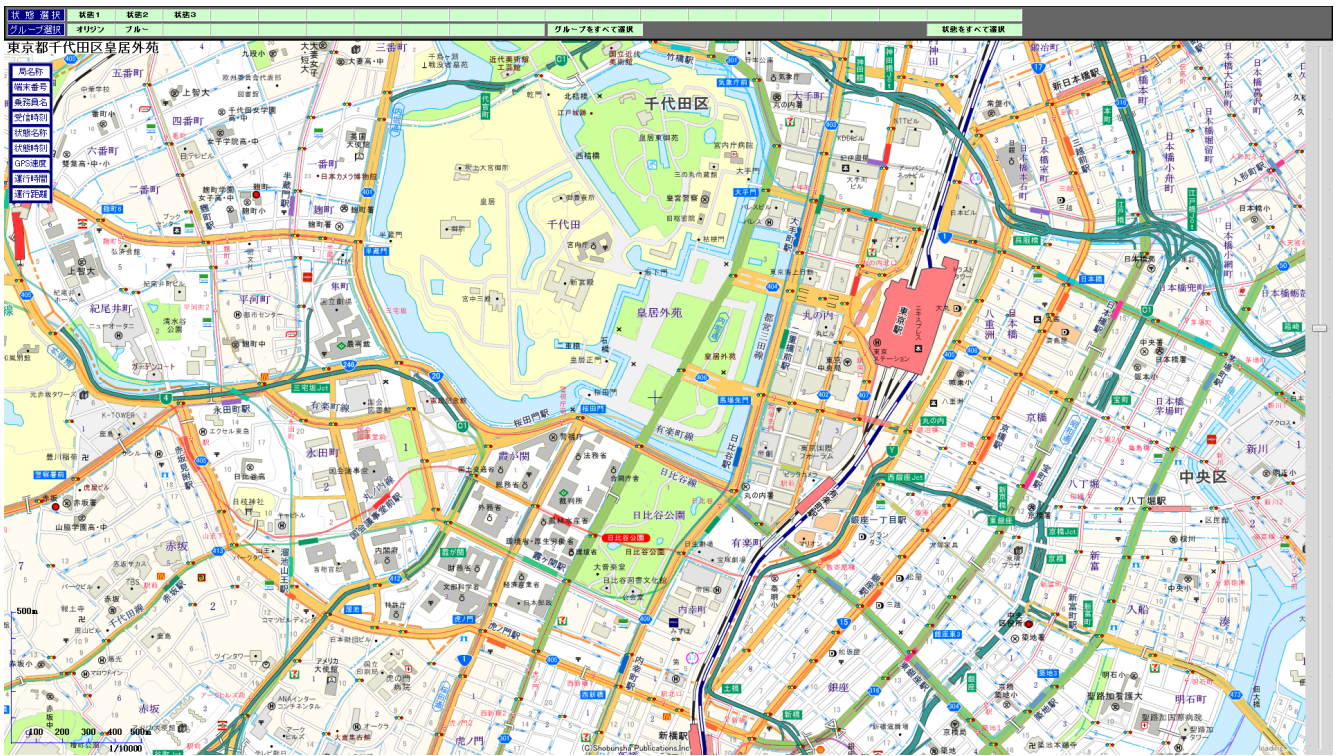
2分割、4分割表示を行っているとき、地図境界線のドラッグ操作により表示領域の移動が出来ます。



マウスが境界線に重なるとマウスカーソルが 、 に変わります。
マウス左ボタンを押下したまま移動をすると境界線が移動します。
左ボタンを離すと地図表示領域が移動します。

2.1.3.7 2画面運用

モニターを2台接続して運用することが出来ます。
その場合、2画面目は地図専用となります。



2.1.4 発呼・セレコール・メール送信

端末への発呼・セレコール・メール送信を行うためには、発呼部、セレコール部、メール送信部へ操作を行ないます。


2.1.4.1 発呼部

発呼部は、端末への発呼を行います。

機能の詳細、端末への発呼手順について説明します。

下記の発呼部画面には、○印に項目番号を示し、下記の表は対応する機能の詳細を示します。





No	項目	範囲	詳細
1	発呼モード		端末と接続を行うモードを選択します。 「全グループ齊」、「全グループ」、「グループ」、「個別」、「隣接」、「個別優先」の6種類あります。
2	番号指定	モード：グループ 1～999 モード：個別、 個別優先 1～9999	端末と接続する番号を指定します。 モードが「全グループ齊」、「全グループ」、「隣接」を選択時は、番号指定は入力不可となります。 モードが「グループ」選択時はグループ番号、「個別」、「個別優先」選択時は個別番号を入力します。
3	局名称		モード、番号指定で入力された条件が、局番号帳に登録してある場合、局名称が表示されます。
4	距離指定	1～255	「隣接」接続を行うとき、距離を入力します。 単位は100mです。 距離は地図操作により指定することができます。 詳細は「2.1.4.2.1 隣接発呼について」を参照してください。
5	 局番号帳 ボタン		局番号帳を表示します。 詳細は、「2.1.9 局番号帳」を参照してください。
6	発呼ボタン		No.1～5の設定をもとに端末に対して発呼を行います。
7	終話ボタン		発信・着信の終話を行います。

2.1.4.2 発呼操作手順

発呼操作手順は、次のとおりです。

- (1) モードを選択します。
「全グループ一斉」、「全グループ」、「グループ」、「個別」、「隣接」、「個別優先」の6種類からモードを選択して下さい。
- (2) 番号指定に番号を入力して下さい。
モードで「グループ」、「個別」、「個別優先」を選択した場合、番号指定に番号を入力して下さい。

番号指定に番号を入力する場合、局番号帳から選択する手順は次のとおりです。

- ① 局番号帳より番号指定したい場合は、 **局番号帳** ボタンをクリックして下さい。
 - ② 【局番号帳】画面が表示されます。
 - ③ 発信したい局番号情報をダブルクリックし、No. 1~4 に表示させます。
 - ④ 発呼手順(4)から同じです。
 - ⑤ 局番号帳を閉じる場合は、 **局番号帳** ボタンをクリックするか、**閉じる** ボタンをクリックして下さい。
- (3) 「隣接」を選択した場合、距離を入力してください。
距離は地図操作により指定することが出来ます。
詳細は「2.1.4.2.1 隣接発呼について」を参照してください。
 - (4) **発呼** ボタンをクリックして下さい。
個別番号が、範囲外の値や保守【個別番号】に登録されていない場合は、**発呼** ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。



OK ボタンクリック後、個別番号を入力しなおしてから、再度、セレコール、伝言メモ、個別確認をして下さい。入力された未登録の個別番号は、セレコール番号欄には格納されません。

隣接を選択した場合、距離の指定に誤りがあると以下のエラーメッセージを表示します。



OKボタンクリック後、距離を入力しなおしてから、再度、発呼して下さい。

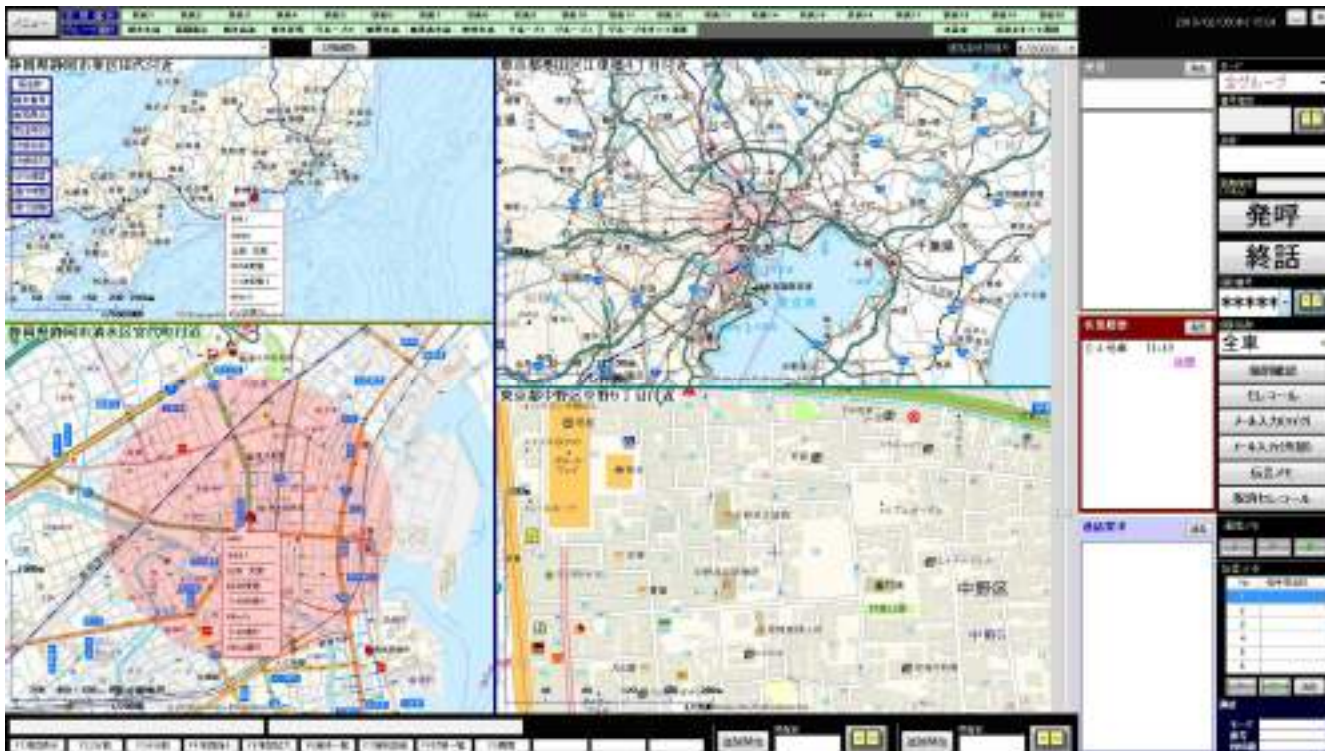
- (5) 無線機から発呼します。
発呼中は、**発呼**ボタンは使用不可となります。
 - ① 通話部にモード、残時間を表示します。
残時間は1分からカウントダウン（秒表示）をはじめます。
 - ② 端末との回線状態を表示します。
 - ③ 【発信履歴】画面の一覧に発呼時の設定を表示します。
※発呼失敗したときは、通信状態表示欄に「XX:XX 発呼失敗」と表示します。
(XX:XX 時刻を表示します。)

- (6) 端末との通話を終了する
端末との通話を終了する場合は、**終話**ボタンをクリックして下さい。
通話が切断され、**発呼**ボタンが使用可能となります。

2.1.4.2.1 隣接発呼について

隣接発呼は地図上の地点と距離を指定して発呼することにより範囲内に存在する無線局の呼び出しができる機能です。

- (1) 発呼モード「隣接」を選択します。
- (2) 距離を 100m 単位で入力します。
1 を入力すると 100m となります。
- (3) 地図の中心点から入力した距離の範囲が赤色で表示されます。



- (4) 地図を移動すると移動した地図の中心点から円が描かれます。
- (5) 2分割、4分割地図の表示中は、選択した地図の中心点から円が描かれます。
- (6) 地図操作により距離を指定することが出来ます。
 - ① 地図上の地点でマウス右ボタンを押下します。
 - ② マウス右ボタンを押下したままマウスを移動します。
 - ③ マウス右ボタンを離すと最初の地点を中心に地図が表示され、マウスを移動した距離が「距離指定」欄に入力されます。
 - ④ 地図上には円が描かれます。
- (7) 発呼ボタンをクリックすると範囲内の無線局と接続が出来ます。

2.1.4.2.2 個別優先発呼について

個別優先発呼は、通話中の無線局に対し通話を中断させて接続することが出来ます。通話中の相手局には「優先接続の着信により切断しました」と表示されます。

2.1.4.3 セレコール部

セレコール部は、端末へのセレコールを行います。


機能の詳細、端末へのセレコール手順について説明します。

下記のセレコール画面には、○印に項目番号を示し、下記の表は対応する機能の詳細を示します。



①個別番号・セレコール・メール入力。伝言メモ・取消セレコールのそれぞれのボタンは

保守設定により非表示に出来ます。

1	個別番号		個別番号を入力します。または、受信一覧の個別番号をクリックすると表示します。「*****」と入力するとセレコール全車一斉となります。 ※発呼モードが個別、個別優先の場合は、一斉機能は使用できません。 ▼をクリックすると、セレコールを行った個別番号を最新 10 件コンボボックスに表示します。 システム起動時は、前回、最後にセレコールを行ったものを表示します。
2	個別名称		個別番号に入力された端末の名称が表示されます。「*****」が入力された場合は表示されません。 ▼をクリックすると、セレコールを行った個別名称を最新 10 件コンボボックスに表示します。
3	 局番号帳 ボタン		局番号帳を表示します。 詳細は、「2.1.9 局番号帳」を参照してください。
4	個別確認ボタン		セレコール番号に入力された個別番号に対して個別確認を行います。
5	セレコールボタン		セレコール番号に入力された個別番号に対してセレコールを行います。
6	メール入力(マイク)ボタン		マイクに表示するメール入力画面を表示します。
7	メール入力(外部)ボタン		外部機器に表示するメール入力画面を表示します。
8	伝言メモボタン		セレコール番号に入力された個別番号に対して伝言メモを送信します。
9	取消セレコールボタン		セレコール番号に入力された個別番号に対してセレコール取消を行います。

2.1.4.4 セレコール、伝言メモ、個別確認操作手順

セレコール、伝言メモ、個別確認操作手順は、次のとおりです。

未発呼時は、**運用画面の発呼欄で指定した条件で発呼**し、セレコール、伝言メモ送信を行います。

2.1.4.4.1 セレコール操作手順

セレコールは、個別の端末にセレコール鳴音します。

- (1) セレコール番号に個別番号を入力します。（*1）

セレコール番号に入力した個別番号が、範囲外の値や保守【個別番号】に登録されていない場合は、**セレコール**・**伝言メモ**・**個別確認**ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。



OKボタンクリック後、個別番号を入力しなおしてから、再度、セレコール、伝言メモ、個別確認をして下さい。入力された未登録の個別番号は、セレコール番号欄には格納されません。

- (2) **セレコール**ボタンを押下します。
- (3) セレコールの成功・失敗は受信欄・受信一覧に表示します。
- (4) 個別番号に「*****」を入力すると接続した無線局すべてが操作の対象となります。
- (5) セレコールを行うと、**セレコール**ボタンの色が青に変わります。個別番号入力欄に次の個別番号を入力後「Enter」キーを押下するとセレコールが動作します。

2.1.4.4.2 取消セレコール操作手順

取消セレコールはセレコールで呼び出す相手局を間違った場合に、使用します。

- (1) セレコール番号に個別番号を入力します。（*1）
- (2) **取消セレコール**ボタンをクリックします。
- (3) 取消セレコールに成功・失敗したかを受信一覧に表示に表示します。
- (4) 個別番号に「*****」を入力すると接続した無線局すべてが操作の対象となります。
- (5) 取消セレコールを行うと、**取消セレコール**ボタンの色が青に変わります。個別番号入力欄に次の個別番号を入力後「Enter」キーを押下すると取消セレコールが動作します。

2.1.4.4.3 伝言メモ操作手順

伝言メモは、通話して伝言メモを送ります。

- (1) セレコール番号に個別番号を入力します。（*1）
- (2) **伝言メモ**ボタンをクリックします。
- (3) **伝言メモ**に成功・失敗したかを受信一覧に表示に表示します。
- (4) **伝言メモ**に成功した後、無線機のマイクをプレスし、通話して伝言メモを送ります。
- (5) 伝言メモを行うと、**伝言メモ**ボタンの色が青に変わります。個別番号入力欄に次の個別番号を入力後「Enter」キーを押下すると伝言メモが動作します。

2.1.4.4.4 個別確認操作手順

個別確認は、指定端末のデータ収集を行い、指定端末を中心とした地図を再表示します。

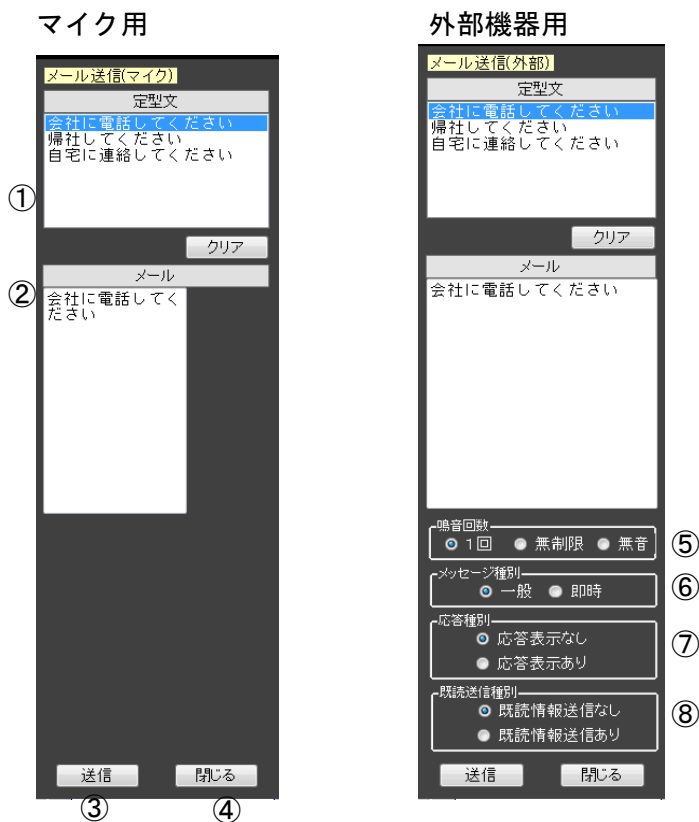
- (1) セレコール番号に個別番号を入力します。（*1）
- (2) **個別確認**ボタンをクリックします。
- (3) 収集終了後、指定端末を中心とし地図を再表示します。
端末は右図のように表示します。
- (4) 個別確認の成功・失敗は通信状態表示欄に状態収集結果として表示します。
- (5) 個別確認行くと、**個別確認**ボタンの色が青に変わります。個別番号入力欄に次の個別番号を入力後「Enter」キーを押下すると個別確認が動作します。



2.1.4.5 メール部

指定した端末の個別番号に対して、メールを送信します。

メール送信(マイク)ボタンまたはメール送信(外部)ボタンを押下すると、以下の画面を表示します。



No	項目	範囲	詳細
メール送信			
1	定型文		保守【メッセージ】で登録した内容を表示します。
2	メール	マイク用 全角 96 文字 外部機器用 全角 400 文字	送信するメールの内容を入力または、定型文からダブルクリックで選択し表示します。
3	送信 ボタン		メールの内容と目的地の内容を、セレコール部で指定した個別番号の端末宛にメールを送信します。 「*****」が入力されている場合は全車に送信します。
4	閉じる ボタン		メール送信部を非表示にします。

No	項目	範囲	詳細
外部メール送信			
1	鳴音回数		1回・無制限・無音から選択します。
2	メッセージ種別		一般・緊急から選択します。
3	応答種別		応答表示あり・応答表示なしから選択します。
4	既読送信種別		既読情報送信あり・既読情報送信なしから選択します。

2.1.4.5.1 メール送信操作手順

(1) メール送信

- ① セレコール部に個別番号を入力します。
全車一斉メール送信を行うときは「*****」と入力します。
- ② メール入力(マイク)またはメール入力(外部)ボタンを押下しメール入力欄を表示します。
- ③ 送信する内容を入力します。または、送信したい内容が定型文にあるときは、ダブルクリックで選択し、表示します。
※メール本文入力時に改行を行った場合、改行文字も1文字としてカウントされます。
入力文字+改行文字が最大文字数以内になる様にメール本文の編集を行って下さい。
マイクの場合は96文字、外部機器の場合は400文字となります。
- ④ **送信**ボタンをクリックします。入力した個別番号に対して送信を行います。
送信した内容等は、【送信履歴】画面の一覧に表示します。
複数台に送信した場合は、個別番号毎に【送信履歴】画面に表示します。
全車一斉メール送信を行った場合は、宛先に「*****」を表示します。
- ⑤ メール送信行くと、**送信**ボタンの色が青に変わります。個別番号入力欄に次の個別番号を入力後「Enter」キーを押下するとメール送信が動作します。

(2) 通信状態表示欄には、以下のように表示します。(XX:XXは、時刻を表示します。)

- ① メール送信中のときは、「XX:XX メール送信要求中.」
- ② メール送信がタイムアウトしたときは、「XX:XX メール送信要求タイムアウト」
- ③ メール送信に失敗したときは、「XX:XX メール送信失敗」

(3) エラーメッセージ の表示

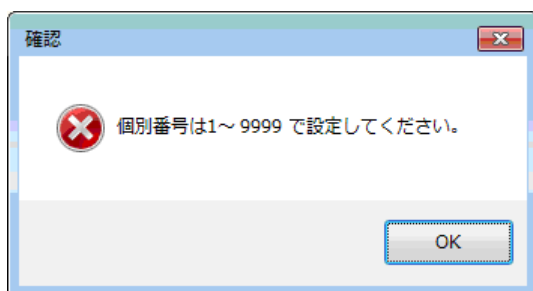
- ① 個別番号が入力されていない場合、**送信**ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。
OKボタンをクリックして下さい。個別番号を入力しなおしてから、再度メール送信を行って下さい。



- ② 入力した個別番号が、保守【個別番号】に登録されていない場合、送信ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。
OKボタンをクリックして下さい。個別番号を入力しなおしてから、再度メール送信を行って下さい。



- ③ 入力した個別番号が、範囲外の数値である場合、送信ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。
OKボタンをクリックして下さい。個別番号を入力しなおしてから、再度メール送信を行って下さい。



- ④ メールに半角文字を入力していた場合、送信ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。
OKボタンをクリックして下さい。半角文字を削除し、再度メール送信を行って下さい。



- ⑤ メールの内容が最大文字数を超えていた場合、送信ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。
OKボタンをクリックして下さい。メールの内容を最大文字数以内に編集し、再度メール送信を行って下さい。



- (4) **戻る** ボタンについて
ファンクションボタン2の**戻る** ボタンをクリックすると【メール送信】画面を閉じます。

2.1.5 メール受信

端末からメールを受信すると通話メモ欄に「メールあり」が表示されます。






「メールあり」をクリックすると、送受信履歴画面が表示されます。

2.1.6 通話メモ

端末との通話を録音、再生します。



- ①  端末との通話の内容を録音します。
- ②  録音した通話の内容を再生します。
- ③  録音の停止、再生の停止を行います。

2.1.7 伝言メモ



端末から受信した伝言メモの再生を行います。



一覧表示は次のとおりです

- ① 相手局番号には伝言を受信した際の個別番号を表示します。
- ② 最大7件まで伝言を受信します。

2.1.7.1 伝言再生操作手順

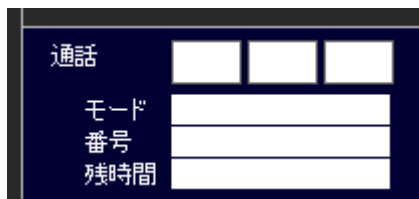
- (1) 一覧より伝言再生する個別番号を選択します。
- (2) **再生**ボタン  をクリックします。再生が始まります。
通信中及び予約中は**再生**ボタンをクリックすることはできません。
- (3) 再生中の伝言メモを停止する際は、**停止**ボタン  をクリックして下さい。

2.1.7.2 伝言消去操作手順

- (1) 一覧より受信した伝言を消去する個別番号を選択します。
- (2) **消去**ボタンを押下します。受信した伝言と一覧より個別番号を削除します。
 - ① **消去**ボタンを押下すると確認音「ピー」が鳴音します。
 - ② 伝言メモ再生中に、伝言メモ再生中ではない伝言メモを選択して**消去**ボタンを押下すると伝言メモ再生音に確認音「ピー」が重なって鳴音します。

2.1.8 通話表示

通話部の通話表示の詳細は、次のとおりです。




No	項目	詳細
1	通話(回線状態表示)	無線回線の状態「話中」、「通話」、「送信」を表示します。
2	モード	端末への発信時の接続モードを表示します。 または端末からの着信時の接続モードを表示します。
3	番号	着信したモードが「グループ」の場合は、グループ番号、「個別」、「全グループ」、「全グループ一斉」の場合は、個別番号または個別名称を表示します。なお、発呼時は番号の表示はしません。
4	残時間	通話残時間を表示します。残り1分からカウントダウンをはじめます。

- (1) 端末への発信の時は、モード、残時間を表示します。
- (2) 端末からの着信の時は、モード、番号、残時間を表示します。
- (3) 終話すると表示が消えます。

2.1.9 局番号帳

局番号帳に登録されている情報の参照、発呼、セレコール、追跡時に選択することができます。

局番号帳ボタン  をクリックすると、以下の画面を表示します。

端末番号順に表示されます。

⑩

No	相手局名称	当機	モード	相手局番号	住用	2桁
1	01号車	001	個別	1		
2	02号車	002	個別	2		
3	03号車	003	個別	3		
4	04号車	004	個別	4		
5	05号車	005	個別	5		
6	06号車	006	個別	6		
7	07号車	007	個別	7		
8	08号車	008	個別	8		
9	09号車	009	個別	9		
10	10号車	010	個別	10		
32	101	0101	個別	101		
33	102	0102	個別	102		
12	11号車	011	個別	11		
13	12号車	012	個別	12		
14	13号車	013	個別	13		
15	14号車	014	個別	14		
16	15号車	015	個別	15		
17	16号車	016	個別	16		
18	17号車	017	個別	17		
19	18号車	018	個別	18		
20	19号車	019	個別	19		
21	20号車	020	個別	20		
22	21号車	021	個別	21		
23	22号車	022	個別	22		
24	23号車	023	個別	23		
25	24号車	024	個別	24		
26	25号車	025	個別	25		
27	26号車	026	個別	26		
28	27号車	027	個別	27		
29	28号車	028	個別	28		
30	29号車	029	個別	29		
31	30号車	030	個別	30		
38	グ100	100	グループ	100		
39	グ200	200	グループ	200		
40	グ300	300	グループ	300		
41	グ400	400	グループ	400		
42	グ500	500	グループ	500		
34	9989	9989	個別	9989		
35	9990	9990	個別	9990		
36	9991	9991	個別	9991		
43	全グループ	1029	全グループ	1029		
1	全グループ	1029	全グループ	1029		
97	拡張...	1029	拡張			

055 閉じる

No	項目	詳細
1	カナ検索	カナ検索の条件を入力します。
2	<input type="button" value="表示"/> ボタン (カナ検索)	カナ検索で指定された条件をもとに登録されている局番号帳情報を検索します。
3	No検索	No検索の条件を入力します。
4	<input type="button" value="表示"/> ボタン (No検索)	No検索で指定された条件をもとに登録されている局番号帳情報を検索します。
5	カナ索引ボタン	<input type="button" value="ア"/> ～ <input type="button" value="ワ"/> ボタンを押下するとカナ検索文字欄に索引文字が挿入されリストが表示されます。
6	A-Z 索引リスト	A-Z リストから文字を選択するとカナ検索文字欄に索引文字が挿入されリストが表示されます。
7	0-9 索引リスト	0-9 リストから文字を選択するとカナ検索文字欄に索引文字が挿入されリストが表示されます。
8	種別選択チェックボックス	種別選択ボックスのチェックをはずすと検索結果表示欄から対象外のリストが表示されなくなります。 ※セレコール、追跡から局番号帳を開いた場合、個別のみチェックされ変更は出来ません。
9	検索結果表示欄	入力した検索条件の検索結果を一覧表示します。 検索結果をダブルクリックすると、選択した局番号帳情報を発呼部に表示します。
10	<input type="button" value="×"/>	【局番号帳】画面を閉じます。

- (1) 保守【局番号帳】で登録した情報が表示されます。この画面より、変更、削除は行なえません。
- (2) 該当データをダブルクリックで選択することで、「2.1.4.1 発呼部」に表示されます。

2.1.9.1 カナ検索操作手順

カナ検索手順は次のとおりです。

- (1) カナ検索入力欄に検索条件を入力します。
- (2) ボタンをクリックします。カナ検索画面に検索結果を表示します。
ヨミの頭文字から、入力された検索条件と一致するデータを抽出し赤文字で表示します。
- (3) カナ検索入力欄に何も入力しないでボタンをクリックすると一覧の先頭から表示します。
- (4) 表示順は、登録されたヨミをもとに英字はA～Z、数字は0～9、文字はア～ワ行を各々あいうえお順で表示しています。
- (5) 一覧のタイトルをクリックするとその項目の順に並び変わります。

2.1.9.2 端末 No 検索操作手順

端末 No 検索手順は次のとおりです。

- (1) No 検索入力欄に検索条件を入力します。
- (2) ボタンをクリックします。No 検索画面に検索結果を表示します。
入力された No からそれ以降の情報を一覧に表示します。
- (3) No 検索入力欄に何も入力しないでボタンをクリックすると一覧の先頭から表示します。

2.1.10 端末詳細

受信欄をクリックしたとき、保守設定で割り付けた端末詳細画面を表示できます。

端末詳細		
端末名称	9991(9991)	①
乗務員名称		②
電源状態	ON	③
停止時間		④
現在状態	状態1	2019/01/24 11:48:59
	静岡県静岡市清水区天神1丁目付近	
前回状態	状態2	2019/01/24 11:47:31
	静岡県静岡市清水区天神1丁目付近	
外部1		⑦
外部2		⑧
外部3		⑨
現在情報	GPS時刻	2019/02/06 14:50:09
	測位状態	測位
	速度	0km/h
	方向	北東
	住所	静岡県静岡市清水区天神1丁目付近
	緊急状態	
備考		⑬
アルコール チェック 情報	点呼区分	
	測定情報	
	測定結果	
テック別 メニュー 情報	運行距離	55Km
	運行時間	11:22運行
	瞬間速度	33Km/h

No	項目	詳細
1	端末名称	局番号帳に登録された局名称と個別番号を表示します。
2	乗務員名称	
3	電源状態	電源 OFF の状態が表示されます。
4	停止時間	保守で設定した距離を移動しない状態の経過時間を表示します。
5	現在状態	保守【端末マーク】で登録されている状態名称、変化日時、変化地点の住所を現在の状態を元に表示します。
6	前回状態	保守【端末マーク】で登録されている状態名称、変化日時、変化地点の住所を前回の状態を元に表示します。
7	制御線 1	制御線がONの場合、保守【端末マーク】で登録されている制御線名称、変化日時を表示します。
8	制御線 2	制御線がONの場合、保守【端末マーク】で登録されている制御線名称、変化日時を表示します。
9	制御線 3	制御線がONの場合、保守【端末マーク】で登録されている制御線名称、変化日時を表示します。
10	GPS受信時刻	正常に受信できた最終のGPS時刻が表示されます。
11	測位状態	GPSの測位状態が表示されます。
12	速度	端末の速度が表示されます。
13	方位	端末の方位が表示されます。
14	住所	端末の所在地が表示されます。

15	緊急状態	緊急状態と緊急に変化した日時が表示されます。
16	備考	外部機器が接続されているときは外部機器から取得した情報が表示されま す。
17	点呼区分	アルコールチェッカーから取得した情報が表示されます。
18	測定情報	アルコールチェッカーから取得した情報が表示されます。
19	測定結果	アルコールチェッカーから取得した情報が表示されます。
20	運行時間	デジタルタコメータから取得した情報が表示されます。
21	運行速度	デジタルタコメータから取得した情報が表示されます。
22	瞬間速度	デジタルタコメータから取得した情報が表示されます。
	閉じるボタン	端末詳細画面を終了します。
	履歴ボタン	端末の履歴画面を表示します。

2.1.11 外部機器連動

デジタコ等の外部機器と接続されている場合、外部機器からのデータを受信するとポップアップ表示されます。

外部機器警告	
機名名称	33330(3330)
乗務員名称	鈴木 一樹
種別	速度超過
停止時間	
現在状態	状態2 2018/02/07 18:20:36 静岡県静岡市清水区天神1丁目付近
前回状態	状態1 2018/01/29 17:13:46 静岡県静岡市清水区天神1丁目付近
外部1	
外部2	
外部3	
現在情報	取得時刻 2018/02/07 10:28:04
	現在状態 停止
	速度 324km/h
	方向 北北東
	住所 静岡県静岡市清水区天神1丁目付近
	緊急状態
備考	速度超過警告

アルコールチェッカー	
機名名称	33330(3330)
乗務員名称	鈴木 一樹
種別	ON
停止時間	
現在状態	状態2 2018/02/07 10:28:06 静岡県静岡市清水区天神1丁目付近
前回状態	状態1 2018/01/29 17:13:46 静岡県静岡市清水区天神1丁目付近
外部1	
外部2	
外部3	
現在情報	取得時刻 2018/02/07 10:28:18
	現在状態 停止
	速度 211km/h
	方向 東
	住所 静岡県静岡市清水区天神1丁目付近
	緊急状態
備考	
検出区分	
測定情報	
測定結果	

外部端末と接続した場合に表示されるメッセージは以下の通りです。

既読（メール） 削除（メール）

デジタコ連動した場合に表示されるメッセージは以下の通りです。

速度超過警告	長時間運転警告
アイドリング時間経過	エンジン回転超過警告
速度急加速警告	速度急減速警告
温度上限超過	温度下限超過
カード未挿入警告	記録異常警告
時刻取得警告	カードフル警告
出庫前走行警告	機器異常警告（タッチパネル異常）
既読（メール）	削除（メール）

アルコールチェッカーと連動した場合に表示される項目は以下の通りです。

点呼情報	乗務前・乗務中・乗務後の健康状態、車両点検が（良・悪）で表示されます。
測定情報	正常・酒気帯び・飲酒・センサー異常・温度異常・センサー校正が必要 バッテリー交換・センサー異常・使用回数制限超過が表示されます。
測定結果	測定結果が数値で表示されます。

警告を表示中に次の警告を受信した場合、警告は表示されません。

「閉じる」をクリックすると次の警告が表示されます。

2.2 顧客検索

登録されている顧客を検索し、検索結果の顧客を中心に地図を再表示します。
顧客検索手順には、全検索、検索及び部分一致検索の3種類があります。

顧客検索ボタンまたはF4キーを押下すると、以下の画面を表示します。

下記の顧客検索画面には、○印に項目番号を示し、下記の表は対応する機能の詳細を示します。

No	項目	範囲	詳細
1	電話番号	数値 11 桁	電話番号をハイフンなしで入力します。
2	顧客名称	全角 18 文字	顧客名称を入力します。
3	顧客カナ	半角 5 文字	顧客カナ名称を入力します。
4	メモ	全角 77 文字	顧客のメモを入力します。
5	顧客番号	数値 10 桁	顧客番号を入力します。
6	入場チェック		チェックすると入場判定を行なう顧客の未表示します。
7	検索結果表示欄		No. 1~5 の検索結果を一覧表示します。
8	検索ボタン		指定された条件をもとに登録されている顧客情報を検索します。 前方一致した検索結果を検索結果表示欄に表示します。
9	部分一致検索ボタン		指定された条件をもとに登録されている顧客情報を検索します。 部分一致した検索結果を検索結果表示欄に表示します。
10	展開ボタン		検索結果表示欄で選択した顧客の座標を中心とし、地図を表示します。
11	戻るボタン		【顧客検索】画面を閉じます。
12	クリアボタン		No. 1~5 をクリアします。

2.2.1 顧客検索手順

顧客検索手順には、全検索、検索及び部分一致検索の3種類があります。
各顧客検索手順は、次のとおりです。

(1) 全検索手順

検索結果表示欄には、登録されている全ての顧客情報を表示します。

- ① 電話番号、顧客名称、顧客カナ、メモ、顧客番号を空入力します。
- ② **検索**ボタンをクリックします。
検索条件が全て空の場合は、検索結果表示欄に登録されている全ての顧客情報を表示します。
- ③ 検索結果表示欄から顧客情報を選択し、**展開**ボタンをクリックします。
選択した顧客の座標を中心とし、地図を再表示します。
- ④ マークを表示なしで登録している顧客は、地図上には★が表示され、登録されている座標がわかるようになっています。

(2) 検索手順

検索結果表示欄には、登録されている検索条件に合う顧客が登録されている場合は、検索結果表示欄に顧客情報を表示します。

- ① 検索する顧客の電話番号をハイフンなしで入力します。
- ② 検索する顧客の顧客名称を入力します。
- ③ 検索する顧客の顧客カナを入力します。
- ④ 検索する顧客のメモを入力します。
- ⑤ 検索する顧客の顧客番号を入力します。
- ⑥ 入場判定を行なう顧客のみ表示する場合はチェックをつけます。
- ⑦ **検索**ボタンをクリックします。
検索条件に合う顧客が登録されている場合は、検索結果表示欄に顧客情報を表示します。
検索条件に合う顧客が1件の場合は、その顧客の座標を中心とし、地図を再表示します。
マークを表示なしで登録している顧客は、地図上には★が表示され、登録されている座標がわかるようになっています。
- ⑧ 検索の結果、該当する情報がない場合は、以下のメッセージを表示します。
OKボタンをクリックし、検索を行う場合は、再度検索条件を入力しなおして、検索を行って下さい。



- ⑨ 検索結果表示欄から顧客情報を選択し、**展開**ボタンをクリックします。
選択した顧客の座標を中心とし、地図を再表示します。
マークを表示なしで登録している顧客は、地図上には★が表示され、登録されている座標がわかるようになっています。

(3) 部分一致検索手順

検索結果表示欄には、登録されている検索条件の一部に合う顧客が登録されている場合は、検索結果表示欄に顧客情報を表示します。

- ① 検索する顧客の電話番号の一部を入力します。
- ② 検索する顧客の顧客名称の一部を入力します。
- ③ 検索する顧客の顧客カナの一部を入力します。
- ④ 検索する顧客のメモの一部を入力します。
- ⑤ 検索する顧客の顧客番号の一部を入力します。
- ⑥ **部分一致検索** ボタンをクリックします。

検索条件の一部に合う顧客が登録されている場合は、検索結果表示欄に顧客情報を表示します。
検索条件に合う顧客が1件の場合は、その顧客の座標を中心とし、地図を再表示します。
マークを表示なしで登録している顧客は、地図上には★が表示され、登録されている座標がわかるようになっています。

(4) 検索の結果、該当する情報がない場合は、以下のメッセージを表示します。

OK ボタンをクリックし、検索を行う場合は、再度検索条件を入力しなおして、検索を行なって下さい。



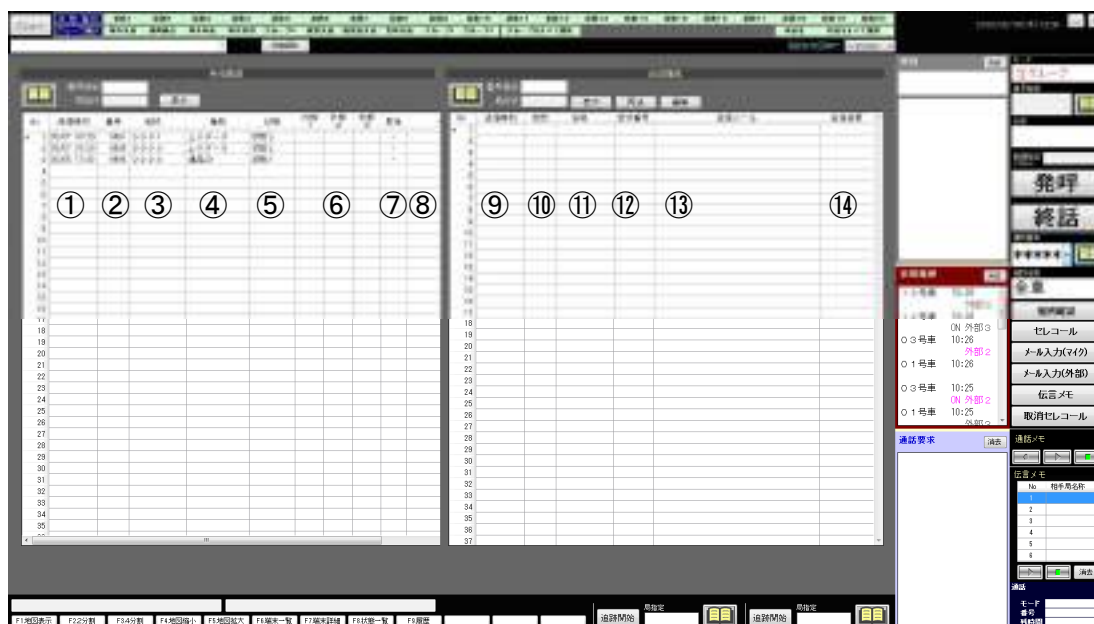
(5) 検索結果表示欄から顧客情報を選択し、**展開** ボタンをクリックします。

選択した顧客の座標を中心とし、地図を再表示します。

マークを表示なしで登録している顧客は、地図上には★が表示され、登録されている座標がわかるようになっています。

2.3 送受信履歴（データ）

端末から受信したデータ情報を履歴表示します。着呼の履歴表示は、着信履歴に表示します。
送受信履歴をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。



送信履歴

No	項目	詳細
1	受信時刻	受信した日時を表示します。
2	番号	受信した端末の個別番号を表示します。
3	名称	端末名称または乗務員名が表示されます。
4	種別	受信したデータ種別を表示します。
5	状態	受信した端末状態をもとに、保守【状態表示】で登録されている状態名称を表示します。
6	外部状態	外部信号線がONになると「ON」と表示されます。
7	緊急	緊急信号を受信すると赤○で表示します。
8	受信メール	端末からメールを受信したときに、メールの内容を表示します。


受信履歴

No	項目	詳細
9	送信時刻	送信した日時を表示します。
10	宛先	送信先の端末の個別番号を表示します。
11	名称	端末名称または乗務員名が表示されます。
12	受付番号	送信した際に付加される番号を表示します。 メール送信時の受付番号は、1 から 254 までの繰返しです
13	送信メール	送信したメールの内容を表示します。
14	送信結果	送信結果を表示します。 送信ができた場合「送信済」、送信が失敗した場合は「失敗」と表示します。

履歴表示する受信データ情報は、つぎのとおりです。

- ① 端末から受信したときに表示
「上りデータ」「通話 ID」「伝言メモ」「セレコール」「取消セレ」「メール」「緊急通報受信」「緊急解除通知」です。
- ② 端末へ送信し応答が返ってきたときに表示
「伝言メモ応答」「セレコール応答」「取消セレ応答」「メール応答」です。
- ③ 他局宛のデータを受信したときに表示
「通話 ID」「緊急通報受信」「緊急解除通知」以外は、各種別の頭に「他局」をつけて表示します。

履歴表示は、過去 24 時間分（または 1000 件以内）とし、24 時間（または 1000 件）を超えたものは削除します。

受信履歴ボタン、 ボタンまたは **F5** キーを押下すると、以下の画面を表示します。

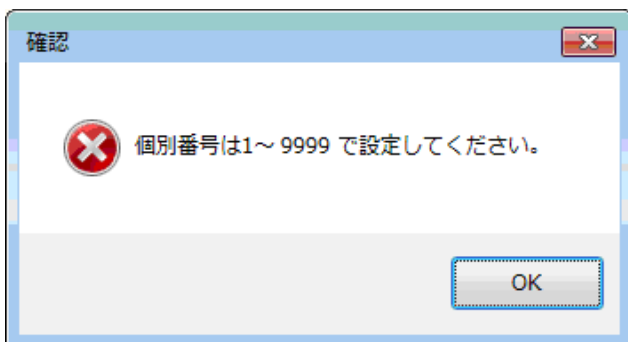
下記の受信履歴画面には、○印に項目番号を示し、下記の表は対応する機能の詳細を示します。

(1) 番号指定による送信・受信履歴画面表示操作

- ① 番号指定に番号を入力するか局番号帳から選択し、**表示** ボタンをクリックします。
入力された番号のデータのみを抽出し時間順で表示します。
- ② 番号指定に何も入力しないで**表示** ボタンをクリックすると一覧の先頭から表示します。
- ③ 保守【個別番号】に登録されていない個別番号を指定した場合、**表示** ボタンをクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。
OK ボタンをクリックして下さい。個別番号を入力しなおしてから、番号指定を行って下さい。



- ④ 入力した個別番号が、範囲外の数値である場合、**表示** ボタンクリック後、以下のエラーメッセージを表示します。
OK ボタンをクリックして下さい。個別番号を入力しなおしてから、番号指定を行って下さい。



(2) メールの編集

- ① メール内容を編集したい行をクリックで選択します。
- ② **編集**ボタンを押下します。【メール送信】画面に遷移します。メールの編集手順は、「2.1.4.5」メール部を参照して下さい。

(3) メールの再送

- ① 再送したい行をクリックで選択します。
- ② **再送**ボタンをクリックします。同じ宛先に同じ内容のメールを再送します。

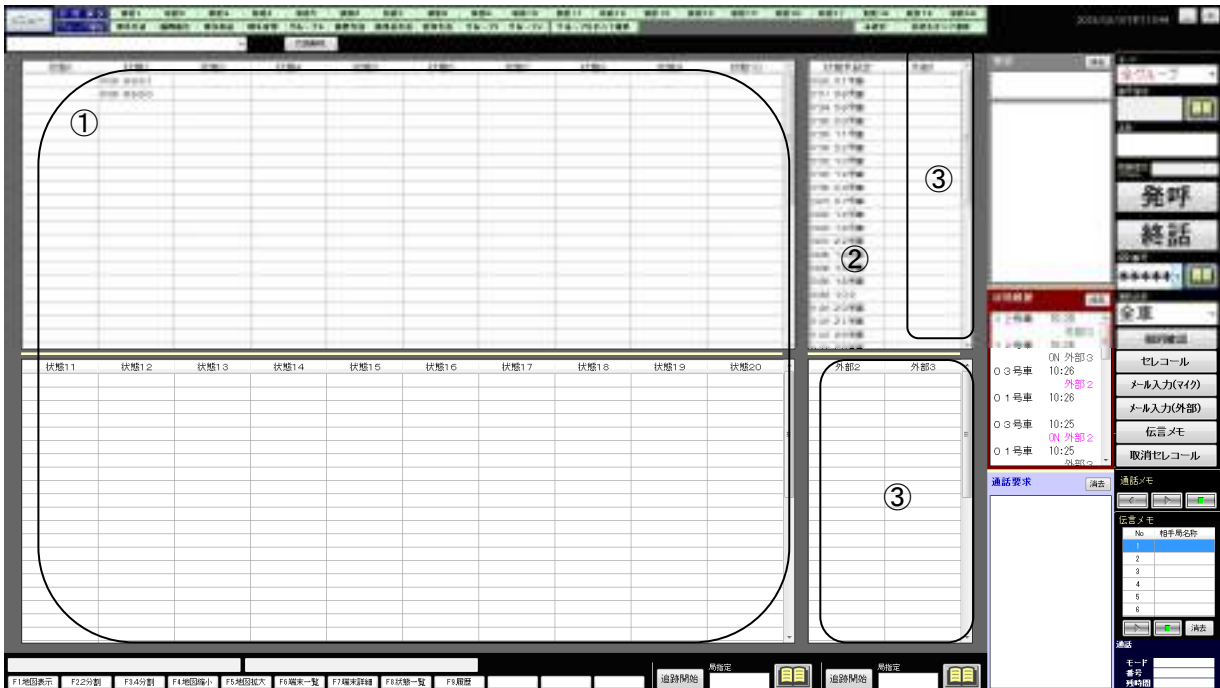
(4) **戻る**ボタン

ファンクションボタン2の**戻る**ボタンをクリックすると【送信履歴】画面を閉じます。

2.4 状態表示


端末から受信した情報をもとに、端末状態毎に端末の個別番号を表示します。

状態一覧メニューを選択すると、以下の画面を表示します。



No	項目	詳細
1	マイク状態	保守【端末マーク】で登録したマイク状態名称と、端末から受信した情報で設定しているマイク状態に端末の個別番号を表示します。20項目
2	状態未設定	端末から受信した情報で状態設定がない端末の個別番号を表示します。
3	外部状態	保守【端末マーク】で登録した外部状態名称と、端末から受信した情報で設定している外部状態に端末の個別番号を表示します。

(1) 状態表示

- ① 端末から状態変化通知を受信したときに、該当する状態欄に個別番号を表示します。
- ② 外部状態とマイク状態の両方の状態を受信した場合は、受信欄・受信一覧表には外部状態、マイク状態の順で個別番号と状態名称を表示し、一覧にも、受信した外部状態とマイク状態に個別番号を表示します。
- ③ 状態が変化しない場合は表示順位が変わりません。
- ④ 上段と下段の境界線にマウスが重なるとマウスカーソルが  に変わります。
マウス左ボタンを押下したまま移動をすると境界線が移動します。

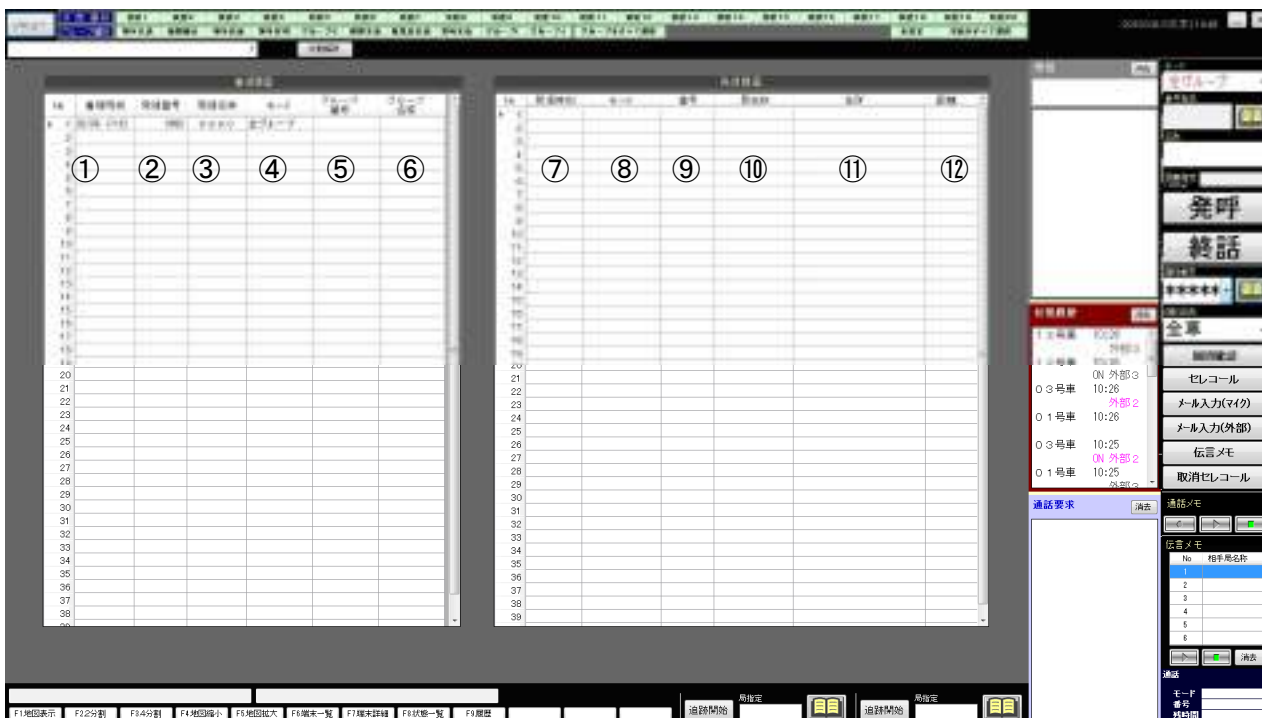
(2) マウス操作

- ①、②、③欄をクリック、ダブルクリック、右クリックすると保守設定で指定された機能が動作します。

2.4 発着信履歴（発呼）

端末への発信（発呼）情報を履歴表示します。

発着信履歴をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。



着信履歴

No	項目	詳細
1	着信時刻	着信した日時を表示します。
2	発信番号	発信者の端末の個別番号を表示します。
3	発信名称	個別番号をもとに、局番号帳から局名称を表示します。 局番号帳に登録されていない場合は、空白となります。
4	モード	端末から着信した際の接続モードを表示します。
5	グループ番号	グループで発信した場合はグループ番号を表示します。
6	グループ名称	グループ番号をもとに、局番号帳から名称を表示します。 局番号帳に登録されていない場合は、空白となります。

発信履歴

No	項目	詳細
7	発信時刻	発信した日時を表示します。
8	モード	発信したときの接続モードを表示します。
9	番号	発呼部の番号指定に入力した個別番号を表示します。
10	局名称	発呼部の局名称に表示された局名称を表示します。 局番号帳に登録されていない場合は、空白となります。
11	住所	「隣接」モードで発呼した場合、中心座標の住所が表示されます。
12	距離	「隣接」モードで発呼した場合、距離が表示されます。

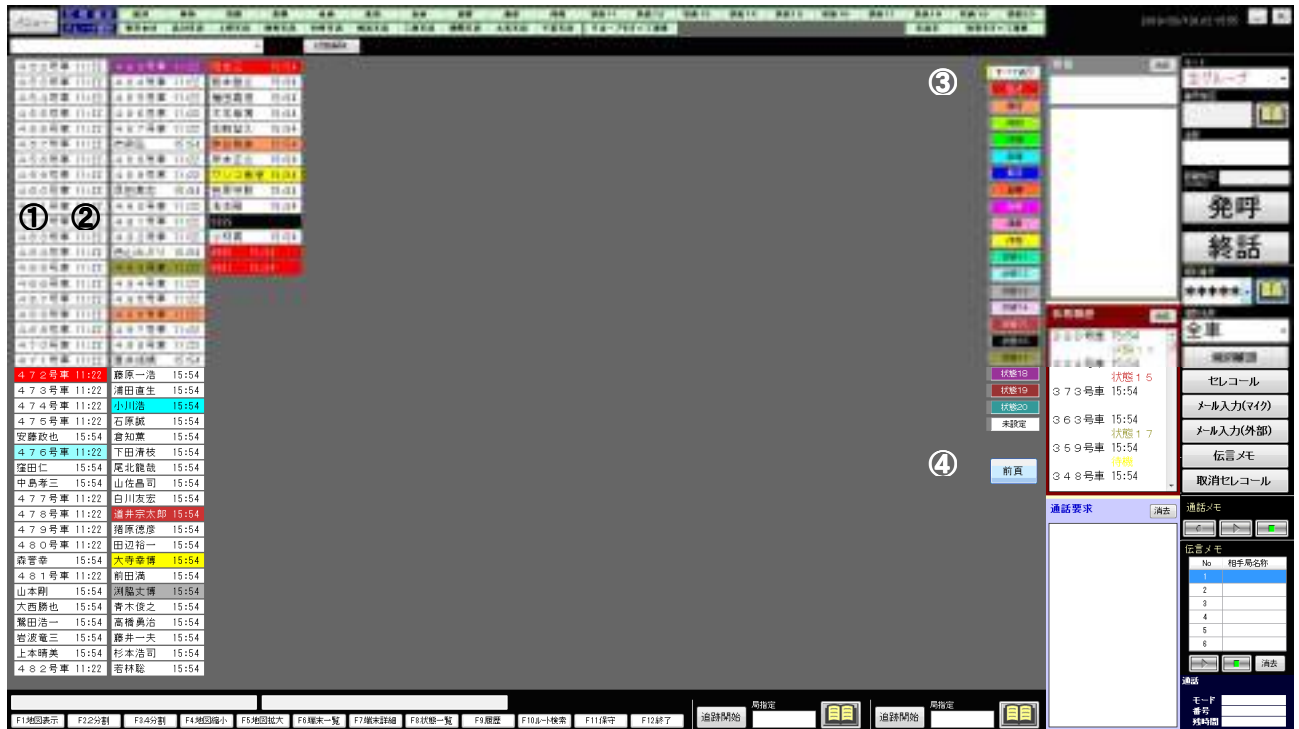
(1) 履歴表示

- ① 一覧から発呼したい情報をダブルクリックすると、発呼部内に選択された発呼情報を表示します。
- ② 履歴表示は過去24時間分（または1000件以内）とし、24時間（または1000件）を超えたものは削除されます。

2.5 端末一覧

各端末の端末状態を一覧で表示します。

端末一覧 をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。



No	項目	詳細
1	個別番号または局名称	保守設定により個別番号または局名称を表示します。 クリック、ダブルクリック、右クリックすると保守設定で指定された機能が動作します。
2	受信時刻	受信した日時を表示します。
3	状態選択	クリックすると選択した状態以外の端末情報が非表示になります。
4	頁切替	次頁、前頁の切替を行います。

(1) 表示色

保守設定で指定した状態色または電源 OFF 色で表示します。

(2) 表示順

保守設定で移動局表示を番号にした場合は番号順に、名称にした場合はカナ順に表示されます。

(3) 選択

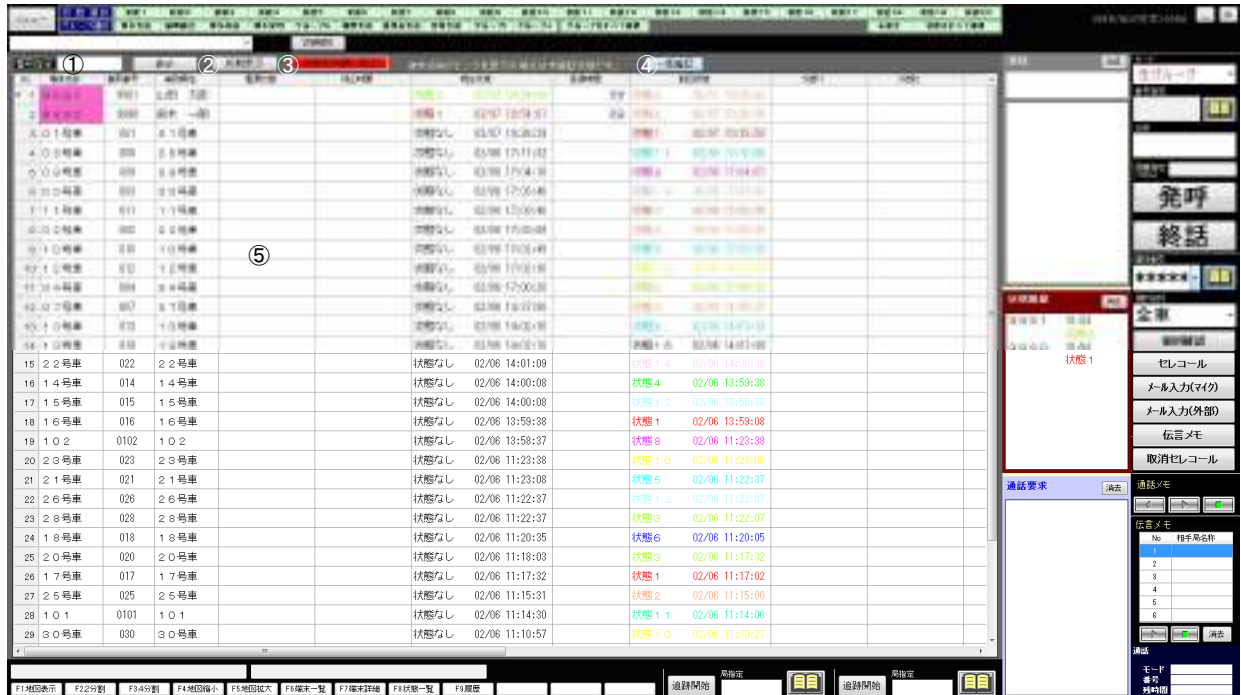
クリックすると選択した状態以外の端末情報が非表示になります。

選択した状態を再度クリックするとすべての端末情報が表示されます。

2.6 端末詳細一覧

各端末の端末状態を表示します。

端末詳細一覧をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。



No	項目	詳細
1	番号指定	端末番号を入力して「表示」をクリックすると指定番号の端末から端末番号順に表示されます。
2	初期表示	「初期表示」をクリックすると変更した表示幅、表示順が初期状態に戻ります。
3	状態変化順に表示	「状態変化順に表示」をクリックするとボタンが赤色に変わり表示順が状態変化時刻の降順に変わります。再度クリックするとボタンが灰色に戻りカナ順に表示されます。
4	一括確認	状態変化により赤背景表示した端末名称欄を一括で白背景表示に戻します。
5	一覧表示部	タイトルの境界線をドラッグすると各項目の表示幅が変更できます。 表示項目のタイトルをクリックすると指定した項目による昇順、降順の並び替えが出来ます。 端末表示行をクリック、ダブルクリックすると保守設定で指定された機能が動作します。 状態が変化すると端末名称欄が赤背景色で表示されます。 右クリックをすると赤背景色が白背景色に戻ります。

表示項目		
端末名称		局番号帳に登録した端末名称が表示されます。
車両番号/ヨミ		局番号帳に登録したカナが表示されます。
乗務員名		
電源状態		電源が入っていない場合 OFF と表示されます。 電源 OFF のときは灰色表示になります。
停止時間		保守で設定した距離を移動しない状態の経過時間を表示します。
現在状態		端末から受信した際の端末状態をもとに、保守【端末マーク】で登録されている状態名称と変化日時を表示します。
経過時間		現在の状態になってからの経過時間を表示します。
前回状態		前回の端末状態をもとに、保守【端末マーク】で登録されている状態名称と変化日時を表示します。
信号線 1		外部信号線 1 の状態と変化日時を保守【端末マーク】で登録された名称で表示します。※保守で非表示とした場合は表示されません。
表示項目		
信号線 2		外部信号線 2 の状態と変化日時を保守【端末マーク】で登録された名称で表示します。※保守で非表示とした場合は表示されません。
信号線 3		外部信号線 3 の状態と変化日時を保守【端末マーク】で登録された名称で表示します。※保守で非表示とした場合は表示されません。
GPS 時刻		最後に受信した GPS 測位日時を表示します。
速度		端末の速度が表示されます
方向		端末の方位が表示されます。
緊急状態		緊急信号を受信すると赤○で表示し、変化日時を表示します。
受信メール・ 外部機器情報		外部機器が接続されているときは外部機器から取得した情報が表示されます。
端末番号		端末の個別番号が表示されます。
運行距離		ドライブレコーダーから通知された運行距離が表示されます。
運行時間		ドライブレコーダーから通知された運行時間が表示されます。
瞬間速度		ドライブレコーダーから通知された瞬間速度が表示されます。

2.7 通話モニタ・割込み

通信を行っている端末情報を収集し、モニタ及び通話割り込みが可能か一覧表示します。
通話モニタ・割込をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。



No	項目	詳細
1	モード	通信を行っている端末の接続モードを表示します。
2	対象番号	通信中の番号を表示します。 左側：発信番号、局名称 右側：着信番号、局名称
3	通話状況取得	データを取得します。
4	モニタ開始	通話状況をモニタします。
5	モニタ終了	通話モニタ・割込みを終了します。

(1) 収集

- ① **通話状況取得**ボタンをクリックして下さい。
- ② 接続情報を収集し、一覧に表示します。
通信が無い場合は表示されません。

2.7.1 モニタ操作手順

- (1) 情報を選択します。
- (2) **モニタ**ボタンをクリックするとモニタ中となります。
モニタ中は、発呼部の**発呼**ボタンは使用不可となります。
- (3) **終了**ボタンをクリックするとモニタを終了します。
通信が終了したら、発呼部の**発呼**ボタンは使用可となります。

2.7.2 通話割り込み操作手順

- (1) モニタ中にマイクプレスすると通話割り込みを行います。
通話割り込み中は、発呼部の**発呼**ボタンは使用不可となります。
- (2) **終了**ボタンまたは発呼部の**終話**ボタンをクリックすると通話割り込みを終了します。
発呼部の**発呼**ボタンは使用可となります。
※**終了**ボタンをクリックすると割り込みのみを終了し、割り込みしている通信はそのまま継続されます。
※発呼部の**終話**ボタンをクリックすると割り込みしている通信を切断します。

2.8 走行履歴

指定した端末の走行履歴を表示します。

履歴をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。



No	項目	詳細
1	検索端末	履歴表示する端末の個別番号を入力します。 局番号帳検索が出来ます。
2	乗務員指定	履歴表示する乗務員を指定します。 乗務員検索が出来ます。
3	日時選択	履歴表示したい日時範囲を入力します。 初期状態では、営業日付を表示し、一日が選択されます。
4	表示間隔	表示するデータの間隔を指定します。0を指定すると、マイク状態、外部状態の変化したデータのみを表示します。
5	検索 ボタン	指定された端末の走行履歴を検索します。
6	ラベル消去 ボタン	表示された端末アイコンに付随するラベルを消去します。 ラベルを消去した後、 ラベル表示 ボタンに変わります。
7	軌跡 ボタン	表示された端末アイコンを順番に直線で結び表示します。 軌跡が表示された状態で再度 軌跡 ボタンを押下すると軌跡を消去します。
8	印刷 ボタン	表示された地図及び一覧を印刷します。
9	閉じる ボタン	履歴画面から元の画面に戻ります。

一覧表示		
10	受信時刻	該当端末から受信した日時を表示します。
11	GPS 時刻	該当端末から受信した GPS 測位時刻を表示します。
12	状態	端末状態を表示します。
13	経過時間	状態が変化してから次の状態に変化するまでの経過時間を表示します。
14	外部情報線 1-3	外部情報線の状態を表示します。
15	速度	速度を表示します。
16	方位	方位を表示します
17	運行距離	ドライブレコーダーの情報を表示します。
18	運行時間	ドライブレコーダーの情報を表示します。
19	瞬間速度	ドライブレコーダーの情報を表示します。
20	外部機器情報	外部機器の情報を表示します。

(1) 履歴表示手順

- ① 個別番号を指定します。
- ② 履歴表示したい日時範囲を入力します。
- ③ 過去 1 年間の範囲で最大 1 4 日分指定できます。
自動的に保存されるのは過去 1 年分ですが、別媒体に保存された過去データをコピーすることが出来ます。操作方法は「6 1 年以上前の走行履歴表示」を参照してください。
- ④ 表示間隔を指定します。
- ⑤ **検索** ボタンをクリックします。
指定された個別番号の端末の走行履歴を一覧に表示します。
地図上には一覧に表示された時刻の端末の位置を表示します。
※表示されるデータは、保守で設定した時間間隔または、状態変化があった場合となります。
※時間間隔を「0」とすると状態変化があった場合のみとなります。
※指定範囲のデータが 50000 件以上あった場合 50000 件まで表示されます。

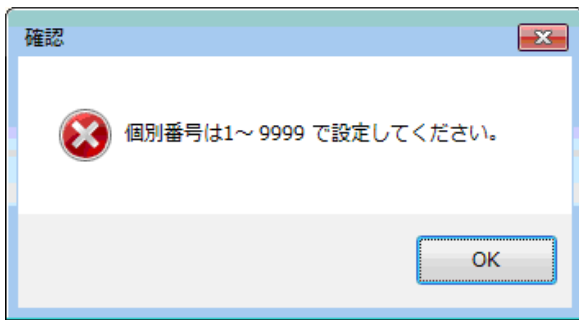
以下の場合、エラーメッセージを表示します。

- ① 個別番号が入力されていない場合。
OK ボタンをクリックし、個別番号を入力してから、再度、**検索** ボタンをクリックして下さい。



- ② 個別番号が範囲外の値が入力されている場合。

OKボタンをクリックし、個別番号を入力してから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。



- ③ 保守【個別番号】に登録されていない個別番号を指定した場合。

OKボタンをクリックし、保守【個別番号】に登録されている個別番号に入力しなおしてから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。



- ④ 指定された日付の履歴データが無い場合。

OKボタンをクリックし、日付を入力しなおしてから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。



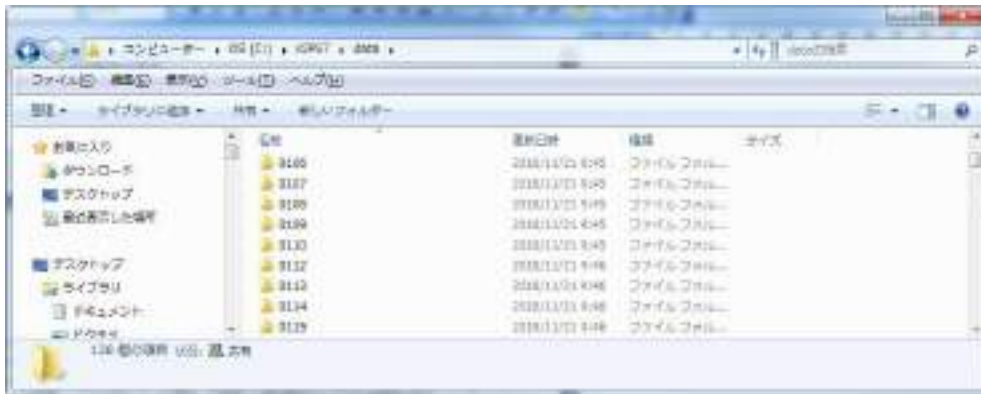
- ⑤ 指定されたファイルの保存先パス、ファイルが存在しない場合。

OKボタンをクリックし、ファイルを入力しなおしてから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。

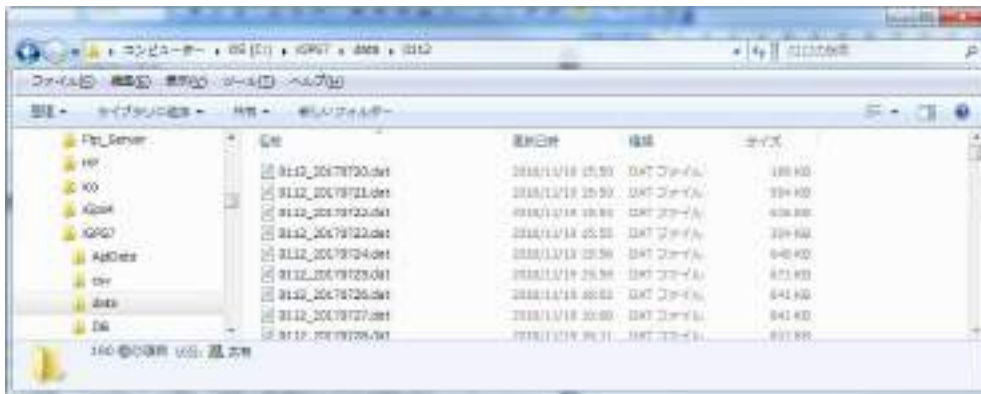


(2) 走行履歴ファイル

履歴データの保存先は「C:\¥iGPS7¥Data」フォルダです。
端末番号別のフォルダがあります。



データファイルは端末番号フォルダ内にあります。



〈端末番号_年月日.dat〉の形式で 0:00 から 23:59 のデータが保存されています。
該当日から過去 1 年分のデータが保存されています。
データファイルは日替わり処理時に保存期間を過ぎたものが削除されます。

(3) 履歴ファイルの項目

No	項目	詳細
1	営業日時	受信日時が保存されます。
2	受信日時	端末からサーバにデータが送信された日時が保存されます。
3	P 種別	システムで使用されます。
4	D 種別	システムで使用されます。
5	端末番号	端末番号が保存されます。
6	緊急状態	システムで使用されます。
7	マイク状態	マイク状態が 0 ~ 20 の範囲で保存されます。
8	外部線 A	外部線 A の状態が 0、1 で保存されます。
9	外部線 B	外部線 B の状態が 0、1 で保存されます。
10	外部線 C	外部線 C の状態が 0、1 で保存されます。
11	外部機器情報	外部機器の情報が保存されます。
12	ACC 信号	ACC 信号の状態が 0、1 で保存されます。
13	緊急信号	緊急信号の状態が 0、1 で保存されます。
14	GPS 状態	GPS の受信状態が保存されます。
15	GPS 時刻	GPS の最終受信時刻が保存されます。
16	測地状態	測地の状態が保存されます。
17	測地系	システムで使用されます。
18	方位	8 方位が保存されます。
19	日本標準時	システムで使用されます。
20	速度	速度が保存されます。
21	緯度	緯度がミリ秒単位で保存されます。
22	経度	経度がミリ秒単位で保存されます。
23	長時間判定	長時間判定状態が 0、1 で保存されます。
24	電源 OFF	電源 OFF 状態が 0、1 で保存されます。
25	備考	外部機器情報等が保存されます。
26	ユーザーコード	ユーザーコードが表示されます。
27	長時間開始日時	長時間班手の開始日時が保存されます。

2.9 検索

住所、施設の検索を行います。

検索をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。

検索

検索する文字を入力してください。 ⑦ 閉じる

住所を検索する場合は、県と市の間などの区切りにスペースを入力してください。

① キーワード

② 都道府県

③ 住所 ④ 施設 ⑤ 駅 ⑥ 〒

名前	読み	都道府県	住所	大分類	中分類
⑧					

No	項目	詳細
1	検索文字	住所または施設の名称を入力します。 住所は、県と市の間などの区切りにスペースを入力します。
2	都道府県	都道府県を指定すると指定都道府県の情報を表示します。 指定をしないと地図中心点から近い順に情報を表示します。 ※郵便番号検索時は都道府県指定は無効となります。
3	住所ボタン	入力した検索文字から住所を検索し、一覧に表示します。
4	施設ボタン	入力した検索文字から施設の名称を検索し、一覧に表示します。
5	駅ボタン	入力した検索文字から駅の名義を検索し、一覧に表示します。
6	〒ボタン	入力した検索文字から〒を検索し、一覧に表示します。
7	閉じるボタン	【検索】画面を閉じます。
8	検索結果表示欄	検索結果を一覧表示します。 検索結果をダブルクリックすると、選択した住所または施設を中心に地図を再表示します。

2.9.1 住所の検索手順



住所の検索手順は次のとおりです。

- (1) 検索文字に住所を入力します。
住所は、県と市の間などの区切りにスペースを入力します。
- (2) **住所**ボタンをクリックします。住所の検索結果を一覧に表示します。
- (3) 住所を選択してダブルクリックすると、検索結果を中心に地図を再表示します。

2.9.2 施設の検索手順



施設の検索手順は次のとおりです。

- (1) 検索文字に施設の名称を入力します。
- (2) **施設**ボタンをクリックします。施設の検索結果を一覧に表示します。
- (3) 施設を選択してダブルクリックすると、検索結果を中心に地図を再表示します。

※ 施設は表示中の地図中心地点から近い順に表示されます。

(4) エラーメッセージの表示

- ① 住所、施設の検索に失敗した場合。

OKボタンをクリックし、検索文字を入力してから、再度、住所/施設ボタンをクリックして下さい。



- ② 住所、施設の検索で、対象が存在しない場合。

OKボタンをクリックし、検索文字を入力してから、再度、住所/施設ボタンをクリックして下さい。



2.10 顧客登録

顧客情報の登録・変更・削除を行います。

顧客登録をメニューから選択すると、以下の画面を表示します。

No	項目	詳細
1	新規登録	顧客情報を新規に登録します。
2	変更・削除	顧客情報を変更・削除します。
3	実行 ボタン	指定された処理選択を実行します。
4	戻る ボタン	【顧客登録】画面を閉じます。

- (1) 新規登録を指定し、**実行**ボタンをクリックすると【顧客登録】画面を表示します。
- (2) 変更・削除を指定し、**実行**ボタンをクリックすると【顧客検索】画面を表示します。
【顧客検索】画面より、変更・削除したい顧客を検索し、該当する顧客の情報を【顧客登録】画面に表示します。
- (3) **戻る**ボタンをクリックすると、【顧客登録】画面を閉じます。

2.10.1 顧客の新規登録

顧客の新規登録は、顧客の情報を入力して登録します。

新規登録を指定し、**実行**ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。

画面を表示した直後は、全て空欄となっています。



No	項目	範囲	詳細
1	電話番号	数値 11 桁	電話番号を入力します。 市外局番、市内局番、加入者番号を合わせて 11 桁以内になるように入力します。 省略できます。
2	名称	全角 18 文字	顧客名称を入力します。 省略できません。
3	カナ名称	半角 5 文字	顧客カナ名称を入力します。 省略できません。
4	ソート番号	数値 20 桁	顧客のソート番号を入力します。 省略できません。
5	メモ	全角 77 文字	顧客のメモを入力します。 省略できます。
6	顧客番号 1~2	数値 10 桁	顧客番号 1~2 を入力します。 省略できます。
7	マーク表示		顧客の位置を示すマークの表示有無を指定します。 マーク表示「なし」を指定すると、No. 8~10 は入力、選択不可となります。
8	入場チェック	選択 数値 4 桁	入場判定 (あり・なし) 入場判定距離 (m) を指定します。 100 件まで登録できます。
9	略称	全角 5 文字 半角 10 文字	顧客の位置にマークを表示する際の名称を入力します。
10	色		地図上に表示するマークの表示色を選択します。

No	項目	範囲	詳細
11	マーク		顧客の位置を示すマークを選択します。 左側のマークは、システム固定です。 右側のマークは、保守【ランドマーク】で取り込んだ自作アイコンです。
12	位置座標		顧客の位置座標を世界測地系で指定します。 省略できません。 地図上で顧客の位置をマウスで右クリックすると北緯・東経に座標が表示されます。 検索ボタンをクリックすると【住所・施設検索】画面を表示します。
13	担当端末		登録する顧客を担当する端末を入力します。
14	登録ボタン		顧客情報を登録します。
15	閉じるボタン		【顧客登録】画面を閉じます。

顧客の新規登録手順は、次のとおりです。

- (1) 電話番号は、市外局番、市内局番、加入者番号を合わせて11桁以内になるように入力して下さい。

市外局番（数値5桁以内） - 市内局番（数値4桁以内） - 加入者番号（数値4桁）

- (2) マークで自作アイコンを指定した場合、マークは指定したボタンに表示されているマーク、名称は指定した色で地図上に表示します。
- (3) マーク表示を「あり」または「ランドマーク」で指定すると、指定した北緯・東経の位置に指定したマークを表示します。
マーク表示を「なし」で指定すると、指定した北緯・東経の位置に★のマークを表示します。

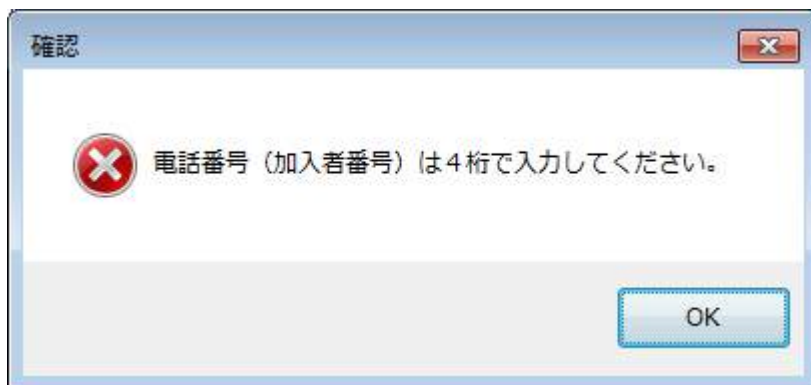
- (4) エラーメッセージの表示

- ① 電話番号が途中まで入力されている場合。

OKボタンをクリックし、電話番号を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ② 電話番号の加入者番号が4桁まで入力されていない場合。
OKボタンをクリックし、電話番号を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ③ 電話番号が11桁より多く入力されている場合。
OKボタンをクリックし、電話番号を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ④ 顧客名称が入力されていない場合。
OKボタンをクリックし、顧客名称を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑤ 顧客名称に半角文字が入力されている場合。

OKボタンをクリックし、顧客名称を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑥ カナ名称が入力されていない場合。

OKボタンをクリックし、カナ名称を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑦ カナ名称に全角文字が入力されている場合。

OKボタンをクリックし、カナ名称を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



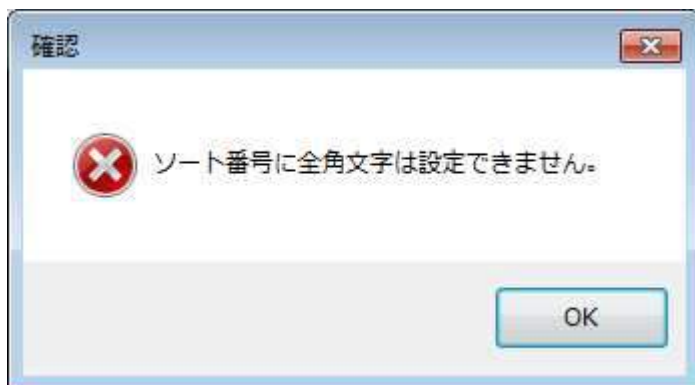
- ⑧ ソート番号が入力されていない場合。

OKボタンをクリックし、ソート番号を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



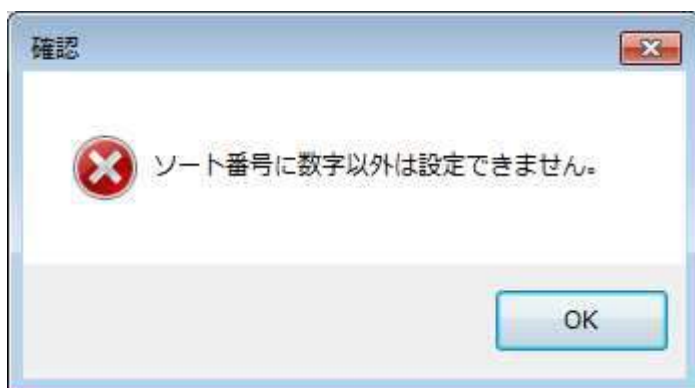
- ⑨ ソート番号に全角文字が入力されている場合。

OKボタンをクリックし、ソート番号を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



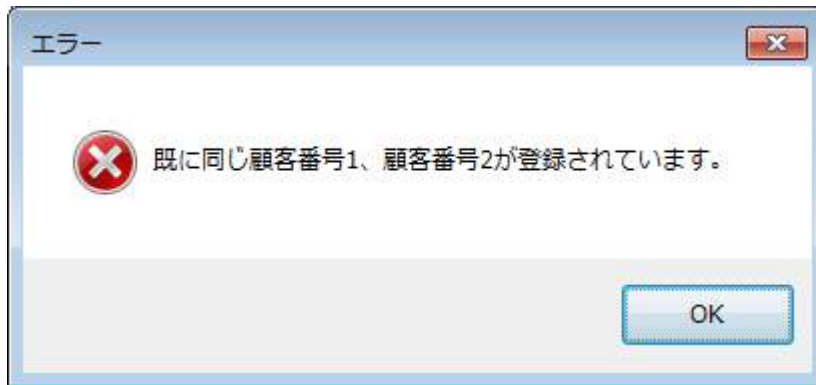
- ⑩ ソート番号に数値以外が入力されている場合。

OKボタンをクリックし、ソート番号を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑪ 同じ顧客番号が登録されている場合。

OKボタンをクリックし、顧客番号1~2を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑫ マーク表示で「あり」または「ランドマーク」を選択した状態で、略称が入力されていない場合

OKボタンをクリックし、略称を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑬ マーク表示で「あり」または「ランドマーク」を選択した状態で、マーク色が選択されていない場合。

OKボタンをクリックし、マーク色を選択してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



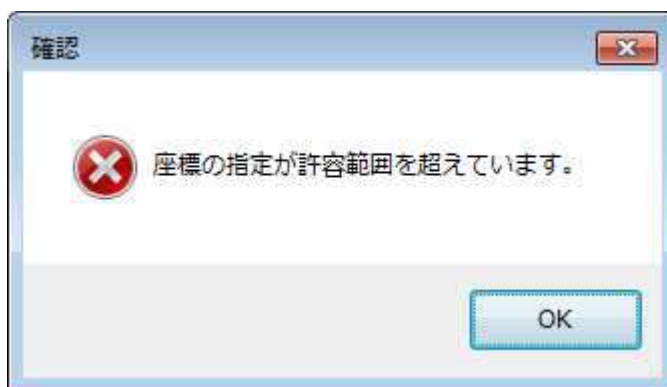
- ⑭ マーク表示で「あり」または「ランドマーク」を選択した状態で、アイコンが選択されていない場合。
OKボタンをクリックし、アイコンを選択してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑮ 座標に数値以外が入力されている場合。
OKボタンをクリックし、座標を指定してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑯ 座標に範囲外の値が入力されている場合。
OKボタンをクリックし、座標を指定してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



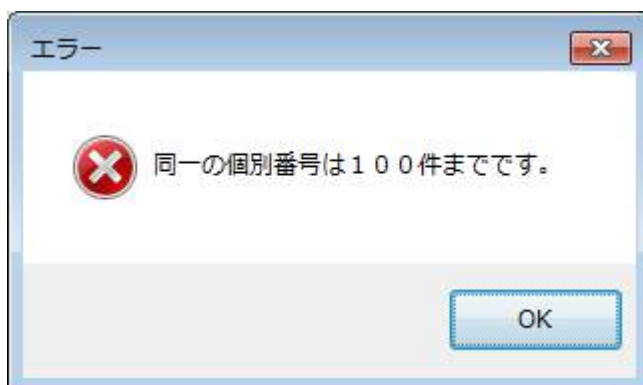
- ⑰ 担当端末に同一の端末が入力されている場合。
OKボタンをクリックし、担当端末を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑱ 保守【個別番号】に登録されていない担当端末を指定した場合。
OKボタンをクリックし、保守【個別番号】に登録されている担当端末を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



- ⑲ 担当端末が顧客を100件登録している場合。
OKボタンをクリックし、担当端末を入力してから、再度、登録ボタンをクリックして下さい。



2.10.2 顧客情報の変更・削除

顧客情報の変更・削除を行います。

変更・削除を指定し、**実行**ボタンをクリックすると【顧客検索】画面を表示します。

顧客名	メモ
オータニ	大谷コーポレーション
オーモリ	大森クリニック

顧客の検索手順は、「2.3 顧客検索」の検索手順を参照して下さい。

【顧客登録】画面には、検索結果の顧客情報を表示し、地図は、その顧客の位置を中心に表示します。



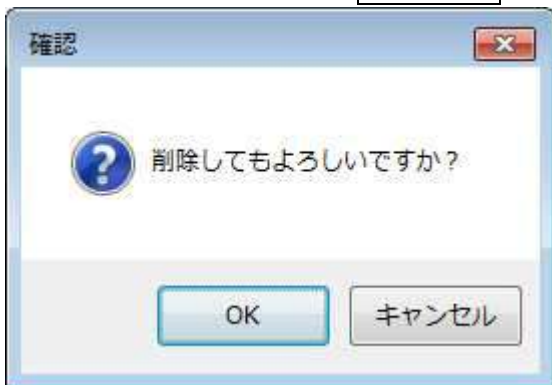
(1) 変更手順

- ① 変更したい情報を変更します。
- ② ファンクションボタン2の「登録」ボタンをクリックすると、登録します。
但し、入力ミス、未入力の箇所があると、その旨のエラーメッセージが表示されますので、その箇所を訂正し、再度、ファンクションボタン2の「登録」ボタンをクリックして下さい。
- ③ 顧客情報が登録されると、以下のメッセージを表示します。



(2) 削除手順

- ① 削除しても良い顧客なのかを確認します。
- ② ファンクションボタン2の「削除」ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージを表示します。
ア 削除する場合は、「OK」ボタンをクリックして下さい。
削除した顧客情報は元に戻すことはできません。
イ 削除しない場合、「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。



- ③ 顧客情報が削除されると、以下のメッセージを表示します。

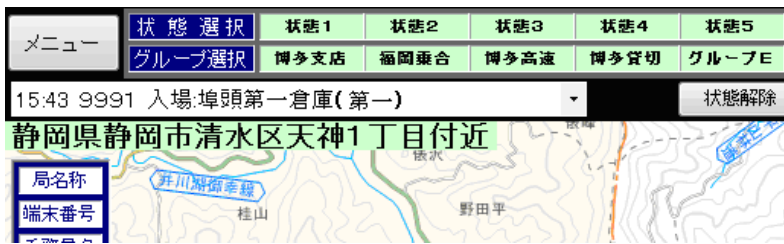


(3) 「戻る」ボタン

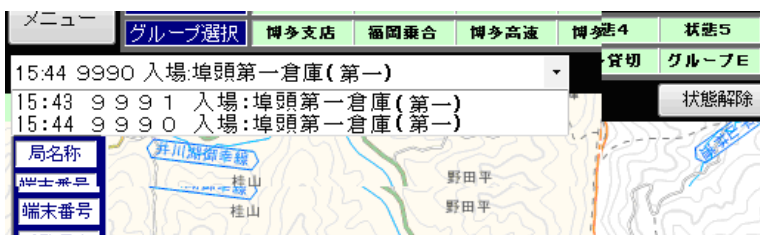
ファンクションボタン2の「戻る」ボタンをクリックすると【顧客登録】画面を閉じます。

2.10.3 入場判定

顧客情報に入場チェックをつけると、端末が指定範囲に入場した時、画面に表示されます。
 ※入場チェックの登録は「2.10.1 顧客の新規登録」を参照してください。



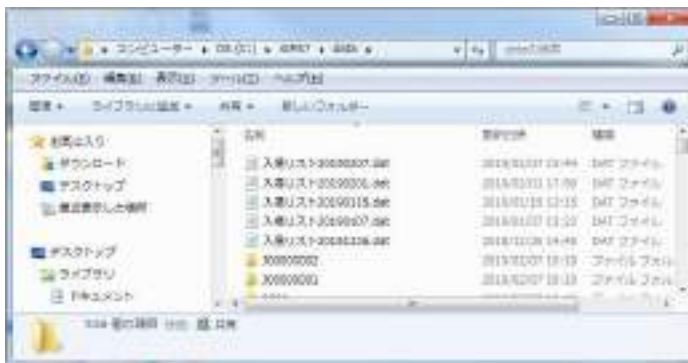
システム起動後からの最新100件が履歴として表示されます。



また、入場リストはファイルとして保存されます。

保存フォルダ : C:\¥iGPS7\data

ファイル名 : 入場リスト YYYYMMDD.dat



2.11 追跡

指定した監視時間の間、特定端末のデータ収集を行います。



No	項目	詳細
1	追跡開始ボタン	指定した端末の個別番号をもとに追跡を開始します。
2	個別番号入力	追跡する端末の個別番号を入力します。

2.11.1 追跡開始

追跡開始手順は次のとおりです。

- (1) 個別番号入力に追跡したい端末の個別番号を入力します。
緊急表示の右横の「追跡」ボタンをクリックしたときは、緊急表示されている個別番号を個別番号入力に表示します。
- (2) 「追跡開始」ボタンをクリックします。
ボタン名称が「追跡開始」から「追跡終了」になります。
- (3) 追跡画面が表示されます。
指定した個別番号のデータを 15 秒間隔で取得します。
追跡中のあいだは、データ取得後、該当個別番号の端末アイコンを中心に地図を表示していきます。



(6) エラーメッセージの表示

次の場合は、エラーメッセージを表示します。

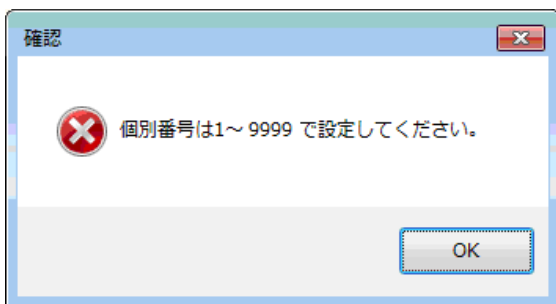
① 個別番号が入力されていない場合。

OKボタンをクリックし、個別番号を入力してから、再度、追跡開始ボタンをクリックして下さい。



② 個別番号が範囲外の値が入力されている場合。

OKボタンをクリックし、個別番号を入力してから、再度、追跡開始ボタンをクリックして下さい。



③ 保守【個別番号】に登録されていない個別番号を指定した場合。

OKボタンをクリックし、保守【個別番号】に登録されている個別番号に入力しなおしてから、再度、追跡開始ボタンをクリックして下さい。



2.11.2 追跡終了

追跡終了手順は次のとおりです。

- (1) 追跡を途中で終了する場合は、追跡終了ボタンをクリックして下さい。

2.12 ルート検索

ルート検索は、指定区間の距離と時間を表示します。

ルートをメニューから選択すると、以下の画面を表示します。

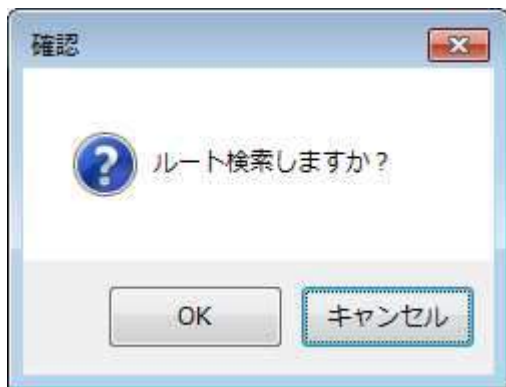
The screenshot shows a 'ルート検索' (Route Search) window. At the top, it says '出発地を右クリックして下さい。' (Please right-click the departure location). Below this are several dropdown menus for selection: '車種指定' (Vehicle Type) with '大型車' (Large Vehicle) selected (1); '検索条件' (Search Conditions) with 'おすすめ' (Recommended) selected (2); '速度指定' (Speed Specification) with '高速' (Expressway) selected (3); '国道' (National Road) with '60' selected; '主要地方道' (Main Prefectural Road) with '50' selected; '普通府県道' (General Prefectural Road) with '50' selected; '一般道' (General Road) with '30' selected; '増設道' (Added Road) with '20' selected; and 'フリールート' (Free Route) with '30' selected. Below these are input fields for '出発地' (Departure Location) (4) and four '目的地' (Destination) fields (5). At the bottom, there are input fields for '距離' (Distance) (6) and '時間' (Time) (7). At the very bottom are buttons for 'クリア' (Clear) (8), '検索' (Search) (9), and '閉じる' (Close) (10).

No	項目	詳細
1	車種指定	検索を行う車種を指定します。 車種により検索される道路幅が変わります。 変更するとシステムに保存されます。
2	検索条件	「おすすめ」、「距離優先」、「一般道優先」「一般道優先（規制未使用）」から検索条件を指定します。 （規制未使用）を指定すると一方通行等の規制が適用されません。 変更するとシステムに保存されます。
3	速度指定	それぞれの道路を走行する平均速度を指定します。 条件を変更するとシステムに保存されます。
4	出発地	ルート検索出発地点の住所を入力します。
5	目的地 1～4	ルート検索目的地点の住所を入力します。 目的地を最大4つまで指定できます。
6	距離	ルート検索した出発地から目的地までの距離（m）を表示します。
7	時間	ルート検索した出発地から目的地までの時間（分）を表示します。
8	クリアボタン	出発地、目的地、距離、時間をクリアします。
9	検索ボタン	指定した出発地と目的地をもとにルートを検索します。
10	閉じるボタン	ルート検索画面を閉じます。

2.12.1 ルート検索操作手順

ルート検索手順は次のとおりです。

- (1) 画面を表示したときに、通信状態表示欄に「出発地を右クリックして下さい。」と表示します。
地図上でルート検索の出発地を右クリックします。
右クリックされた地点にアイコンを表示します。
出発地に右クリックした地点の住所を表示します。
通信状態表示欄に「目的地1を右クリックして下さい。」と表示します。
クリアボタンをクリックすると出発地をクリアし、通信状態表示欄に「出発地を右クリックして下さい。」と表示します。
- (2) 地図上でルート検索の目的地1～4までを右クリックします。
クリックされた地点にアイコンを表示します。
目的地に右クリックした地点の住所を表示します。
通信状態表示欄に「目的地Xを右クリックして下さい。」と表示します。
クリアボタンをクリックすると出発地、目的地をクリアし、通信状態表示欄に「出発地を右クリックして下さい」と表示します。
- (3) **検索**ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。
ルートを検索するときは、**OK**ボタンをクリックして下さい。
距離に出発地から目的地までの距離（m）を表示します。
時間に出発地から目的地までにかかる時間（分）を表示します。
目的地までの時間（分）は、天候や交通状況によって変わります。
- (4) 検索を中止するときは、**キャンセル**ボタンをクリックして下さい。ルート検索に戻ります。



- (5) **閉じる**ボタン
閉じるボタンをクリックすると【ルート検索】画面を閉じます。
- (6) エラーメッセージ表示
次の場合は、エラーメッセージを表示します。

- ① 出発地が入力されていない場合。

OKボタンをクリックし、出発地を入力してから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。



- ② 目的地が入力されていない場合。

OKボタンをクリックし、目的地を入力してから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。



- ③ 検索が中止された場合。

OKボタンをクリックし、検索条件を入力してから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。



- ④ 検索が失敗した場合。

OKボタンをクリックし、検索条件を入力してから、再度、検索ボタンをクリックして下さい。



2.13 緊急

端末から緊急信号を受信すると、緊急表示部に「緊急 XXX」と赤反転色で表示されます。また保守【メッセージ】の指定により、音声ガイド又はブザー鳴動を行います。赤反転表示をクリックすると緊急一覧が表示されます。



2.13.1 緊急一覧

端末からの緊急信号を受信した際に一覧に表示します。

緊急の場合、解除を行うか、端末から解除の通知を受信するまで文字が赤色で表示されます。緊急ボタン、F12キーの押下、または画面上の緊急表示をクリックすると、以下の画面を表示します。



No	項目	詳細
1	時刻	緊急信号を受信した時間を表示します。
2	番号、名称	緊急信号を受信した個別番号、局名称を表示します。

(1) 緊急解除操作方法手順

端末側で緊急を解除する場合

- ① 端末側の緊急スイッチを OFF にします。
 - ② 緊急表示部の赤色反転表示が消えます。
 - ③ 一覧の時刻、端末表示色が青色（選択時は青色反転）に変わります。
- ※青色表示は手動で緊急解除をしない限り変化しません。

手動で緊急解除を行う場合

- ① 緊急解除を行いたい番号を一覧から選択します。
- ② **解除**ボタンをクリックします。
- ③ 緊急表示部が表示されている場合、緊急表示部の赤色反転表示が消えます。
- ③ 一覧の時刻、端末表示色が黒色に変わります。
- ④ **閉じる**ボタンをクリックすると【緊急】画面を閉じます。

2.13.2 緊急モニタサービス

緊急モニタサービスでは、緊急一覧表示画面で緊急モニタを行いたい番号を選択しモニタボタンをクリックすると、端末のマイクが自動的にプレス状態になり、マイクが拾う音声がかかります。端末のマイクがプレス状態でも送信ランプはつきません。また、緊急モニタ中は5秒毎に追跡機能が自動的に動作します。

(1) 緊急モニタ操作手順

緊急モニタ手順は、次のとおりです。

- ① モニタを行いたい番号を一覧から選択します。
- ② 局番号欄に番号が入ります。
- ③ **モニタ**ボタンをクリックします。該当番号の端末に対してモニタが行なえます。
- ④ 緊急モニタ中は5秒毎に追跡機能が自動的に動作します。
- ⑤ **モニタ解除**ボタンをクリックするとモニタが終了します。



- ※ 緊急中でない端末のモニタを行うには局番号を直接指定することにより可能です。
- ※ 追跡中にモニタをおこなうと追跡は解除されます。

(2) 緊急モニタ解除操作手順

緊急モニタ解除手順は次のとおりです。
手動で緊急解除を行う場合に使用します。

- ① 緊急解除を行いたい番号を一覧から選択します。
- ② **解除**ボタンをクリックします。該当番号の端末の緊急表示解除が行なえます。

(3) 通話中に緊急通報を受信した場合の緊急モニタ方法について

通話中に緊急通報を受信した場合、通話を終了するまで緊急モニタを行うことができません。

モニタ解除ボタンをクリックして通話を終了してから、緊急モニタする個別番号を選択して、**モニタ**ボタンをクリックして下さい。

(4) 緊急解除操作方法

端末側で緊急を解除する場合

- ① 端末側の緊急スイッチを OFF にします。
 - ② 緊急表示部の赤色反転表示が消えます。
 - ③ 一覧の時刻、端末表示色が青色（選択時は青色反転）に変わります。
- ※青色表示は手動で緊急解除をしない限り変化しません。

手動で緊急解除を行う場合

- ① 緊急解除を行いたい番号を一覧から選択します。
- ② **解除**ボタンをクリックします。
- ② 緊急表示部が表示されている場合、緊急表示部の赤色反転表示が消えます。
- ③ 一覧の時刻、端末表示色が黒色に変わります。

(5) **閉じる**ボタン

ファンクションボタン2の**閉じる**ボタンをクリックすると【緊急】画面を閉じます。

2.14 状態解除

端末に状態解除を送信します。



状態解除ボタンをクリックすると状態解除が送信され経過が表示されます。



送信対象は保守設定のメール発呼グループに従います。

送信回数・間隔・解除番号は保守設定で指定します。

2.15 パトライト

パトライト（ネットワーク監視表示灯）は、オプションが有りの場合、端末から緊急信号を受信すると、緊急表示と同時に、パトライトで警告として、ブザー鳴動、表示点灯を行います。

(1) パトライトはブザー鳴動、表示点滅／点灯の設定がある場合、次の警告となります。

- ① ブザー鳴動、表示点滅／点灯の開始
端末の緊急ON発生時、保守【パトライト】で設定された警告がされます。
- ② ブザー鳴動、表示点滅／点灯の終了
パトライト本体のボタン押下により、パトライトの警告は終了します。
ブザー停止、表示灯が消灯します。

(2) パトライトの警告解除方法

パトライト本体のボタン押下により、パトライトの警告は終了します。

緊急状態が解除されたり、緊急解除操作を行ってもパトライト警告は停止しません。

3 保守機能

保守画面を開くには、運用画面の「保守」ボタンをクリックします。
運用システムの保守設定・確認を行います。

3.1 保守メニュー

運用画面から「保守」ボタンをクリックすると、以下の画面を表示します。



項目	詳細
システム保守情報ボタン	運用システムのメンテナンス情報の確認を行います。
ヘルプボタン	ヘルプ、問い合わせ先の確認を行います。
バージョン確認ボタン	iGPS7plus のバージョン情報を表示します。
メンテナンス情報ボタン	運用システムのメンテナンス情報の確認を行います。
終了ボタン	初期画面を閉じ、運用画面に戻ります。

(2) システム保守について

システム保守は、サーバーの所属端末から各保守画面から詳細の設定を行います。

ネットワーク構成では、システム保守はサーバーのPCから各保守画面から詳細の設定を行い、クライアントのPCからは、保守画面の「個別番号」と「顧客」のみ詳細の設定を行います。

システム保守には、以下の画面があります。

No	保守画面	詳細
1	局番号帳	相手局名称、相手局番号等の登録・変更・削除を行います。
2	顧客	登録されている顧客情報の参照・変更・削除が行なえます。
3	端末マーク	以下の内容の設定を行います。 地図上に表示する端末の表示色 走行と停止のしきい値の設定 端末状態の名称、表示色の設定 データ収集の端末表示の設定
4	乗務員	乗務員の登録を行います。
5	システム定数 1	以下の内容の設定を行います。 定型文の登録・変更・削除 受信メッセージの登録・変更・削除、 状態変化・通話ID・緊急を受信した際のブザー音の有無
6	システム定数 2	システム動作の主に表示設定を行います。
7	システム定数 3	システム動作のもろもろの設定を行います。
5	地図	メイン画面で表示するデフォルト地図の座標と縮尺、2分割画面の右側、4分割画面の右上側、左下側、右下側に表示される地図のデフォルト地域の設定を行います。
6	パトライト	パトライトと連携するための設定を行います。

(3) メンテナンス情報について

メンテナンス情報には、以下の画面があります。

No	メンテナンス画面	詳細
1	障害情報	指定した期間の障害情報を保存します。

3.2 システム保守情報

運用に必要な機能を選択して、システムの保守情報を設定します。

3.2.1 ログイン

- (1) **システム保守情報** ボタンをクリックすると、【ログイン】画面を表示します。

ログイン

パスワードを入力してください。 ●●●●● ①

OK ② キャンセル ③

パスワードを変更する場合は新しいパスワードを半角英数字8文字以内で入力してください。大文字と小文字は区別します。

新しいパスワード ④

新しいパスワード 確認 ⑤

OK ⑥

No	項目	詳細
1	パスワード入力	システム保守画面にログインするパスワードを入力します。
2	OKボタン (ログイン)	システム保守画面にログインします。
3	キャンセルボタン	保守画面に戻ります。
4	新しいパスワード	新しく設定するパスワードを入力します。
5	新しいパスワード 確認	新しいパスワードで入力した同じ文字列を入力します。
6	OKボタン (パスワード変更)	パスワードを新しいパスワードに変更します。

※ インストールしたときは「igps7」（半角）となっています。

※ このパスワードは変更可能となっています。

(2) ログイン方法

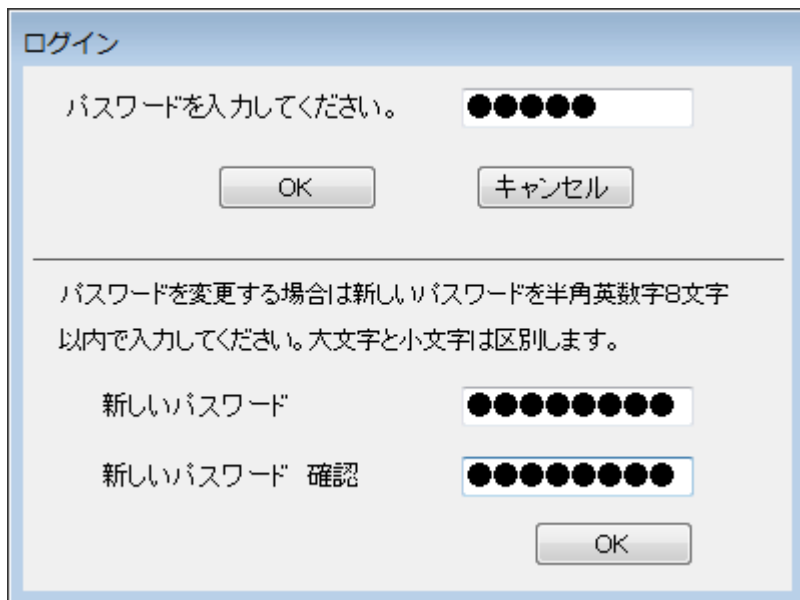
- ① パスワード入力にパスワードを入力します。
- ② パスワードの初期値は「igps7」となります。
- ③ **OK**ボタンをクリックします。システム保守画面を表示します。
キャンセルボタンをクリックすると、<3.1 保守メニュー>に戻ります。
パスワード入力に入力したパスワードが間違っているとき、以下のエラーメッセージを表示します。



OKボタンをクリックして下さい。パスワード入力がクリアされます。
再度、正しいパスワードを入力して下さい。

(3) パスワード変更方法

- ① パスワード入力にパスワードを入力します。
- ② 新しいパスワードに、新しく設定するパスワードを半角英数字8文字以内で入力します。
- ② 新しいパスワード 確認に、新しいパスワードで入力した同じ文字列を入力します。
新しいパスワード 確認の入力欄の下にあるOKボタンが表示されます。



- ④ OKボタンをクリックして下さい。
パスワードが変更できたときは、以下の変更完了メッセージを表示します。
OKボタンをクリックすると、【ログイン】画面に戻ります。
【ログイン】画面で、変更したパスワードを入力し、ログインすることができます。



3.2.2 システム保守情報の登録・終了

システム保守情報では、各保守情報の設定終了後、画面右下の登録ボタン、または終了ボタンをクリックして下さい。

登録するときは、OKボタンをクリックして下さい。設定した情報をシステムに反映します。

下記の保守情報の設定画面は、参考のため、個別番号登録画面です。

個別番号からパトライト画面までの登録・終了は共通です。

No	相手局名称	ヨミ	モード	相手局番号	住所	距離	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	営業 1	I41	グループ	101												
2	新横浜駅	I42	隣接	0	東京都千代田有楽町 1丁目	5										
3	新羽駅	ニッハ*	隣接	0	静岡県静岡市清水区天神 1丁目	5										
4	営業 4	I44	グループ	4												
5	営業 5	I45	個別	5			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	営業 6	I46	グループ	6												
7	英 7	I47	個別	7			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	営業 8	I48	グループ	8												
9	営業 9	I49	グループ	9												
10	指導車 10	I410	個別	10			●	●	●	●						
11	車 2	ス411	個別	2				●	●	●	●					
12	車 1 2	ス412	個別	12			●					●	●	●	●	●
13	車 1 3	セ413	個別	13			●					●	●	●	●	●

No	項目	詳細
1	登録ボタン	設定した情報をシステムに反映します。
2	終了ボタン	システム保守画面を終了します。

(1) 登録手順

- ① 表示している保守画面の情報を登録してもよいかを確認します。
- ② **登録**ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージを表示します。
登録するときは、**OK**ボタンをクリックして下さい。設定した情報をシステムに反映します。
登録を中止するときは、**キャンセル**ボタンをクリックして下さい。保守画面に戻ります。



- ③ 登録が完了すると、以下の確認メッセージを表示します。
OKボタンをクリックして下さい。



(2) 終了手順

- ① システム保守画面を終了してもよいかを確認します。
- ② **終了**ボタンをクリックすると、以下の確認メッセージを表示します。
終了するときは、**OK**ボタンをクリックして下さい。<3.1 保守メニュー>に戻ります。
登録せずに終了した場合は、設定した情報はシステムに反映されません。
終了しないときは、**キャンセル**ボタンをクリックして下さい。保守画面に戻ります。



3.2.3 地図画面での座標登録

システム保守情報の保守【地図】では、座標の登録を行います。
以下に地図画面からの座標登録の方法を説明します。



No	項目	詳細
1	座標の指定方法	基準座標位置を指定する方法を表示します。
2	矢印	基準座標位置を表す矢印を表示します。
3	確定ボタン	基準座標位置を各保守画面の北緯・東経に世界測地系で表示します。

- (1) 各保守画面の地図ボタンをクリックして下さい。地図画面を表示します。
地図画面を表示すると、座標の指定方法を表示します。
- (2) 地図上を右クリックすると、その地点に矢印を表示します。
- (3) 確定ボタンをクリックします。各保守画面に戻ります。
各保守画面の北緯・東経欄に、矢印の地点の北緯・東経を世界測地系で表示します。
- (4) ファンクションボタン2の戻るボタンをクリックすると各保守画面に戻ります。

3.2.4 局番号帳

局番号帳の登録・編集を行います。ここで登録された局番号帳のデータは、各運用画面の表示内容等に反映されます。

局番号帳には個別番号をすべて登録してください。登録がされていない個別番号はシステムで表示されません。

局番号帳は、モードが個別とグループ合わせて 1000 件登録できます。

保守【局番号帳】をクリックすると、以下の画面を表示します。

システム保守情報

局番号帳 顧客 端末マーク 乗務員 システム定数1 システム定数2 システム定数3 地図 パトライト

① カナ検索 表示 ② No検索 表示 ⑬ 削除

No	相手局名称	ヨミ	モード	相手局番号	住所	距離	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	営業 1	I11	グループ	101												
2	新横浜駅	I12	隣接	0	東京都千代田有楽町 1 丁目	5										
3	新羽駅	ニッハ	隣接	0	静岡県静岡市清水区天神 1 丁目	5										
4	営業 4	I14	グループ	4												
5	営業 5	I15	個別	5			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	営業 6	I16	グループ	6												
7	英 7	I17	個別	7			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	営業 8	I18	グループ	8												
9	営業 9	I19	グループ	9												
10	指導車 1 0	I110	個別	10			●	●	●	●	●					
11	車 2	ス11	個別	2			●	●	●	●	●					
12	車 1 2	ス12	個別	12			●						●	●	●	●
13	車 1 3	ス13	個別	13			●						●	●	●	●

④ 局番号帳 No. ⑩ 中心座標 北緯 度 分 秒 東経 度 分 秒 ⑪ 距離 (100m) ⑫ 更新 ⑭ 無線機局番号帳同期

⑤ 相手局名称 ⑥ ヨミ ⑦ モード ⑧ 相手局番号 ⑨ グループ 田中班 F 鈴木班 G 佐藤班 H 吉田班 I E 班 J

No	項目	範囲	詳細
1	カナ検索		検索条件をカナで入力し、 表示 ボタンをクリックすると一覧に表示します。
2	No検索		検索条件を No で入力し、 表示 ボタンをクリックすると一覧に表示します。
一覧			登録されている局番号、または検索結果が表示されます。
3	No 相手局名称 ヨミ モード 相手局番号 住所 距離 所属グループ(A~J)	1~1000	通番。 相手局名称が表示されます。 相手局名称のヨミが表示されます。 モードが表示されます。 相手局番号が表示されます。 隣接接続用座標の住所が表示されます。 隣接接続用距離が表示されます。 所属するグループは●で表示されます。

No	項目	範囲	詳細
4	局番号帳 No.	1~1000	新規追加の場合は、未登録の最小 No が表示されます。 または、未登録の番号を入力して下さい。 一覧よりダブルクリックで選択された場合は、選択された行の No が表示されます。
5	相手局名称	全角 5 文字	新規追加の場合は、相手局名称を入力します。 一覧よりダブルクリックで選択された場合は、選択された行の相手局名称が表示されます。
6	ヨミ	半角 4 文字	新規追加の場合は、相手局名称のヨミを入力します。 一覧よりダブルクリックで選択された場合は、選択された行のヨミが表示されます。
7	モード	個別、グループ、隣接、個別優先	新規追加の場合は、いずれかのモードを選択して下さい。 一覧よりダブルクリックで選択された場合は、選択された行のモードが表示されます。
8	相手局番号	モード： 個別：4桁 個別優先：4桁 1~9999 グループ： 3桁 1~999	新規追加の場合は、選択したモードにあわせて相手局番号を入力して下さい。 モードが、個別の場合、1 指令局あたり 100 台まで登録ができます。また、モードがグループの場合は、200 グループまで登録ができます。 一覧よりダブルクリックで選択された場合は、選択された行の相手局番号が表示されます。
9	グループ		所属するグループにチェックをつけます。 <input type="checkbox"/> すべて選択 ボタンをクリックするとすべてのグループにチェックが付きます。
10	中心座標 北緯・東経・住所 <input type="checkbox"/> 地図 ボタン		隣接接続時に使用する中心座標を世界測地系で入力してください。 <input type="checkbox"/> 地図 ボタンをクリックすると、地図画面を表示し、マウスで座標を指定できます。
11	距離	1~255	隣接接続時に使用する距離を入力してください。
12	<input type="checkbox"/> 更新 ボタン		入力した局番号帳の情報を一覧に表示します。
13	<input type="checkbox"/> 削除 ボタン		一覧から選択した局番号帳の情報を削除します。
14	<input type="checkbox"/> 無線機局番号帳同期 ボタン		無線機に登録された局番号帳をシステムに取り込みます。

(1) 局番号帳新規登録手順

- ① 局番号帳 No には最小未登録 No が表示されます。
最小未登録 No 以外の局番号帳 No を使用したい場合は、局番号帳 No を入力します。
- ② 相手局名称、ヨミを入力します。
- ③ モードを選択します。
- ④ モードが個別または優先の場合は、相手局番号を入力します。
モードがグループの場合は、グループ番号を入力します。
- ⑤ モードが隣接の場合は中心座標を世界測地系で入力します。
地図画面から指定する場合は「3.2.3 地図画面からの座標登録」を参照して下さい。
- ⑥ モードが隣接の場合は距離を入力します。
- ⑦ 更新 ボタンをクリックして下さい。No 順に一覧に表示されます。
- ⑧ 画面右下の登録 ボタンをクリックし、登録を行います。
複数入力してから登録 ボタンをクリックすることで、まとめて登録を行なえます。

(2) 局番号帳変更手順

- ① 局番号帳一覧から変更する局番号情報をダブルクリックで選択します。
選択された局番号情報が各入力欄、選択欄に表示されます。
- ② 表示された内容を変更し、**更新**ボタンをクリックします。以下の確認メッセージを表示します。
上書きする場合は、**OK**ボタンをクリックして下さい。
上書きをしない場合は、**キャンセル**ボタンをクリックして下さい。



(3) 局番号帳削除手順

- ① 局番号帳一覧から削除する行をダブルクリックします。
- ② **削除**ボタンをクリックします。以下の確認メッセージを表示します。
削除する場合は、表示されているNoを確認し、**OK**ボタンをクリックして下さい。
削除しない場合は、**キャンセル**ボタンをクリックして下さい。



- ③ 画面右下の**登録**ボタンをクリックして下さい。

(4) 無線機局番号帳同期

- ① **無線機局番号帳同期**ボタンをクリックすると確認画面が表示されます。



- ② **はい**をクリックすると局番号帳データがすべて上書きされます。
※上書きされたデータは所属グループがすべて選択された状態になります。
※モードが隣接の場合、住所は登録されません。隣接の行をダブルクリックした後、**地図**ボタンで再度位置を確定することで住所が登録されます。

(4) カナ検索手順

- ① カナ検索入力欄に検索条件を入力します。
- ② カナ検索入力欄の右側にある「表示」ボタンをクリックします。一覧に検索結果が表示されます。英字はA～Z、数字は0～9、文字はア～ワ行を示すタグ画面を一覧の下に表示します。ヨミの頭文字から、入力された検索条件にあうデータを抽出し、赤文字で表示します。

システム保守情報

局番号帳 顧客 端末マーク 乗務員 システム定数1 システム定数2 システム定数3 地図 パトライト

カナ検索 表示 No検索 表示 削除

No	相手局名称	ヨミ	モード	相手局番号	住所	距離	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	営業 1	I41	グループ	101												
2	新横浜駅	I42	隣接	0	東京都千代田有楽町 1 丁目	5										
3	新羽駅	ニッハ	隣接	0	静岡県静岡市清水区天神 1 丁目	5										
4	営業 4	I44	グループ	4												
5	営業 5	I45	個別	5			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
6	営業 6	I46	グループ	6												
7	英 7	I47	個別	7			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
8	営業 8	I48	グループ	8												
9	営業 9	I49	グループ	9												
10	指導車 10	I410	個別	10			●	●	●	●						
11	車 2	ス11	個別	2			●	●	●	●						
12	車 12	ス12	個別	12							●	●	●	●	●	●
13	車 13	ス13	個別	13			●				●	●	●	●	●	●

局番号帳 No. 中心座標

相手局名称 ヨミ 北緯 度 分 秒

モード 相手局番号 東経 度 分 秒

グループ 田中班 F 鈴木班 G 佐藤班 H 吉田班 I E 班 J

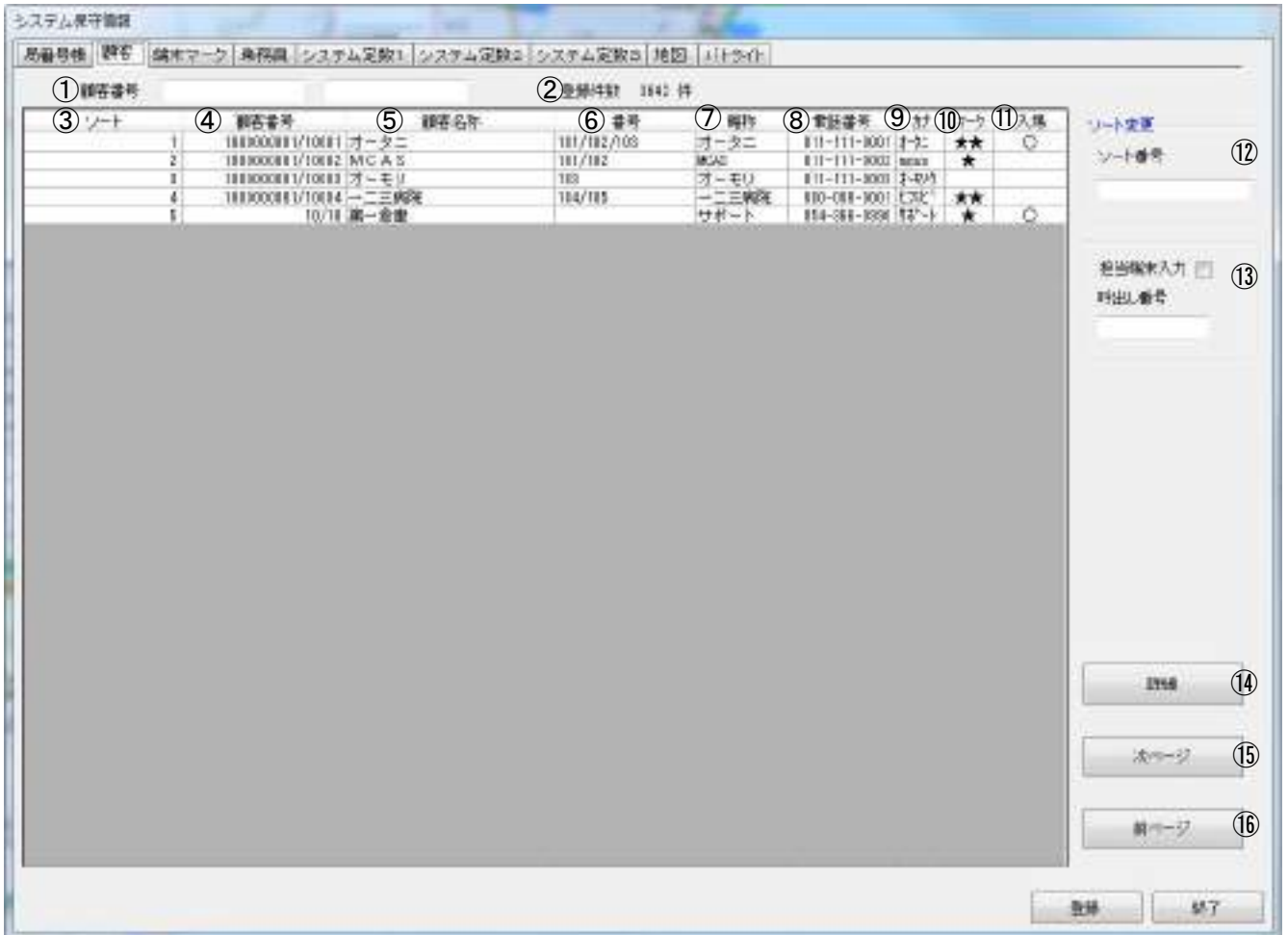
- ア 表示は、登録されたヨミをもとに英字はA～Z、数字は0～9、文字はア～ワ行をあいうえお順で表示します。
- イ カナ検索入力欄に検索条件を入力し、「表示」ボタンをクリックすると、対象となるタグ画面を表示し、赤文字で検索結果であることを示します。
- ウ 表示されているタグとは異なるタグをクリックした場合、クリックされたタグに当てはまる局番号帳の情報を表示します。
- エ 上記の画面で局番号帳の登録を行うと、登録されたヨミをもとにいずれかのタグの一覧に表示されます。
- オ カナ検索入力欄に何も入力しないで「表示」ボタンをクリックすると、局番号帳を表示したときの一覧の先頭から表示します。

(5) No検索手順

- ① No 検索入力欄に検索条件を入力します。
- ② No 検索入力欄の右側にある「表示」ボタンをクリックします。一覧に検索結果が表示されます。入力された No からそれ以降の情報を一覧に表示します。
- ③ No 検索入力欄に何も入力しないで「表示」ボタンをクリックすると、一覧の先頭から表示します。

3.2.5 顧客

登録されている顧客情報の参照・変更・削除が行なえます。
 顧客情報は60000件登録できます。
 担当端末1台につき、顧客は100件まで登録できます。
 保守【顧客】をクリックすると、以下の画面を表示します。



No	項目	範囲	詳細
1	顧客番号		入力した顧客番号以降の情報を表示します。
2	登録数		登録されている顧客情報の件数を表示します。
一覧表示		登録されている顧客情報の内容を表示します。	
3	ソート		ソート番号を表示します。
4	顧客番号		顧客番号を表示します。
5	顧客名称		顧客名称を表示します。
6	番号		担当端末3台の番号を表示します。
7	略称		顧客の略称を表示します。
8	電話番号		電話番号を表示します。
9	カナ		カナ名称を表示します。
10	マーク		マークなしの場合は、空白です。 マークありの場合は、“★”を表示します。 ランドマークの場合は、“★★”を表示します。
11	入場		入場チェックを行う場合○を表示します。

No	項目	範囲	詳細
12	ソート変更		ソート番号を変更する顧客を選択し入力します。
13	担当端末入力		登録されている顧客に対し、新たに担当端末を追加します。また登録済みの担当端末を削除します。
14	詳細ボタン		一覧より顧客を選択し、クリックすると顧客登録画面へ遷移します。
15	次ページボタン		1ページ40件とし次のページに進みます。登録されている件数が10件に満たないとき、または、最後のページの場合は非表示になります。
16	前ページボタン		1ページ40件とし前のページに戻ります。最初のページの場合は非表示になります。

(1) 一覧表示

- ① 顧客番号を入力し、**Enter**キーを押下すると、入力された顧客番号以降の顧客情報を一覧表示します。
- ② 顧客情報は60000件登録できます。
- ③ 各項目右側の境界をドラッグすることで、幅を調節できます。
- ④ 各項目のタイトルをクリックすると、クリックされた項目をキーにソートします。

(2) 担当端末の追加／削除

担当端末1台につき、顧客は100件まで登録できます。

① 追加手順

- ア 担当端末入力の右横にあるチェックボックスにチェックを付け、呼出し番号欄に担当端末としたい個別番号を入力します。
- イ 入力した担当端末を登録したい顧客を選択します。
一覧表示の番号に追加した担当端末が表示されます。

② 削除手順

- ア 担当端末入力の右横にあるチェックボックスにチェックを付け、呼出し番号欄に担当端末から削除したい個別番号を入力します。
- イ 入力した担当端末を削除したい顧客を選択します。
一覧表示の番号から削除した担当端末の表示が消えます。

(3) エラーメッセージの表示

- ① 登録しようとした担当端末が、既に100件の顧客を登録している場合、以下のエラーメッセージを表示します。
OKボタンをクリックし、担当端末の個別番号を変更する、または、登録したい担当端末に属している顧客の担当端末を変更してから、再度登録しなおして下さい。



- ② 保守【個別番号】に登録されていない個別番号を入力した場合、以下のエラーメッセージを表示します。OKボタンをクリックし、保守【個別番号】に登録されている個別番号に変更し、再度登録しなおして下さい。



(4) ソート番号変更手順

- ① ソート番号を変更する顧客を一覧から選択します。
- ② 変更するソート番号を入力します。
- ③ Enterキーまたは画面下の登録ボタンをクリックすると、ソート番号が変更になります。
- ④ 顧客を選択したままソート番号を入力せずに、Enterキーを押下すると、以下のエラーメッセージを表示します。OKボタンをクリックし、ソート番号を入力してから、Enterキーまたは登録ボタンをクリックして下さい。



(5) 詳細ボタン 顧客登録画面の表示

- ① 顧客を選択し、詳細ボタンをクリックすると、選択された顧客を中心に表示した地図と顧客登録画面が表示されます。顧客登録画面より、顧客情報の変更・削除が行なえます。顧客情報の変更・削除手順は、「2.10.2 顧客情報の変更・削除」を参照して下さい。
- ② マークを表示なしで登録している顧客の場合は、地図上には★が表示され、登録されている座標がわかるようになっています。

3.2.6 端末マーク

地図上に表示される端末の表示色、状態設定がされている端末の状態色の設定を行います。
保守【端末マーク】をクリックすると、以下の画面を表示します。

No	項目	範囲	詳細
	端末マーク表示色		端末の表示色を選択します。
1	走行中／停止中	16色	指令局毎の初期値となる表示色を選択します。
2	端末走行	0～99 (km/h)	走行と停止のしきい値を指定します。
3	15 秒定期状態表示		2分割画面、4分割画面表示時、指定された箇所の地図には15秒定期状態を取得した端末のみ表示します。
	端末状態		マイク状態を設定します。
4	番号	1～20	マイク状態番号を入力します。
5	状態名称	全角5文字 半角10文字	運用画面の【状態表示】画面に表示するマイク状態名称を入力します。
6	表示色	16色	マイク状態設定している端末を地図上に表示する時の表示色を選択します。
7	状態一覧		登録されているマイク状態の情報を表示します。

No	項目	範囲	詳細
8	<input type="button" value="更新"/> ボタン		入力したマイク状態の情報を一覧に表示します。
9	<input type="button" value="複写"/> ボタン		一覧から選択したマイク状態の情報を各入力欄に表示します。
10	<input type="button" value="削除"/> ボタン		一覧から選択したマイク状態の情報を削除します。
外部状態		外部状態を設定します。	
11	状態名称	全角 5 文字 半角 10 文字	運用画面の【状態表示】画面に表示する外部線状態名称を入力します。
12	表示色	16 色	外部線状態設定している端末を地図上に表示する時の表示色を選択します。
13	ON 時表示文字	全角 1 文字	外部線が ON のとき表示する文字を指定します。
14	OFF 時表示文字	全角 1 文字	外部線が OFF のとき表示する文字を指定します。
15	一覧		登録されている端末外部線状態の情報を表示します。
16	<input type="button" value="更新"/> ボタン		入力した端末外部線状態の情報を一覧に表示します。
17	<input type="button" value="複写"/> ボタン		一覧から選択した端末外部線状態の情報を各入力欄に表示します。
18	<input type="button" value="削除"/> ボタン		一覧から選択した端末外部線状態の情報を削除します。
19	電源 OFF 状態	選択	電源 OFF 時の表示色を選択します。
アイコン表示色		端末アイコンの表示色を設定します。	
20	表示色優先順位		1～6 に設定された優先順に色が指定されます。
状態監視		指定の状態になってから一定時間経過するとポップアップで警告表示をする設定をします。	
21	状態監視	する・しない	状態監視を行う、行わないを指定します。
22	監視状態		登録された状態の中から監視を行う状態を選択します。
23	監視時間	1～1440 分	状態変化からポップアップ表示を行うまでの時間を指定します。
外部端末通知		外部機器からの各種通知を受信した際、ポップアップで警告表示をする設定をします。	
24	ポップアップ表示	する・しない	ポップアップ表示を行う、お子縄内を指定します。

(1) 端末状態登録手順

端末で登録されている内容と同じ内容を設定して下さい。

- ① 番号、状態名称を入力し、表示色を選択します。
マイク状態番号は 1 から 20 まで入力できます。
マイク状態番号は端末に登録されている番号と一致させます。
状態名称は、番号と同様に端末に登録されている内容を一致させます。
- ② ボタンをクリックすると、一覧に表示されます。
但し、入力ミス、未入力の箇所があると、その旨のエラーメッセージが表示されますので、その箇所を訂正し、再度、ボタンをクリックして下さい。

- ③ 画面右下の「登録」ボタンをクリックすることで、端末状態が登録されます。
この画面の全情報を設定後、「登録」ボタンをクリックすることで、まとめて登録を行なえます。
- ④ 運用画面の【状態表示】画面、【受信履歴】画面、【端末一覧】画面、画面右側の受信欄、受信一覧に反映されます。
尚、運用画面の【状態表示】画面では、登録されている20件の状態名称が表示されます。
※受信欄の個別番号の表示と受信一覧の状態名称は、表示色で設定した色で表示するため、「白」を設定しているときは、表示が見えません。

(2) 端末状態変更手順

- ① 一覧から端末状態を選択し、「複写」ボタンをクリックします。
選択した端末状態の情報が各入力欄に表示されます。
- ② 変更したい項目を変更し、「更新」ボタンをクリックします。変更した内容を一覧に表示します。
- ③ 画面右下の「登録」ボタンをクリックして下さい。
- ④ 登録・変更を行った際に、入力された番号が既に登録されている場合、「更新」ボタンクリック後、以下の確認メッセージを表示します。
上書きする場合は、「OK」ボタンをクリックして下さい。
上書きしない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。



(3) 端末状態削除手順

- ① 一覧から削除する端末状態を選択します。
- ② 「削除」ボタンをクリックします。以下の確認メッセージを表示します。
削除する場合は、表示されている番号を確認し、「OK」ボタンをクリックして下さい。
削除しない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして下さい。



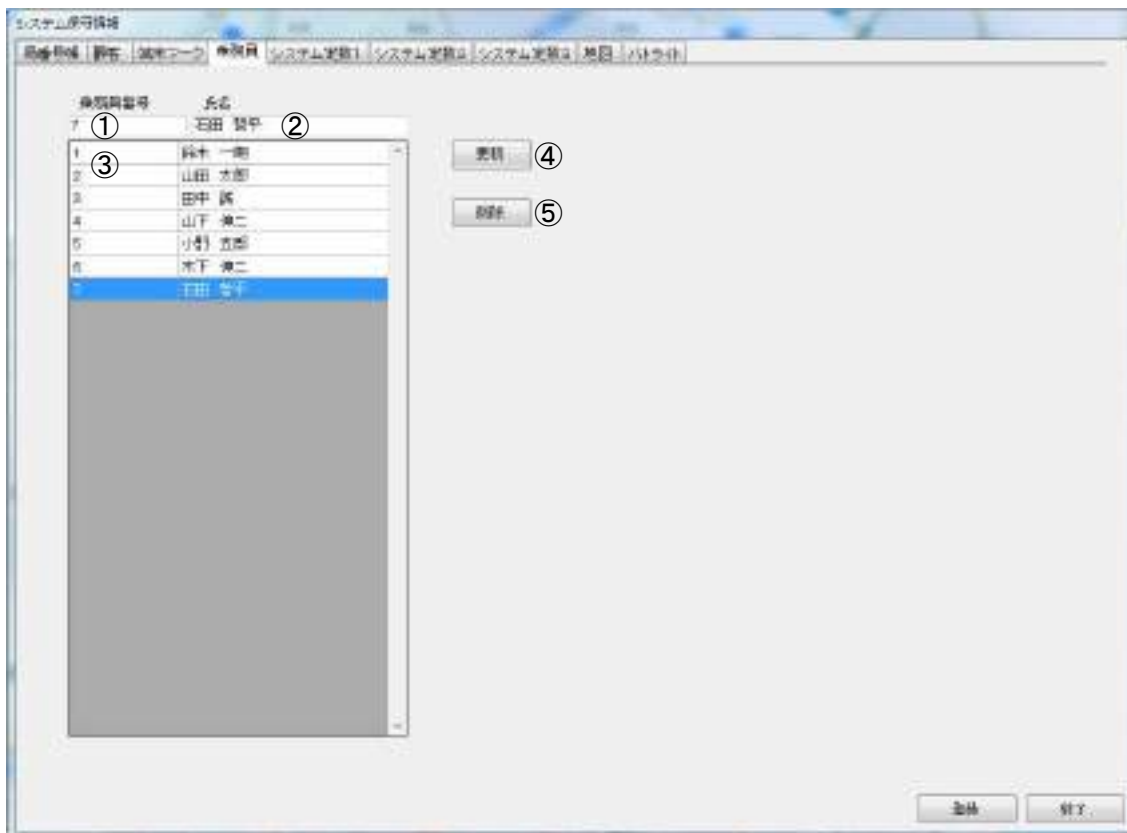
- ③ 画面右下の「登録」ボタンをクリックして下さい。

(4) 外部状態の登録・変更・削除について

- ① 外部状態を登録するときは、前述の端末状態登録手順 ③の前に外部状態を登録する行を選択して下さい。上から外部状態1, 2, 3となっています。
その後は同じ手順を進めて下さい。
- ② 外部状態の変更・削除は、前述の端末状態変更手順、端末状態削除手順と同じです。

3.2.7 乗務員

外部端末による乗務員番号運用を行う場合、乗員名を登録します。
 保守【乗務員】をクリックすると、以下の画面を表示します。

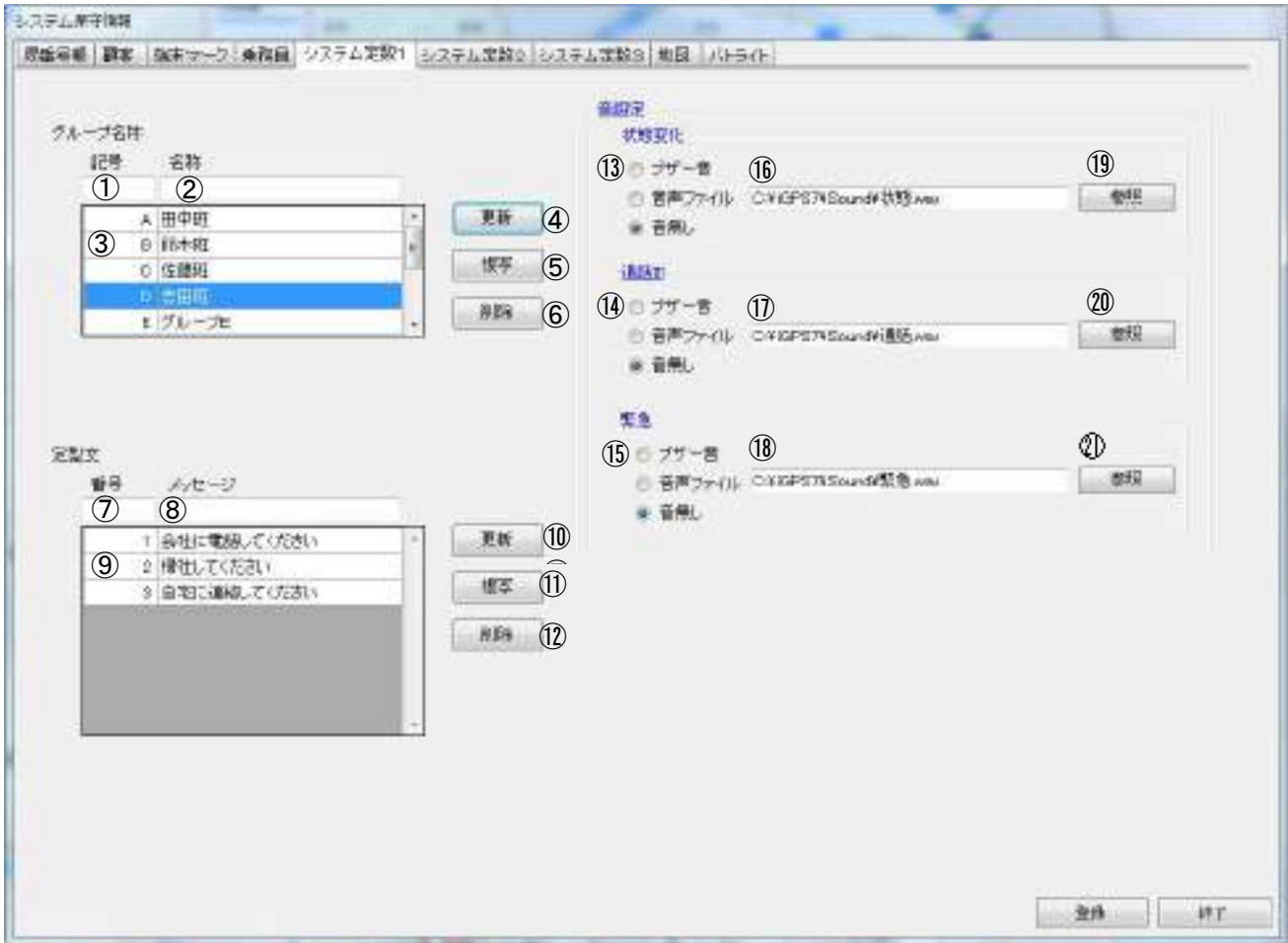


No	項目	範囲	詳細
乗務員			
1	番号	1~99999999	番号を入力します。
2	氏名	全角 12 文字	定型文を入力します。
3	一覧表示		登録されている定型文を表示します。
4	更新ボタン		入力したメッセージを一覧に表示します。
5	複写ボタン		一覧から選択したメッセージを各入力欄に表示します。
6	削除ボタン		一覧から選択したメッセージを削除します。

3.2.8 システム定数 1

グループ名称設定、定型文、状態変化、通話 ID、緊急を受信した際のブザーの有無、緊急表示の有無の設定を行います。

保守【システム定数 1】をクリックすると、以下の画面を表示します。



No	項目	範囲	詳細
グループ名称			
1	番号	1~30	番号を入力します。
2	メッセージ	全角 12 文字	定型文を入力します。
3	一覧表示		登録されている定型文を表示します。
4	更新ボタン		入力したメッセージを一覧に表示します。
5	複写ボタン		一覧から選択したメッセージを各入力欄に表示します。
6	削除ボタン		一覧から選択したメッセージを削除します。
メール定型文			
7	番号	0~9999	端末から受信する番号を入力します。
8	メッセージ	全角 10 文字	受信した番号に対応するメッセージを入力します。
9	一覧表示		登録されている受信メッセージを表示します。
10	更新ボタン		入力したメッセージを一覧に表示します。
11	複写ボタン		一覧から選択したメッセージを各入力欄に表示します。
12	削除ボタン		一覧から選択したメッセージを削除します。

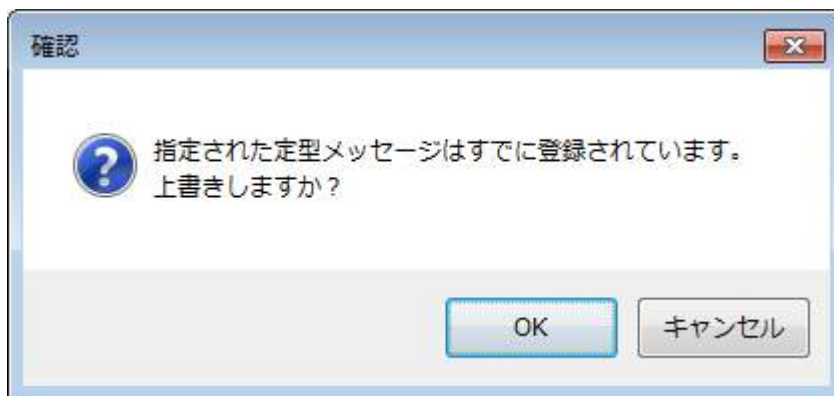
No	項目	範囲	詳細
音設定			
13	状態変化		状態変化通知を受信した際のブザー音の有無を指定します。
14	通話 I D		通話 ID を受信した際のブザー音の有無を指定します。
15	緊急		緊急通知を受信した際のブザー音の有無を指定します。
16	状態変化音源		状態変化通知を音源ファイルとした場合の音源ファイルを指定します。
17	通話 ID 音源		通話 ID を音源ファイルとした場合の音源ファイルを指定します。
18	緊急音源		緊急通知を音源ファイルとした場合の音源ファイルを指定します。
19	<u>参照</u> ボタン		音源ファイルを参照するダイアログを表示します。
20	<u>登録</u> ボタン		入力した内容を登録します。
21	<u>終了</u> ボタン		画面を終了します。

(1) メール定型文登録手順

- ① 番号、定型文を入力します。
- ② **更新**ボタンを押下すると、一覧に表示されます。
但し、入力ミス、未入力の箇所があると、その旨のエラーメッセージが表示されますので、その箇所を訂正し、再度、**更新**ボタンをクリックして下さい。
- ③ 画面右下の**登録**ボタンをクリックすることで、定型文が登録されます。
この画面の全情報を設定後、**登録**ボタンをクリックすることで、まとめて登録を行なえます。
- ④ 運用画面の【メール送信】画面にある定型文に反映されます。

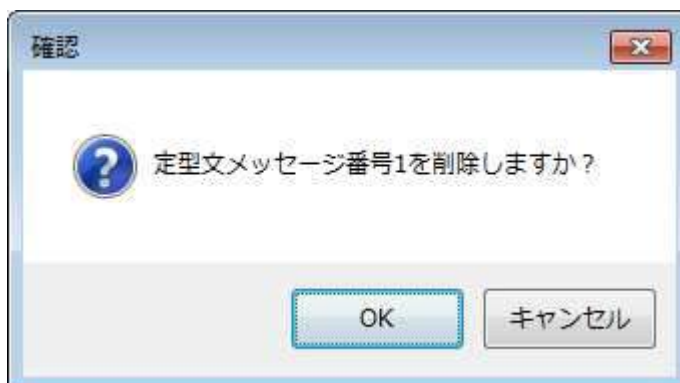
(2) 定型文変更手順

- ① 一覧から定型文を選択し、**複写**ボタンをクリックします。
選択した定型文が各入力欄に表示されます。
- ② 変更したい項目を変更し、**更新**ボタンをクリックします。変更した内容を一覧に表示します。
- ③ 画面右下の**登録**ボタンをクリックして下さい。
- ④ 登録・変更を行った際に、入力された番号が既に登録されている場合は、**更新**ボタンクリック後、以下の確認メッセージを表示します。
上書きする場合は、**OK**ボタンをクリックして下さい。
上書きしない場合は、**キャンセル**ボタンをクリックして下さい。



(3) メール定型文削除手順

- ① 一覧から削除する定型文を選択します。
- ② **削除**ボタンをクリックします。以下の確認メッセージを表示します。
削除する場合は、表示されている番号を確認し、**OK**ボタンをクリックして下さい。
削除しない場合は、**キャンセル**ボタンをクリックして下さい。



- ③ 画面右下の**登録**ボタンをクリックして下さい。

(7) 状態変化・通話 I D・緊急受信に鳴音させる音声ファイルの指定

① 状態変化通知、通話 I D、緊急を受信したときに音声ファイルを指定した場合は、実際のファイルを指定してください。

- ② 音声ファイルの指定方法は、音声ファイルのパス+ファイル名で指定します。
この設定がなければ、音声ファイルを選択していても、鳴音しません。

※音声ファイルのパス+ファイル名を記述した項目の先頭にある「;」は、削除して下さい。

※指定できる音声ファイルは、拡張子が「.wav」のファイルのみとなっています。

3.2.9 システム定数2

システムの表示動作にかかわる設定を行ないます。

システム保守管理

局番号検索 顧客 請求マーク 乗務員 システム定数1 システム定数2 システム定数3 地図 パリサイト

① 画面構成	サーバー <input checked="" type="radio"/> 1画面 <input type="radio"/> 2画面 クライアント1 <input checked="" type="radio"/> 1画面 <input type="radio"/> 2画面 クライアント2 <input checked="" type="radio"/> 1画面 <input type="radio"/> 2画面 クライアント3 <input checked="" type="radio"/> 1画面 <input type="radio"/> 2画面	⑤ セレコール表示	座席確認 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし セレコール <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし ノール <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 外部メール <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 伝言メモ <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 取消セレコール <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし
② 稼働状況表示	<input checked="" type="radio"/> 番号 <input type="radio"/> 局名時 <input type="radio"/> 乗務員名	⑥ 一覧表示順	発信一覧 <input checked="" type="radio"/> 最新上 <input type="radio"/> 最新下 状態履歴一覧 <input checked="" type="radio"/> 最新上 <input type="radio"/> 最新下 状態一覧 <input checked="" type="radio"/> 最新上 <input type="radio"/> 最新下
③ アイコン表示	端末名称 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 端末番号 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 乗務員名符 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 状態名称 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 状態時刻 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 発信時刻 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし GPS速度 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 運行距離 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 運行時間 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし	⑦ 状態設定	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
④ 通話者地図表示	座席音声時刻 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 音声通話時刻 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 通話完了時刻 <input checked="" type="radio"/> 表示あり <input type="radio"/> 表示なし 縮尺指定 <input type="text" value="1/20000"/>	⑧ グループ設定	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
		⑨ 外部情報設定	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
		⑩ 乗務員番号運用	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
		⑪ デジタライタコマンド使用	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
		⑫ アルコールチェッカー使用	<input checked="" type="radio"/> 使用する <input type="radio"/> 使用しない
		⑬ 車両計測器の償目名	<input type="radio"/> 力ナ <input checked="" type="radio"/> 車両番号

No	項目	範囲	詳細
1	画面構成	選択	1画面運用、2画面運用を選択します。 2画面運用はモニタが2台接続されていないと指定できません。
2	移動局表示	選択	運用画面に表示される個別局を番号で表示するか局名称で表示するか乗務員名で表示するかの選択をします。 ※名称を選択した場合、局番号帳の名称が入力されていないと番号が表示されます。
3	アイコン表示	選択	地図上に表示する端末アイコンのラベル選択ボタンを表示する、しないの選択をします。
4	通話者地図表示	選択	発呼・着呼・通話時に相手局座標を中心に表示する・しないの選択をします。 地図を表示するときの縮尺を指定します。
5	セレコール表示	選択	運用画面のセレコール欄に個別確認・セレコール・メール・外部メール・伝言メモ・取消セレコールのボタンを表示する・しないの選択をします。
6	一覧表示順	選択	受信一覧、状態履歴一覧、状態一覧の表示順を選択します。
7	状態設定	選択	状態を使用する、しないを選択します。 ※「しない」とした場合、地図上の状態選択が表示されません。
8	グループ設定	選択	グループを使用する、しないを選択します。 ※「しない」とした場合、地図上のグループ選択が表示されません。
9	外部情報設定	選択	外部情報線を使用する・しないを選択します。 ※「しない」とした場合端末詳細一覧に外部情報千項目が表示されません。
10	乗務員設定	選択	乗務員番号を使用する・しないを選択します。 乗務員番号対応の外部機器を接続しない使用できません。
11	ドライブレコーダー使用	選択	ドライブレコーダーを使用する・しないを選択します。
12	アルコールチェック使用	選択	アルコールチェックを使用する・しないを選択します。
13	車両詳細ヨミ設定	選択	端末詳細一覧に表示するヨミのタイトルを車両番号・ヨミから選択します。

3.2.10 システム定数3

システムの動作にかかわる設定を行ないます。

システム保守画面

局番号検索 観音 儲本マーク 乗務員 システム定数1 システム定数2 システム定数3 地図 11/11件

① e-ターミナル保持 なし あり

② 発信選択 指令局選択ユーザ(番信専用ユーザ含まない)
 指令局選択ユーザ(番信専用ユーザ含む)
 指令局メインユーザコードを呼つユーザ

③ アイコン検索距離 m (0~10000m)

④ 電源OFF判定時間 分 (0~180分)

⑤ 電源OFF時のアイコンを地図表示する設定
 電源OFFで地図から消去する
 電源OFF+閉局状態で地図から消去する(閉局状態)
 消去しない

⑥ 長時間判定 時間 分 (0~180分)
 距離 m (100~10000m)

⑦ グループ発信時の前話 連続ナ 切断

⑧ メール発信グループ指定 発着番区に依る
 全グループ
 グループ番号

位置情報 ⑨ 取得状態

⑩ 取得方法 全体 個別

⑪ 端末一覧表示件数/頁

⑫ 端末一覧の時刻表示 する しない

⑬ ファンクションキー設定
 F1 地図表示 F5 地図拡大 F9 原厚
 F2 地図2分画表示 F6 端末一覧 F10 ルート検索
 F3 地図4分画表示 F7 端末詳細一覧 F11 保存
 F4 地図縮小 F8 状態一覧 F12 終了

⑭ 相手番号(名称)クリック時の動作
 右シングルクリック 地図の中心にアイコンを表示する
 左ダブルクリック 発着欄にコピーも地図の中心にアイコンを表示1
 右シングルクリック 端末詳細を表示する
*端末詳細一覧では確認動作に利用されます。

⑮ 状態解除 送信回数
 送信間隔
 解除番号
 メッセージ消去 しない する

⑯ 入場判定消音 しない する

⑰ 通話要求消音 しない する

⑱ 音源ファイル

⑲ 地図表示スタイル

⑳ 周番号欄自動リンク しない する

㉑ 局番号欄同期グループ 常線機優先 KPS3優先

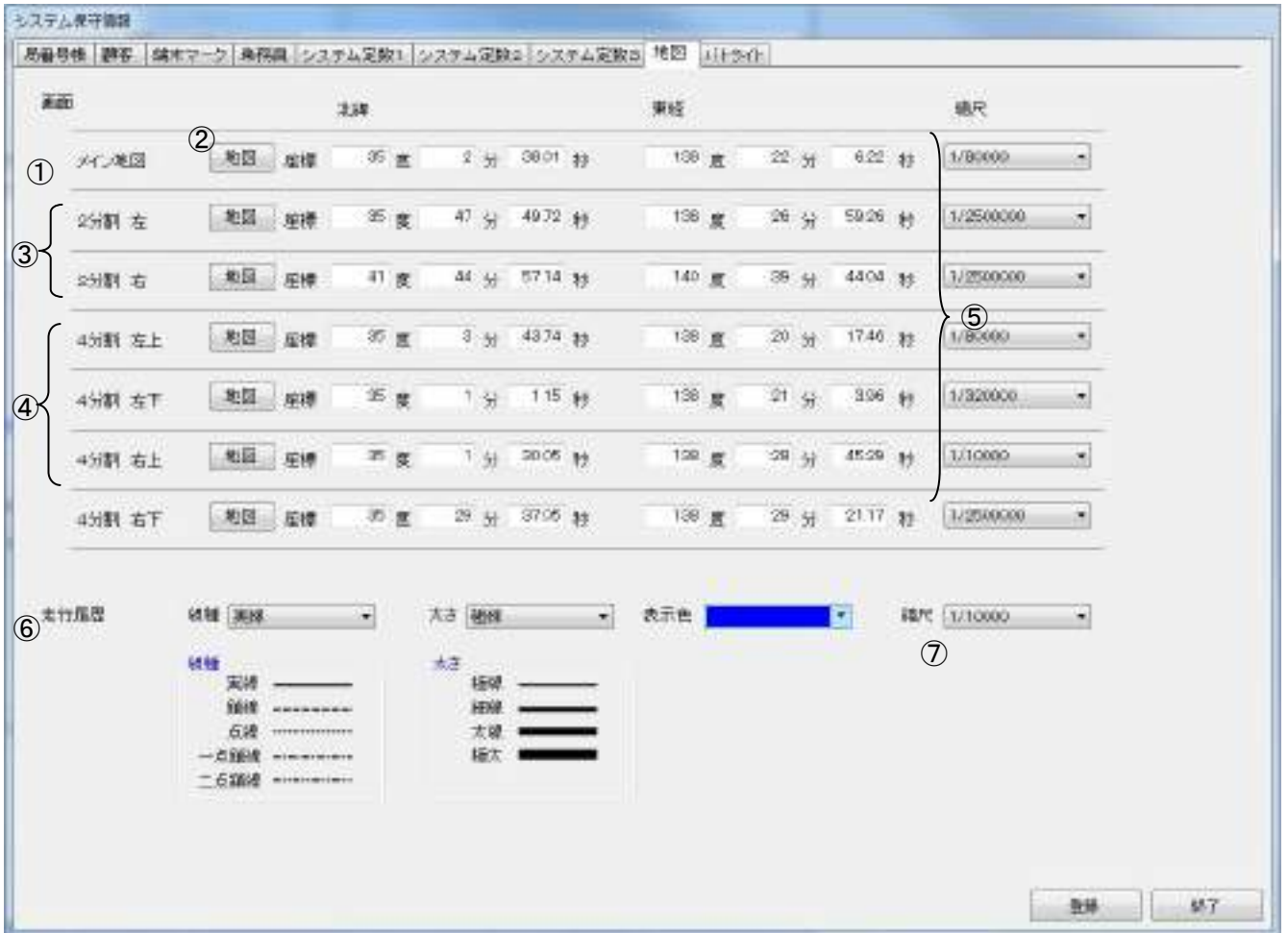
No	項目	範囲	詳細
定型文			
1	e ターミナル接続	選択	e ターミナルを接続する、しないの選択をします。
2	受信選択	選択	受信情報をユーザコードにより表示する・しないの選択をします。
3	アイコン検索処理	100-1000 (m)	重なったアイコンを右クリックによりリスト表示する際、重なるの判定距離を指定します。
4	電源 OFF 判定時間	0-180(分)	
5	電源 OFF 端末のアイコンを地図表示する設定		電源 OFF 状態と閉局の組み合わせで、地図上にアイコンを表示する、しないを選択します。
6	長時間判定 時間 距離	0-180(分) 100-10000 (m)	GPS 座標の変化が判定距離以内のまま指定時間経過したとき長時間判定を行いません。
7	グループ着信時の終話	選択	グループ着信時の終話を Sch 抜けまたは切断のどちらで行うか選択して下さい。
8	メール発呼 グループ指定	選択	メールを送信する発呼対象を発呼画面に従う・全グループ・番号指定から選択します。
9	位置情報取得間隔	選択	サーバから位置情報を取得する間隔を指定します。200 台以上の端末がある場合は 15 秒を指定しても 30 秒となります。
10	位置情報取得方法	選択	全体と個別から選択します。同一ユーザサーバから位置情報を取得する間隔を指定します。200 台以上の端末がある場合は 15 秒を指定しても 30 秒となります。
11	端末一覧表示件数	選択	端末一覧の 1 ページに表示する件数を指定します。400, 210, 100, 52 から選択します。
12	端末一覧の時刻表示	選択	端末一覧端末一覧の 1 ページに表示する件数を指定します。400, 210, 100, 52 から選択します。
13	ファンクションキー設定	選択	運用画面の F1~F12 キーにどの機能を割り付けるかを指定します。
14	相手番号 (名称) クリック時の動作	選択	受信一覧、端末一覧、端末詳細一覧、状態一覧の個別番号または名称を左シングルクリック・右シングルクリック・左ダブルクリックしたときの動作を指定します。 《動作》 地図の中心にアイコンを表示する 発呼欄に番号をコピーする 発呼欄にコピー&地図中心にアイコンを表示する 端末詳細を表示する 一覧から消去する ※端末詳細一覧では右クリックが状態確認として動作するためこの機能は動作しません。
15	状態解除	選択	端末に状態解除を送信する時の動作を指定します。送信回数 1 から 10 回までを繰り返します。送信間隔：10, 20, 30, 60 秒毎に繰り返します。解除番号：1~20 までの状態番号を指定します。メッセージ消去：送信時メッセージを消去します。
16	入場判定鳴音	選択	入場と判定された場合、鳴音します。

17	通話要求鳴音	選択	通話要求を受信した時、鳴音する・しないを選択します。
18	通話要求音源ファイル	選択	通話要求の音源ファイルを指定します。
19	地図表示スタイル	選択	表示する地図のスタイルを以下の中から選択します。 標準・鉄道バス強調・淡色・グレー・高速道路強調 等高線強調・白図・描画速度優先
20	局番号帳リンク	選択	無線機の局番号帳を自動取得する・しないを選択します。 「する」とした場合、無線機が起動した際、無線機に登録された局番号帳がシステムに上書きされます。
21	局番号帳同期グループ	選択	無線機の局番号帳を取得した際、無線機に登録されたグループを採用するか、システムに登録されたグループをそのまま引き継ぐかを指定します。

3.2.11 地図

運用画面の地図のデフォルト座標、表示角度、縮尺、2分割画面表示時の右側に表示する地図のデフォルト地域、4分割画面の右上側、左下側、右下側に表示する地図のデフォルト地域、走行履歴の線種の設定をします。

保守【地図】をクリックすると、以下の画面を表示します。



No	項目	範囲	詳細
メイン画面			
1	デフォルト座標		システム起動時の地図の中心座標を緯度・経度を世界測地系で指定します。 表示角度（0～359）を指定します。
2	地図ボタン		地図画面を表示し、マウスで座標を指定できます。
2分割画面			
1	デフォルト座標		システム起動時の地図の中心座標を緯度・経度を世界測地系で指定します。 表示角度（0～359）を指定します。
4分割画面			
1	デフォルト座標		システム起動時の地図の中心座標を緯度・経度を世界測地系で指定します。 表示角度（0～359）を指定します。

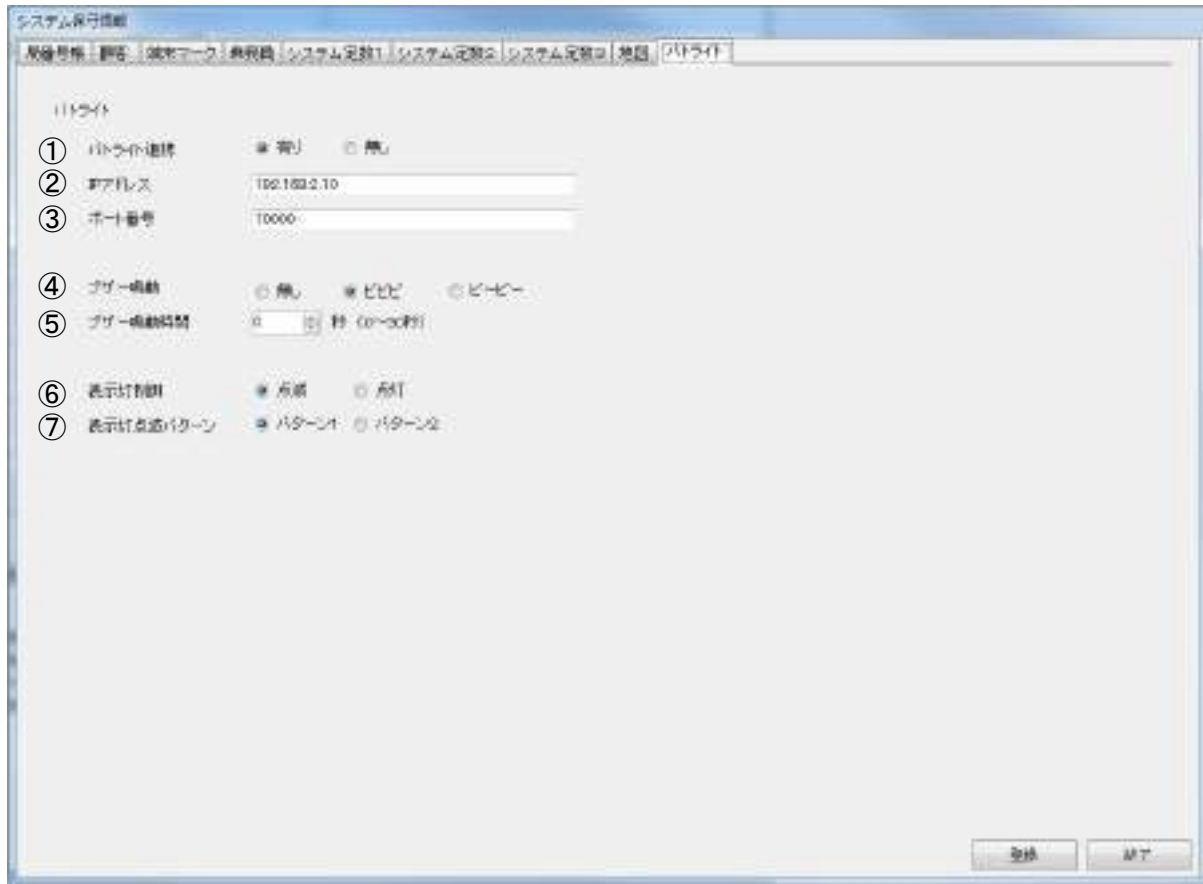
No	項目	範囲	詳細
5	縮尺		システム起動時の地図の縮尺を指定します。
6	走行履歴		履歴画面で端末の走行履歴を表示する軌跡の線種、色、太さを設定します。
7	縮尺		走行履歴を表示中に明細行を中心に地図表示する際の縮尺を指定します。

(1) デフォルト地図座標登録方法

- ① 地図ボタンをクリックすると、地図画面が表示されます。
「3.2.3 地図画面からの座標登録」を参照して下さい。
- ② 地図画面右下の確定ボタンをクリックして下さい。保守【地図】に戻ります。
中心座標の北緯・東経に、指定した北緯・東経の値を世界測地系で表示します。
- ③ この画面の全情報を設定後、登録ボタンをクリックすることで、まとめて登録を行なえます。

3.2.12 パトライト

緊急発生時にパトライトで警告する設定を行います。
 保守【パトライト】をクリックすると、以下の画面を表示します。



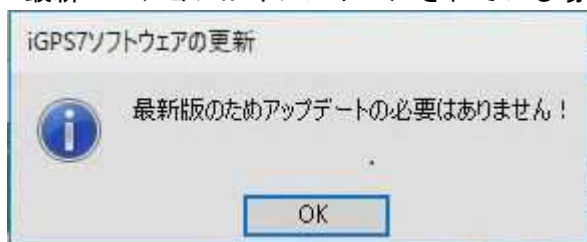
No	項目	範囲	詳細
1	パトライト連携		有り：パトライトの制御を行います。 無し：パトライトの制御を行いません。
2	IP アドレス		連携するパトライトの IP アドレスを入力します。 初期値：192.168.10.1
3	ポート番号	0~65535	連携するパトライトのポート番号を入力します。 初期値：10000
4	ブザー鳴動		ブザー鳴動のパターンを選択します。
5	ブザー鳴動時間	0~30 秒	ブザー鳴動時間を 0~30 で指定します。 0 を指定すると連続してブザー鳴動します。
6	表示灯制御		表示灯の制御を選択します。
7	表示灯 点滅パターン		表示灯の点滅パターンを選択します。 点滅パターン 1 500mS 点滅の繰り返し 2 (80mS ON 170mS OFF)*2 500mS OFF) の繰り返し

一度、登録したパトライトの情報は、パトライト連携で無しを選択しても入力ができなくなるだけで、消去されません。

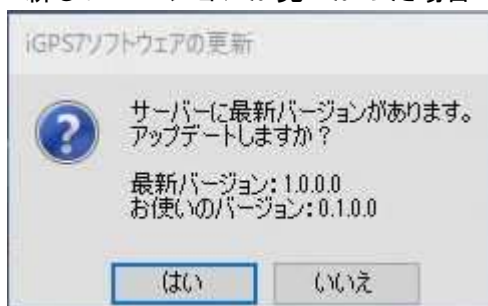
3.3 バージョン確認

「3.1 保守メニュー」からバージョン確認ボタンをクリックすると、最新バージョンがインストールされているか確認が出来ます。

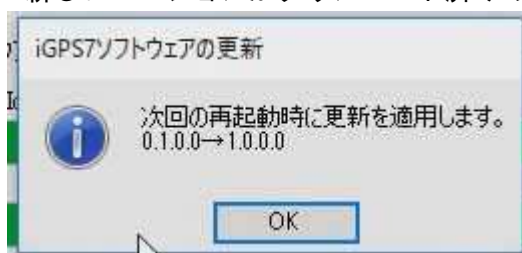
- (1) 最新バージョンがインストールされている場合。



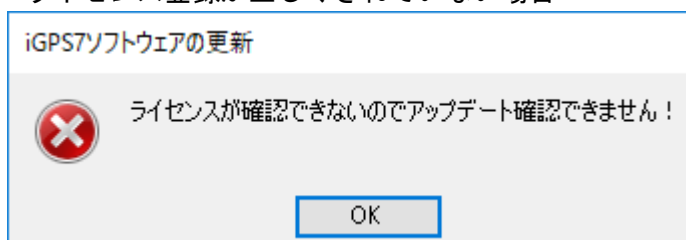
- (2) 新しいバージョンが見つかった場合



- (3) 新しいバージョンがダウンロード済みの場合



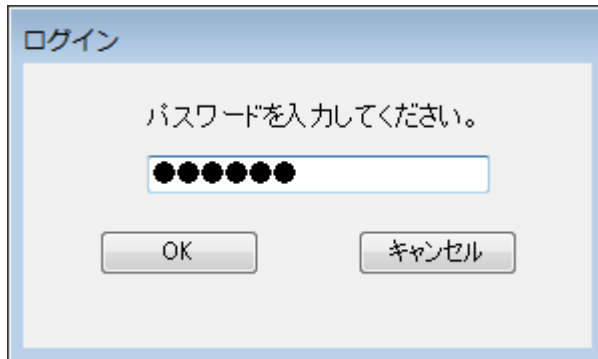
- (4) ライセンス登録が正しくされていない場合



3.4 メンテナンス情報

3.4.1 ログイン

「3.1 保守メニュー」からメンテナンス情報ボタンをクリックすると、以下の【ログイン】画面を表示します。



パスワードを入力し、OKボタンをクリックして下さい。

パスワードの初期値は[igps7]となります。

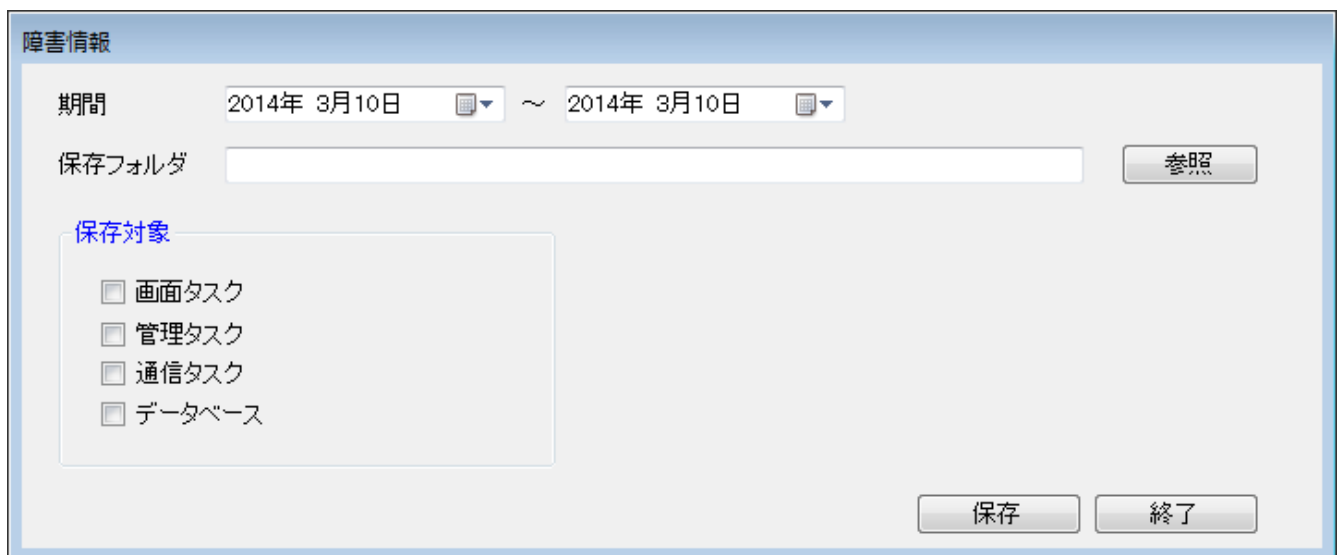
障害情報の保存を行うことができます。

キャンセルボタンをクリックすると、「3.1 保守メニュー」に戻ります。

3.4.2 障害情報

【ログイン】画面のOKボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。

指定した期間のデータやログが保存フォルダに障害情報ファイル (LogArch.Zip) として保存されます。



4 端末履歴について

本システムには、端末履歴の CSV ファイルの書き込み機能があります。

CSV ファイルには日替わりで書き込みが行なわれるものと、リアルタイムに行われるものの2種類があります。

CSV ファイルには、最大10000件の端末履歴データが書き込まれます。

(1) CSV ファイルの書き込み方法

CSV ファイルの出力は2通りのタイミングで行なわれます。

①日時終了時刻に1日分が出力される。

日時終了時刻になると前日分のデータが自動的に出力されます。

保守【運用情報】の「履歴データ自動保存」で設定されているフォルダに出力されます。

ファイル名は「WKyyyyymmdd.csv」となります。

※yyyyymmdd は西暦年、月、日の6桁

出力されたファイルは365日を越えると自動的に削除されます。

必要に応じて別媒体に移動することをお勧めします。

②リアルタイムに出力される。

無線機からデータを受信した時、1行出力が行なわれます。

出力は前回出力された次の行に行なわれ、10000行に達すると、1行目から上書きされます

出力先は「C:\¥iGPS7¥ApIData」フォルダに固定されており、変更できません。

ファイル名は「Carhis.csv」となります。

(2) CSV ファイルフォーマット

CSV ファイルには、以下の端末履歴データが書き込まれています。

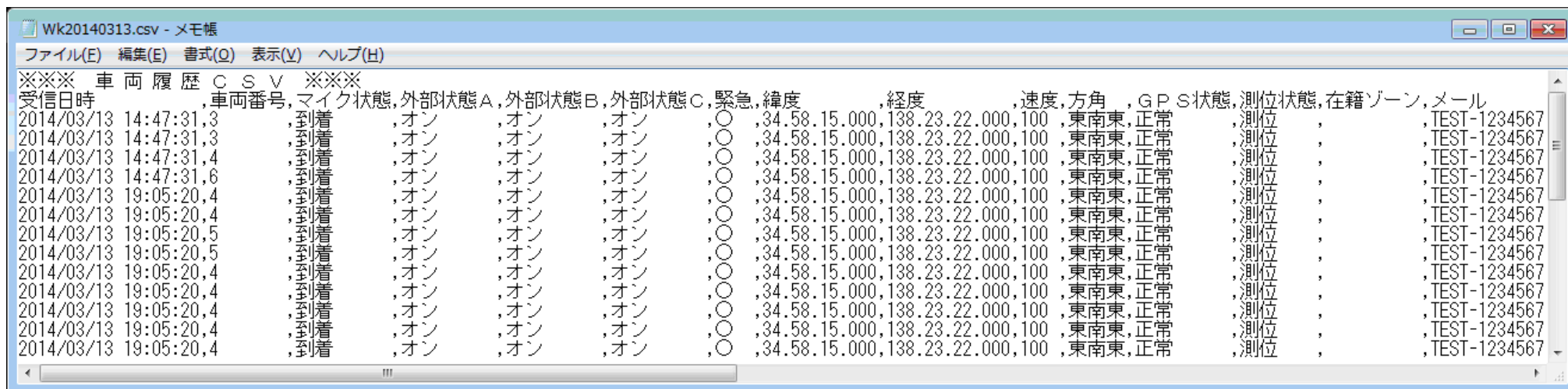
各端末履歴データは、「,」（カンマ）で区切られています。

No	項目	詳細
1	受信日時	受信した日時を「西暦/月/日 時:分:秒」で表示します。
2	端末番号	受信した端末番号を表示します。
3	マイク状態	受信した際の端末状態をもとに、保守【端末マーク】で登録されている状態名称で表示します。登録されていない場合は、空白で表示します。
4	外部状態A	それぞれの外部状態の設定を、オン/オフで表示します。
5	外部状態B	
6	外部状態C	
7	緊急	緊急信号を送信してきた場合、「○」表示します。
8	緯度	受信した時の端末位置の緯度を日本測地系で表示します。
9	経度	受信した時の端末位置の経度を日本測地系で表示します。
10	速度	受信した時の端末の速度を表示します。
11	方角	受信した時に端末が向かっている方向を16方位で表示します。
12	GPS状態	端末についているGPS状態を、正常/異常で表示します。 GPS状態が異常の場合、緯度・経度・速度・方向の値が正しいとは言えない為、「-」で表示します。
13	測位状態	端末位置が測位できたかどうかを、測位/未測位で表示します。 未測位の場合、緯度・経度・速度・方向の値が正しいとは言えない為、「-」で表示します。
14	在籍ゾーン	旧製品との互換性のため空欄が出力されます。
15	メール	メールを受信した場合に表示します。

CSV ファイルの一例

CSV ファイルは、下記のように端末履歴データが書き込まれています。

※下図はメモ帳より CSV ファイルを開いたときのものです。



※※※ 車両履歴 CSV ※※※														
受信日時	車両番号	マイク状態	外部状態A	外部状態B	外部状態C	緊急	緯度	経度	速度	方角	GPS状態	測位状態	在籍ゾーン	メール
2014/03/13 14:47:31,3		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 14:47:31,3		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 14:47:31,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 14:47:31,6		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,5		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,5		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567
2014/03/13 19:05:20,4		,到着	,オン	,オン	,オン	,○	,34.58.15.000	,138.23.22.000	,100	,東南東	,正常	,測位	,	,TEST-1234567

5 データエクスポート・インポート

データエクスポート・インポートでは、iGPS7plus システムに登録されたデータを CSV ファイルに出力（エクスポート）することができます。

エクスポートされたデータは EXCEL 等で確認、編集、印刷することができます。

また、CSV ファイルに登録されたデータを iGPS7plus システムに入力（インポート）することができます。

データエクスポート・インポートによりデータのバックアップをファイル単位で行うことができます。（データベースのバックアップを行ったものは、内容の確認ができません）

実行する際の注意点

- ・ データエクスポート・インポートを行うには iGPS7plus システムを終了させてください。
- ・ インポートを行う前に iGPS7plus システムのバックアップを行なってください。
- ・ インポートを行うと、登録されているデータがすべて上書きされます。
- ・ インポートするファイルは必ず指定の形式で作成してください。

5.1 エクスポート・インポートできるデータ

エクスポート・インポートできるデータは以下の通りです。

- ・ 局番号帳（個別番号）
- ・ 顧客
- ・ ランドマーク
- ・ 定型文

MCA 版 i-GpsIVs システムで出力したデータのうちインポートできるデータは以下の通りです。

- ・ 局番号帳

MCA 版 i-GpsIV システムで出力したデータのうちインポートできるデータは以下の通りです。

- ・ 顧客

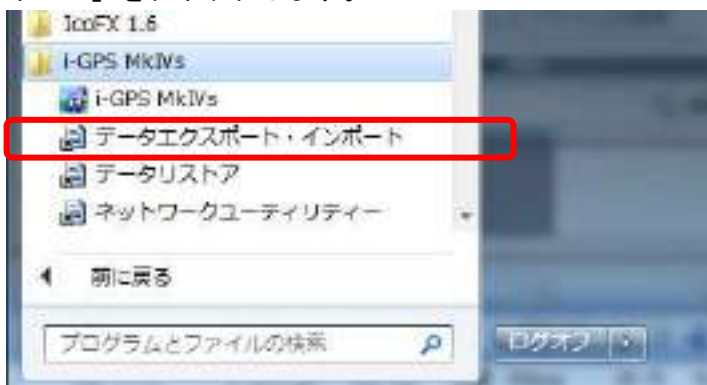
5.2 操作方法

データエクスポート・インポートを行うには iGPS7plus システムを終了させた後、メニューからデータエクスポート・インポートアプリケーションを起動して行います。

ます。

※iGPS7plus システムの運用中に行うことはできません。

- (1) iGPS7plus システムからデータのバックアップ処理を行います。
- (2) iGPS7plus システムを終了します。
- (3) Windows メニューから「すべてのプログラム」「iGPS7plus」を開き「データエクスポート・インポート」をクリックします。



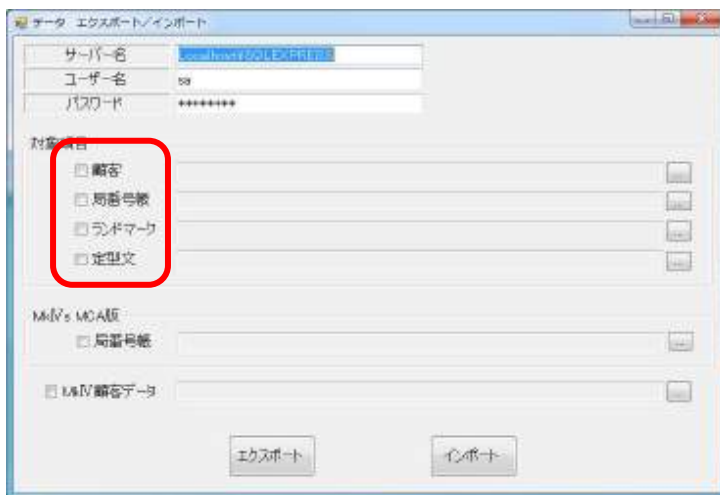
- (4) データエクスポート/インポートアプリケーション画面が表示されます。



(5) エクスポート(出力)する場合

エクスポートは1度に複数の項目を指定することができます。

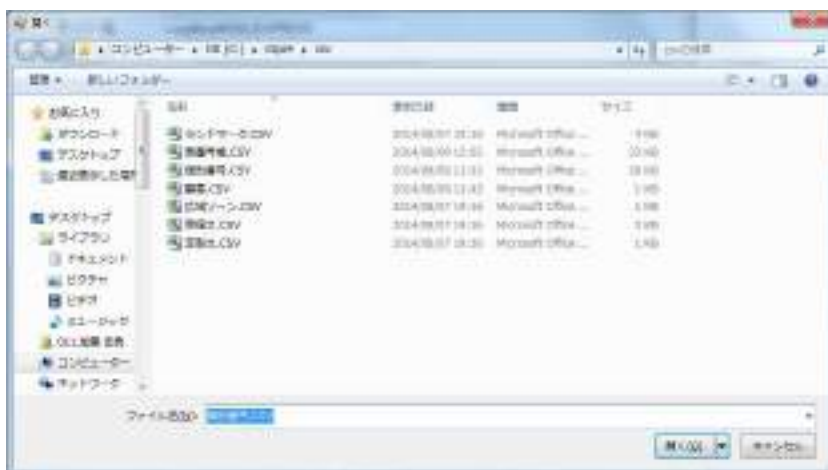
- ① 出力する項目にチェックをつけます。



- ② ファイル指定ダイアログを開きます。

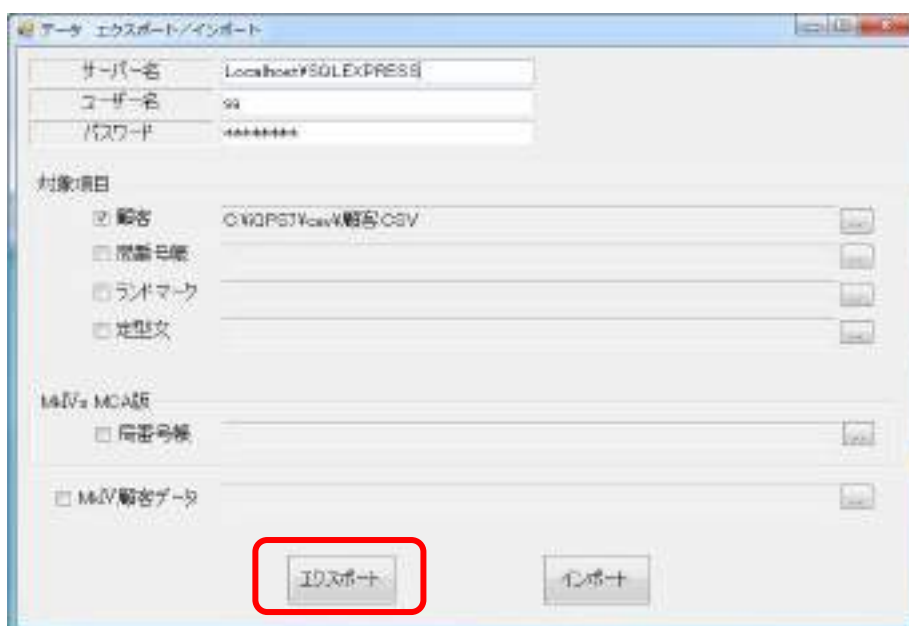


- ③ フォルダ、ファイル名を指定し、「開く」をクリックします。



ファイル名は初期値で「選択した項目名.csv」となります。

- ④ エクスポートをクリックします。



- ⑤ ファイルの指定が正しくない場合、警告画面が表示されます。



⑥ 同名のファイルが存在する場合、確認画面が表示されます。



「OK」をクリックすると出力が始まります。

⑦ 終了確認画面が表示されます。



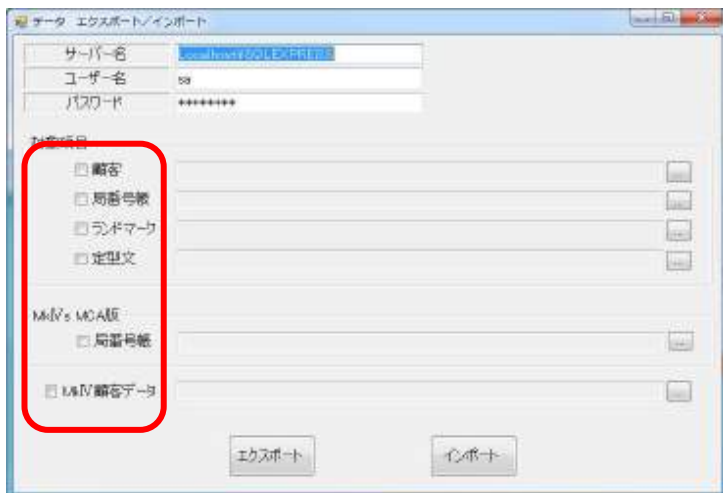
(6) インポートする場合

インポートを行うとデータが一旦削除され、その後入力されたデータに置き換わります。

➤ 実行前に必ずバックアップを行なってください。

インポートは1度に複数の項目を指定することができます。

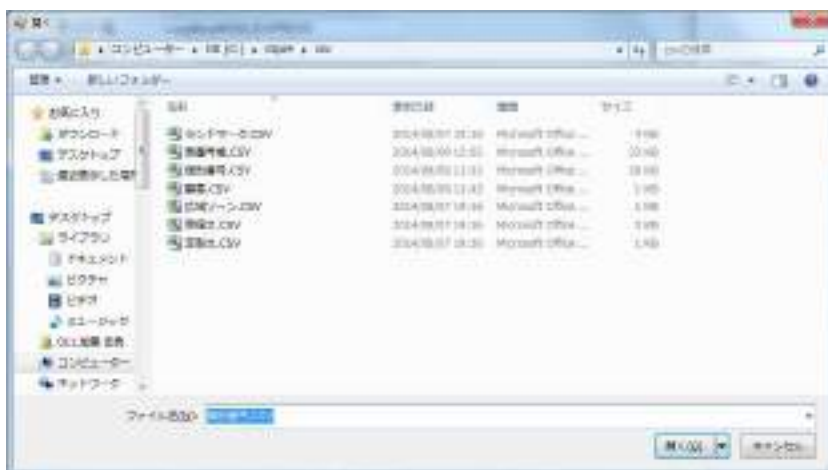
① 入力する項目にチェックをつけます。



② ファイル指定ダイアログを開きます。

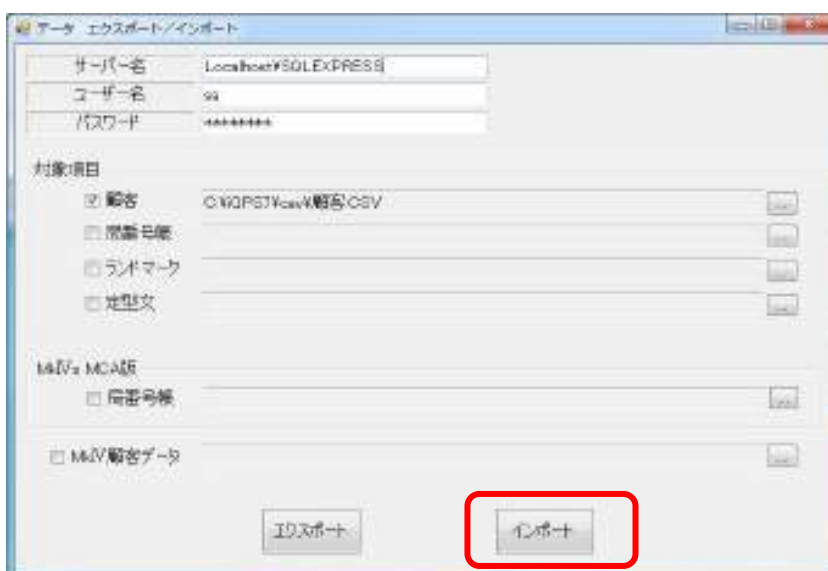


③ フォルダ、ファイル名を指定し、「開く」をクリックします。



ファイル名は初期値で「選択した項目名.csv」となります。

④ インポートをクリックします。



⑥ 警告画面が表示されます。



「OK」をクリックすると入力が始まります。

⑦ ファイルの指定が正しくない場合、警告画面が表示されます。



⑧ 終了確認画面が表示されます。



※ インポートするときの注意点

- ・ 局番号帳・個別番号
MkIVs、MkIVsforIP で使用された個別番号は局番号に統一されたため、局番号帳に個別番号の登録が必要です。
- ・ 顧客
「顧客」の担当1～3に入力された個別番号がインポートによりなくなると、顧客登録時に警告が表示されます。
- ・ 顧客・ランドマーク
MkIVs、MkIVsforIP で使用されたランドマークは顧客に統一されたため、ランドマークをエクスポートしてインポートする必要があります。

(7) 各データ項目

① 局番号帳

No.	項目名	書式	データ
1	局番号 NO	数値	1~1000 局番号帳に表示される位置を指定します
2	発呼モード	数値	1. グループ 2. 個別 4. 隣接 5. 個別優先のいずれかを指定します
3	相手局番号	数値	相手局または相手グループ番号を指定します
4	相手局名称	文字	相手局名称を全角文字で指定します
5	相手局カナ	数値	相手局カナを半角文字で指定します
6	所属グループ A-J		グループ A-Z に所属する・しないを指定します。
7	緯度	数値	発呼モードが隣接の場合、中心緯度を日本測地系のミリ秒単位で指定します。
8	経度	数値	発呼モードが隣接の場合、中心経度を日本測地系のミリ秒単位で指定します。
9	住所	文字	発呼モードが隣接の場合、住所が入ります。
10	距離	数値	発呼モードが隣接の場合、距離を 100m 単位で指定します。

② 顧客

No.	項目名	書式	データ
1	ソート番号	数値	0~99999999999999999999 (20 桁) 顧客保守画面の並び換え用番号を指定します
2	顧客番号 1	数値	顧客検索時に検索キーとなる顧客番号を指定します
3	顧客番号 2	数値	顧客検索時に検索キーとなる顧客番号を指定します
4	顧客名称	文字	顧客名称を指定します
5	電話番号	文字	電話番号をハイフンつきで指定します 例)0120-123-456
6	アイコン番号	数値	0~32
7	マーク色	数値	表示色を 0. 白 1. 赤 2. 青 3. 緑 4. 黄から指定します
8	マーク種別	数値	運用地図画面に 0. 表示しない 1. アイコンのみ表示 2. ランドマークとして表示
9	顧客カナ	文字	検索用カナを半角 5 文字以内で指定します
10	顧客略称	文字	ランドマークとして使用する場合、吹き出し文字を指定します
11	緯度	文字	顧客の緯度を日本測地系のミリ秒で指定します
12	経度	文字	顧客の経度を日本測地系のミリ秒で指定します
13	メモ	文字	
14	顧客 ID	文字	システムで利用されます 新規の場合は空欄、入力されています場合は変更しないでください。
15	担当 1	数値	1~9999
16	担当 2	数値	1~9999
17	担当 3	数値	1~9999

③ 定型文

No.	項目名	書式	データ
1	MSG 番号	数値	1~30
2	MSG 内容	文字	メール送信用定型文を指定します

6 1年以上前の走行履歴表示

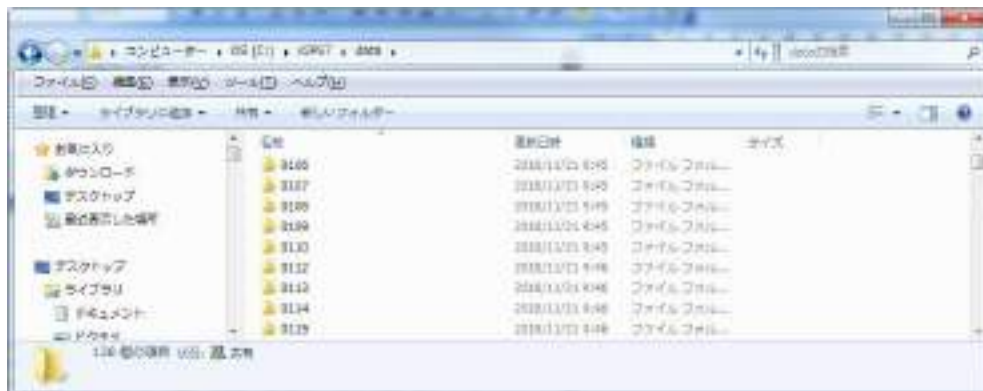
自動的に保存される走行履歴の期間は1年です。

それ以前の走行履歴を表示するには別媒体に保存したバックアップをコピーして表示することが出来ます。

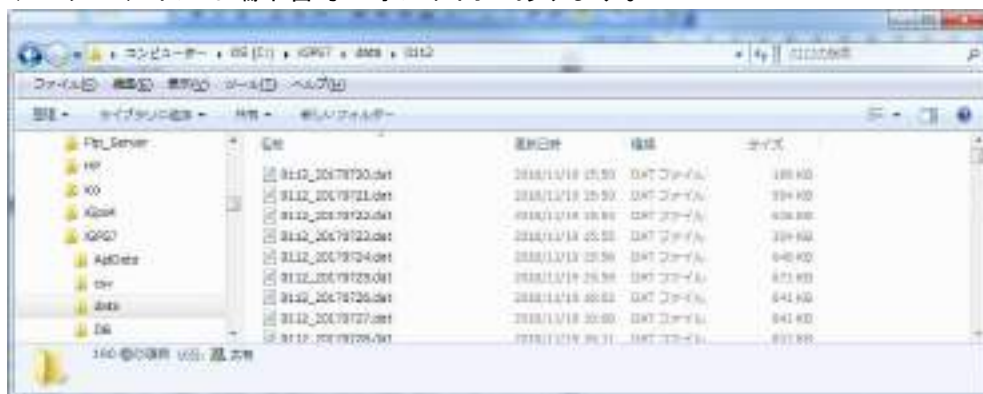
6.1 データファイルのフォルダを確認する

履歴データの保存先は「C:\%iGPS7¥Data」フォルダです。

端末番号別のフォルダがあります。



データファイルは端末番号フォルダ内にあります。



<端末番号_年月日.dat>の形式で0:00から23:59のデータが保存されています。

該当日から過去1年分のデータが保存されています。

データファイルは日替わり処理時に保存期間を過ぎたものが削除されます。

6.2 データの別媒体への保存

保存期間を過ぎたデータファイルは日替わり処理時に削除されます。

保存期間を超えた走行履歴を表示するためには外付けHDD等にコピーしてください。

毎日、毎月等に定期的にコピーすることをお勧めします。

コピーは通常のファイルと同様にエクスプローラからコピー、貼り付けを行います。

6.3 過去の走行履歴を表示


過去の走行履歴を表示するには以下の手順を行います。

- (1) i-GPS を起動してする
- (2) エクスプローラを起動する
- (3) ディスク空き容量を確認する
- (4) 別媒体のデータファイルをコピーする
- (5) 走行履歴を表示する

実行する際の注意点

- ・ コピーされたデータファイルは日替わり処理(0:00)に削除されます。
- ・ 1年以内の日付範囲のデータはコピーしないでください。
- ・ 局番号帳に登録されていない端末番号のデータをコピーしても履歴の参照は出来ません。

6.3.1 ディスク空き容量の確認

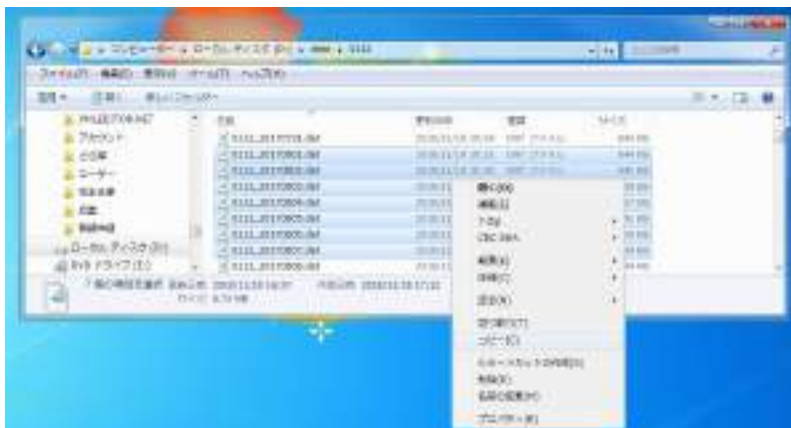
 キーを押しながら「E」を押下するとエクスプローラが開きます。



OS (C :) ドライブの空き容量が充分あることを確認します。

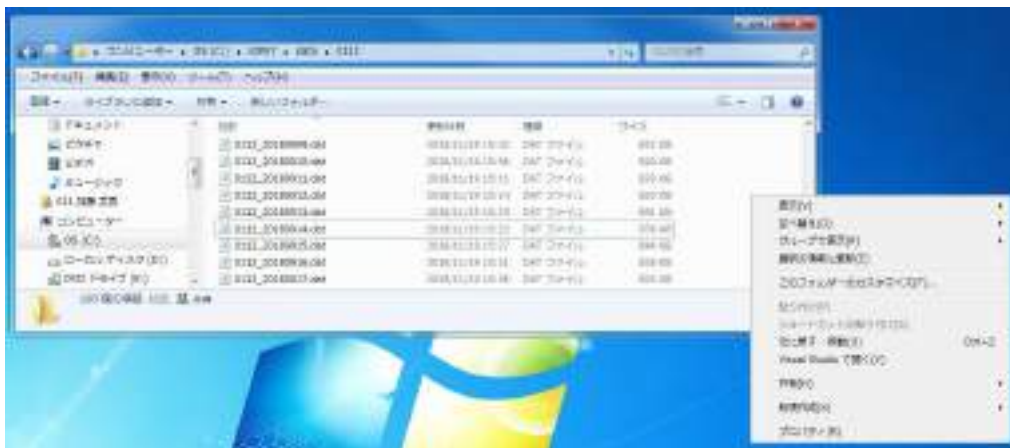
6.3.2 データファイルのコピー

別媒体に保存されたデータファイルから参照する端末番号と日付範囲を確認してデータをコピーします。



6.3.3 データファイルの貼り付け

データフォルダの同一端末番号フォルダに貼り付けます。



エクスプローラを閉じます。

6.3.4 iGPS7plus で履歴を表示

コピーした端末番号、日付範囲を指定して履歴を参照します。

7 付録

6.1 メッセージ一覧

障害メッセージ欄には、以下のメッセージが表示されます。

表示されるメッセージ	内容
無線機応答異常：指令局 X	指令局との通信に異常が発生しています。 無線機の電源、LAN ケーブル接続を確認してください。
ネットワーク接続異常	LAN 接続が異常です。 LAN ケーブルの接続、HUB の接続、HUB の電源を確認してください。
北緯 XX 度 XX 分 XX.X 秒 東経 XXX 度 XX 分 XX.X 秒	地図画面を右ダブルクリックすると表示されます。 ※エラーメッセージではありません。

通信状態表示欄には、以下のメッセージが表示されます。

条件		表示されるメッセージ
発呼	要求	発呼要求中…
	成功	
	失敗	発呼失敗
	タイムアウト	発呼要求タイムアウト
終話	要求	終話要求中…
	成功	
	失敗	終話指示：無応答
	タイムアウト	終話指示：タイムアウト
セレコール	要求	セレコール送信要求中…
	成功	セレコール成功
	失敗	セレコール失敗
	タイムアウト	セレコール送信要求タイムアウト
伝言メモ	要求	伝言メモ送信要求中…
	成功	伝言メモ(成功)
	失敗	伝言メモ失敗、メールが一杯です。
	タイムアウト	伝言メモ送信要求タイムアウト
個別確認	要求	収集要求送信中…
	成功	状態収集：指令局 X 終了
	失敗	状態収集：指令局 X 無応答
	タイムアウト	収集要求タイムアウト
メール送信	要求	メール送信要求中…
	成功	メールを送信しました。
	失敗	メール送信失敗、メールが一杯です。
	タイムアウト	メール送信タイムアウト
伝言メモ再生	再生要求	伝言メモ再生要求中…
条件		表示されるメッセージ

伝言メモ再生	再生成功	
	失敗	伝言メモ再生失敗
	タイムアウト	伝言メモ再生要求タイムアウト
伝言メモ停止	停止要求	伝言メモ停止要求中…
	停止成功	
	失敗	伝言メモ停止失敗
	タイムアウト	伝言メモ停止要求タイムアウト
伝言メモ消去	消去要求	伝言メモ消去要求中…
	消去成功	
	失敗	伝言メモ消去失敗
	タイムアウト	伝言メモ消去要求タイムアウト
個別確認	要求	収集要求送信中…
	成功	状態収集：指令局 X 終了
	失敗	状態収集：指令局 X 無応答
	タイムアウト	収集要求タイムアウト
通話モニタ・割込	要求	同時接続情報要求中…
	成功	
	失敗	同時接続情報取得失敗
	タイムアウト	同時接続情報要求タイムアウト
緊急モニタ	要求	緊急モニタ要求中…
	成功	
	失敗	緊急モニタ失敗
	タイムアウト	緊急モニタ要求タイムアウト

ポップアップメッセージには、以下のものがあります。

条件	表示されるメッセージ
発呼	発呼モードが正しくありません。
	グループ番号が正しくありません。
	個別番号が正しくありません。
	未登録の個別番号です。
収集	個別番号は 1～9999 で設定して下さい。
	〇〇は未登録の番号です。
	個別番号は 5 つ以内で設定して下さい。
	個別番号が不正です。
	ゾーンを選択して下さい。
走行履歴	個別番号は 1～9999 で設定して下さい。
	〇〇は未登録の番号です。
条件	表示されるメッセージ
走行履歴	指定したパスまたはファイルは存在しません。
	時間帯を選択して下さい。
	入力した日付の履歴はありません。

ルート検索		出発地を入力して下さい。
		目的地を1つ以上入力して下さい。
		ルート検索しますか？
		検索オブジェクトの生成に失敗しました。ライセンスを確認して下さい。
		検索を中止しました。
		検索に失敗しました。
メール送信		個別番号は1~9999で設定して下さい。
		〇〇は未登録の番号です。
		個別番号は5つ以内で設定して下さい。
		個別番号が不正です。
		目的地名称は半角文字を設定できません。
		メール本文は半角文字を設定できません。
		メール本文は96文字を超えて設定できません。
追跡		個別番号を入力してください下さい。
		個別番号は1~9999で設定してください下さい。
		〇〇は未登録の番号です。
		監視時間を選択してください下さい。
印刷		印刷しますか？
受信履歴		個別番号は1~9999で設定してください下さい。
		〇〇は未登録の番号です。
メンテ端末走行		端末走行は0~99迄を指定してください下さい。
メンテ状態		番号を入力してください下さい。
		マイク状態番号は1から99まで入力してください下さい。
		状態名称を入力してください下さい。
		色を指定してください下さい。
		指定されたマイク状態番号はすでに登録されています。上書きしますか？
		複写するマイク状態を指定してください下さい。
		削除するマイク状態を指定してください下さい。
		〇番のマイク状態を削除しますか？
条件		表示されるメッセージ
メンテ状態		外部状態を指定してください下さい。
		色を指定してください下さい。
		指定された外部番号はすでに登録されています。上書きしますか？
		〇番の外部状態を削除しますか？
送信履歴		ここは数字のみを入力できます。

--	--	--

条件		表示されるメッセージ
メンテナンス情報		処理が完了しました
		保存フォルダを指定して下さい。
		開始日に誤りがあります。
		終了日に誤りがあります。
		期間に誤りがあります。
		保存先フォルダを指定して下さい。
		指定したフォルダは存在しません。
		保存対象を指定して下さい。
		端末 (XX) のフォルダ (XXXX) にアクセスできません。
		データが指定されていません。
		年は 1970～2038 迄を設定して下さい。
		月は 1～12 迄を設定して下さい。
		日は 1～31 迄を設定して下さい。
		時は 0～23 迄を設定して下さい。
		分は 0～59 迄を設定して下さい。
		XXXXXXXXXXXX は存在しない日付です。
		経過日数は 0～999 迄を設定して下さい。
システム保守情報		登録しますか？
		データの登録が完了しました。
		画面構成、指令局ポート、eターミナルの変更には再起動が必要です。再起動しますか？
		終了しますか？
	パスワード	パスワードが間違っています。
		新しいパスワードと確認で内容が異なります。
		入力したパスワードが間違っています。
		パスワードの更新に失敗しました。
		この操作はサーバ機のみ有効です。
条件		表示されるメッセージ
システム保守情報	システム定数 2	アイコン検索距離は 100～10000 迄を指定して下さい。
		電源 OFF 判定時間は 0～180 迄を指定して下さい。
		長時間経過判定時間は 0～180 迄を指定して下さい。
		長時間経過判定距離は 100～100000 迄を指定して下さい。